

令和7年度子どもの貧困対策に係る実態調査
調査結果について

令和8年3月12日

京都府教育委員会

目 次

P. 1	令和7年度子どもの貧困対策に係る実態調査	調査概要
P. 2～	令和7年度子どもの貧困対策に係る実態調査	調査結果について
	1	基礎情報
P. 4～	2	健康
P. 8～	3	学力
P. 18～	4	家庭生活
P. 35～	5	学校生活
P. 46～	6	非認知能力・学習方法
P. 50～	7	就学援助世帯のうち高学力層の児童生徒の特徴
P. 58～	8	進路状況
P. 60～	京都教育大学	中村 瑛仁 准教授による考察及び提言
P. 64～	大阪公立大学大学院	五石 敬路 教授による考察及び提言

令和7年度子どもの貧困対策に係る実態調査

調査概要

1 調査の目的

京都府においては、令和2年3月に「第2次京都府子どもの貧困対策推進計画」(以下「計画」という。)を策定し、教育の支援、生活の支援、経済的な支援等の施策を総合的・効果的に推進することとしている。また、計画期間満了に伴い令和7年3月に策定の「第3次京都府子どもの貧困対策推進計画」においても引き続き子どもの貧困の解消に向けた施策に取り組むこととしている。

本計画では、「子どもの貧困の実態を踏まえた対策の推進」を当面の重点施策の一つの柱とし、子どもの生活面や学力面等における貧困の実状を適切に把握することとしている。このことを踏まえて、経済的に困難な家庭やひとり親家庭の子どもの生活・学力・健康状況について調査する。

2 調査対象

調査依頼校における令和6年度小学校6年生または中学校3年生のうち、令和6年度末時点で、「要保護家庭」・「準要保護家庭」・「ひとり親家庭」の児童生徒

※ 調査依頼校は府内公立小中学校(京都市を除く)から抽出の小中各20校。

※「ひとり親家庭」については、母子家庭または父子家庭で、学校で把握されている範囲とする。

3 調査項目

(1) 令和6年度「京都府学力・学習状況調査～学びのパスポート～」より

ア 学力問題正答率

小学校:国語、算数

中学校:国語、数学、英語

イ 子どもの生活状況

児童生徒質問紙の質問項目からの抽出項目

(2) 令和6年度健康診断調査より

ア 体格(身長、体重)

イ う歯(う歯の有無、処置状況)

(3) 令和6年度中学3年(令和7年3月卒業)ひとり親家庭生徒の進路状況

※ 要保護家庭及び準要保護家庭生徒の進路状況については、「令和6年度就学援助家庭生徒の進路状況等に関する調査」(悉皆)を実施済み。

4 分析

(1) 分析方針

・就学援助家庭の児童生徒とその他の児童生徒の学力や生活状況等の違いを検討する。その際、要保護家庭の人数が限定的であるため就学援助世帯とする。

・①「就学援助を受けているひとり親世帯」、②「就学援助を受けている世帯(ひとり親世帯を除く)」、③「就学援助を受けていない世帯」の3グループを比較していく。(以下、①「援助かつひとり親世帯」、②「援助(ひとり親除く)世帯」、③「非援助世帯」という。)

・子どもの生活状況の項目については多岐にわたるため、主要な項目や主だった傾向がみられた項目のみとりあげる。

(2) 分析内容

ア 基礎情報

イ 健康

ウ 学力

エ 家庭生活

オ 学校生活

カ 非認知能力・学習方法

キ 就学援助世帯のうち高学力層の児童生徒の特徴

ク 進路状況

令和7年度子どもの貧困対策に係る実態調査 調査結果について

1 基礎情報

要保護及び準要保護をあわせた就学援助世帯の割合は、中学3年生に対して小学6年生において高い傾向にあった。この傾向はひとり親世帯においても同様である。

1-1 要保護家庭・準要保護家庭の割合

	調査対象校				府全体			
	就学援助世帯		非援助世帯	合計	就学援助世帯		非援助世帯	合計
	要保護	準要保護			要保護	準要保護		
小学6年	26	239	1,098	1,363	96	1,251	8,100	9,447
	1.9%	17.5%	80.6%	100.0%	1.0%	13.2%	85.7%	100.0%
中学3年	27	407	2,110	2,544	92	1,430	7,959	9,481
	1.1%	16.0%	82.9%	100.0%	1.0%	15.1%	83.9%	100.0%

1-2 ひとり親/それ以外の世帯別にみた就学援助世帯の割合

ひとり親家庭の割合

	調査対象校		
	ひとり親世帯	ひとり親世帯以外の世帯	合計
	小学6年	180	1,183
	13.2%	86.8%	100.0%
中学3年	348	2,196	2,544
	13.7%	86.3%	100.0%

家族形態別にみた就学援助家庭の内訳

		調査対象校		
		ひとり親世帯	ひとり親世帯以外の世帯	合計
小学6年	回答数(N)	180	1,183	1,363
	非援助世帯	21.7%	89.5%	80.6%
	就学援助世帯(a+b)	78.3%	10.5%	19.4%
	a 要保護	13.3%	0.2%	1.9%
	b 準要保護	65.0%	10.3%	17.5%
中学3年	回答数(N)	348	2,196	2,544
	非援助世帯	26.1%	91.9%	82.9%
	就学援助世帯(a+b)	73.9%	8.1%	17.1%
	a 要保護	6.9%	0.1%	1.1%
	b 準要保護	67.0%	7.9%	16.0%

1-3 就学援助世帯(ひとり親世帯別)の割合

	調査対象校				参考
	援助かつひとり親世帯	援助(ひとり親除く)世帯	非援助世帯	合計	府全体
小学6年	141 10.3%	124 9.1%	1,098 80.6%	1,363	9,087
中学3年	257 10.1%	177 7.0%	2,110 82.9%	2,544	8,851

2 健康

■2-1 肥満傾向児及び痩身傾向児の割合【男子】

■2-2 肥満傾向児及び痩身傾向児の割合【女子】

男子において、「援助かつひとり親世帯」「援助(ひとり親除く)世帯」両群において「府全体」と比べ肥満傾向児が多い傾向が確認された。

一方で、女子においては大きな差は確認されなかった。

■2-3 う歯の状況

「援助かつひとり親世帯」「援助(ひとり親除く)世帯」両群において、う歯が未処置である傾向が確認された。

■2-4 健康診断調査の状況の経年比較

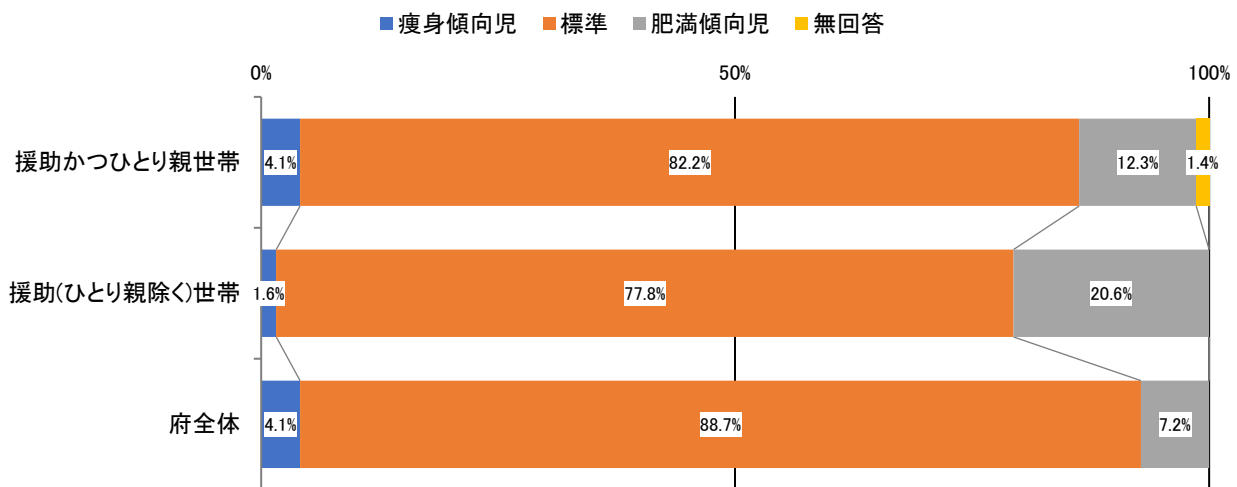
肥満傾向児の割合は年度によって違いがあるが、小学6年男子において「準要保護」や「ひとり親」、小学6年女子において「要保護」、中学3年男子において「要保護」で「府全体」よりも高い傾向が見られる。

う歯(むし歯)がある児童生徒の割合では、未処置歯の割合が、特に小学6年の「要保護」「準要保護」「ひとり親」に「府全体」よりも高い傾向が見られる。

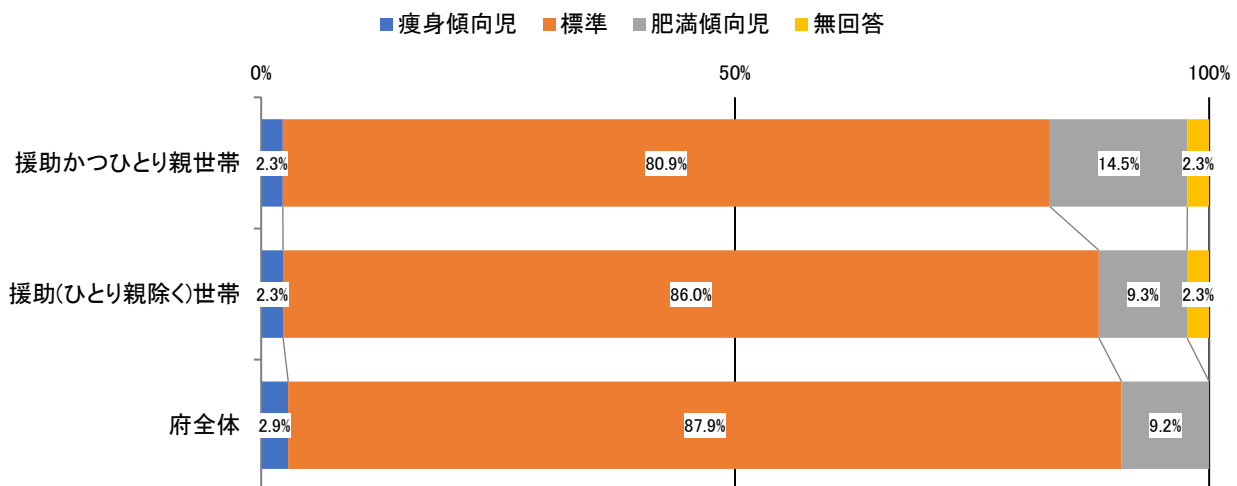
2-1 肥満傾向児及び痩身傾向児の割合【男子】

		調査対象校			参考
		援助かつひとり親世帯	援助(ひとり親除く)世帯	非援助世帯	府全体
小学6年	回答数(N)	73	63	未調査	-
	痩身傾向児	4.1%	1.6%	-	4.1%
	標準	82.2%	77.8%	-	88.7%
	肥満傾向児	12.3%	20.6%	-	7.2%
	無回答	1.4%	0.0%	-	0.0%
中学3年	回答数(N)	131	86	未調査	-
	痩身傾向児	2.3%	2.3%	-	2.9%
	標準	80.9%	86.0%	-	87.9%
	肥満傾向児	14.5%	9.3%	-	9.2%
	無回答	2.3%	2.3%	-	0.0%

■小学6年



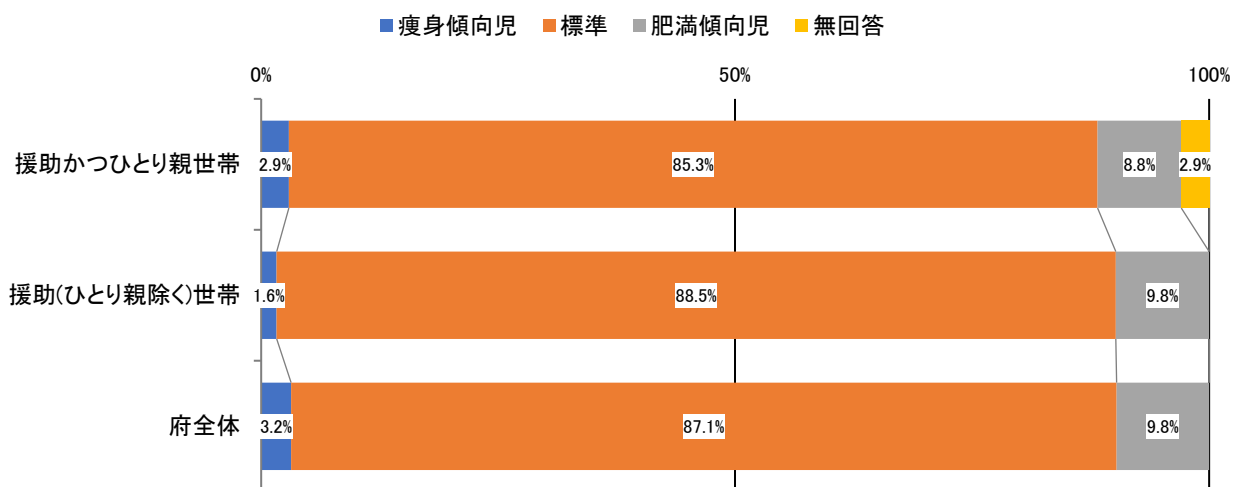
■中学3年



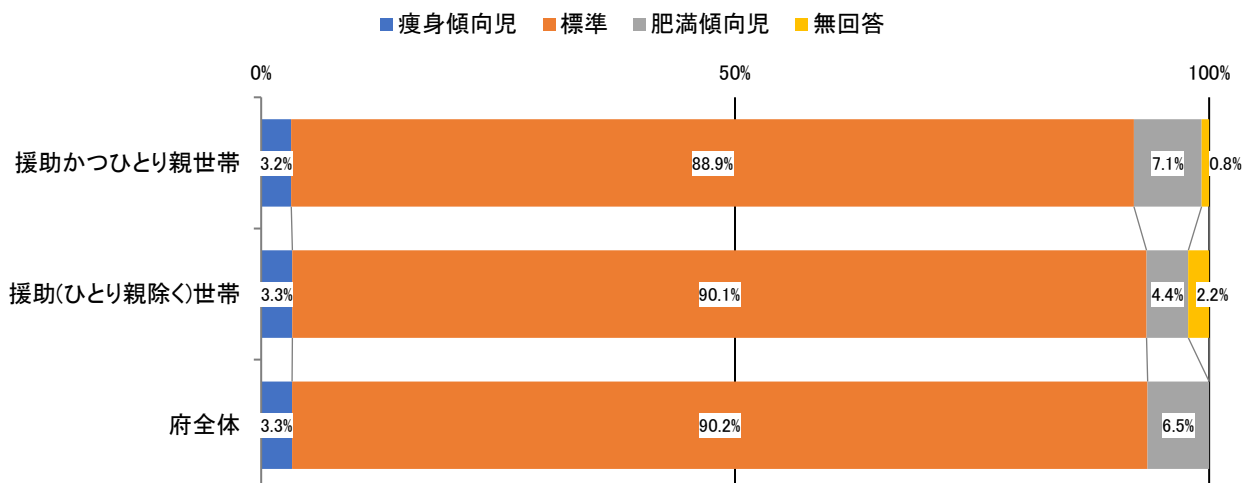
2-2 肥満傾向児及び痩身傾向児の割合【女子】

		調査対象校			参考
		援助かつひとり親世帯	援助(ひとり親除く)世帯	非援助世帯	府全体
小学6年	回答数(N)	68	61	未調査	-
	痩身傾向児	2.9%	1.6%	-	3.2%
	標準	85.3%	88.5%	-	87.1%
	肥満傾向児	8.8%	9.8%	-	9.8%
	無回答	2.9%	0.0%	-	0.0%
中学3年	回答数(N)	126	91	未調査	-
	痩身傾向児	3.2%	3.3%	-	3.3%
	標準	88.9%	90.1%	-	90.2%
	肥満傾向児	7.1%	4.4%	-	6.5%
	無回答	0.8%	2.2%	-	0.0%

■小学6年



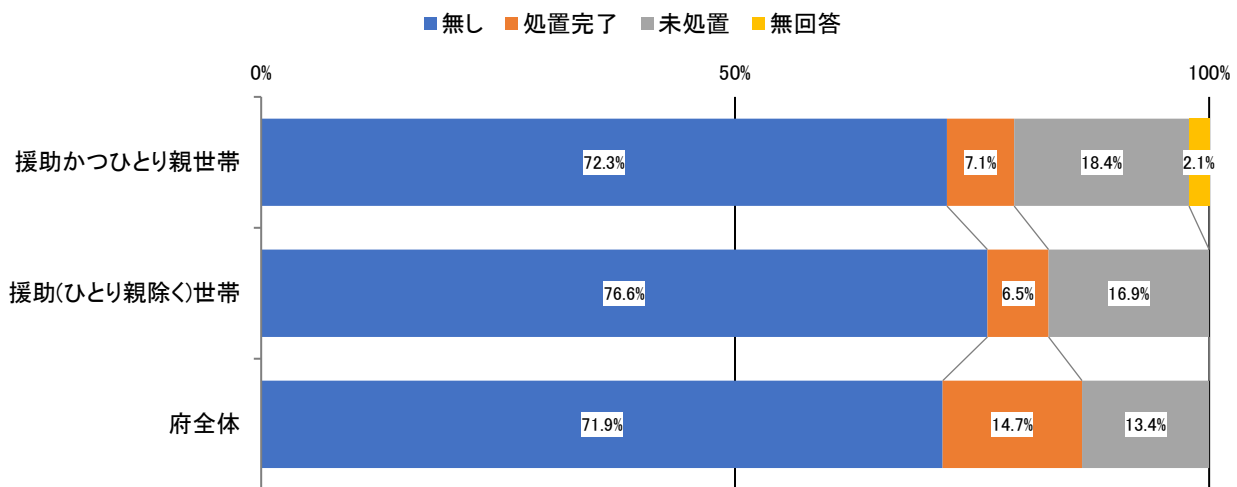
■中学3年



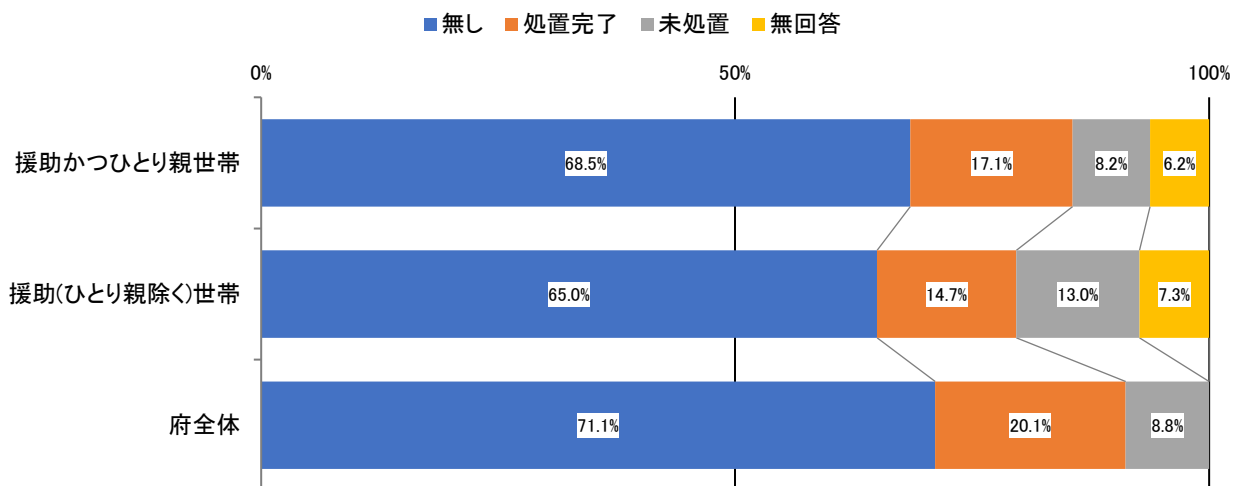
2-3 う歯の状況

		調査対象校			参考
		援助かつひとり親世帯	援助(ひとり親除く)世帯	非援助世帯	府全体
小学6年	回答数(N)	141	124	未調査	-
	無し	72.3%	76.6%	-	71.9%
	処置完了	7.1%	6.5%	-	14.7%
	未処置	18.4%	16.9%	-	13.4%
	無回答	2.1%	0.0%	-	0.0%
中学3年	回答数(N)	257	177	未調査	-
	無し	68.5%	65.0%	-	71.1%
	処置完了	17.1%	14.7%	-	20.1%
	未処置	8.2%	13.0%	-	8.8%
	無回答	6.2%	7.3%	-	0.0%

■小学6年

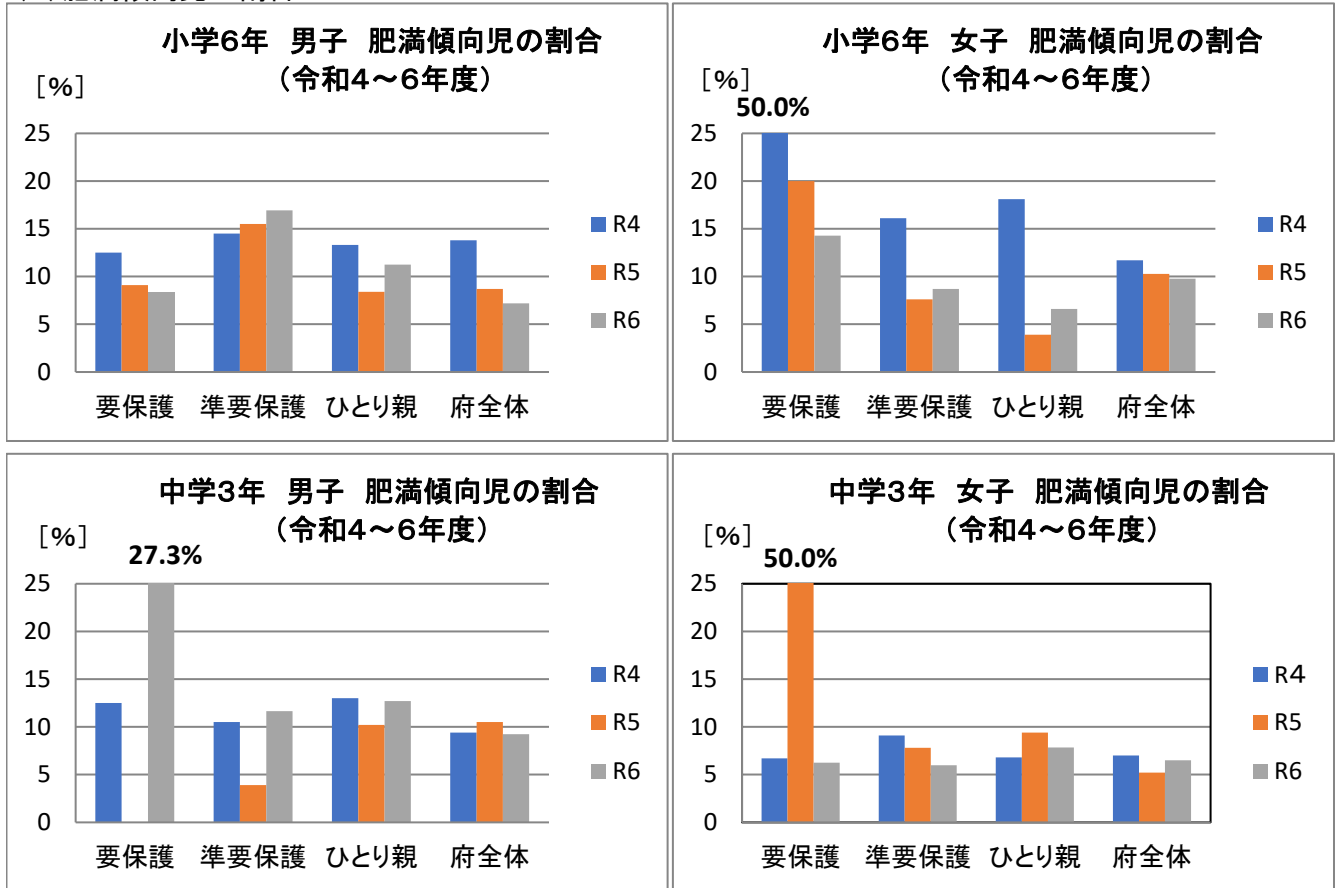


■中学3年

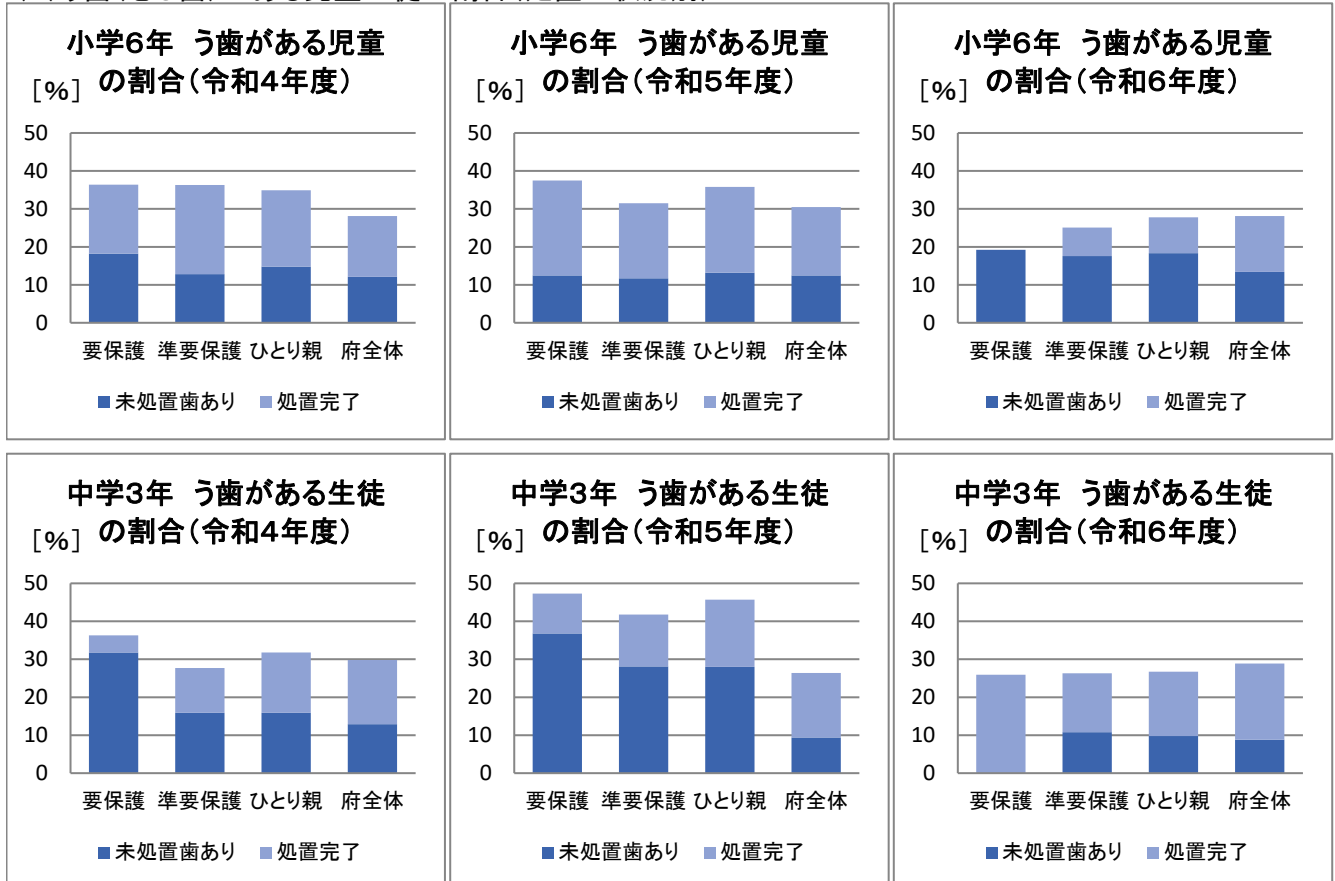


2-4 健康診断調査の状況の経年比較

(1) 肥満傾向児の割合



(2) う歯(むし歯)がある児童生徒の割合(処置の状況別)



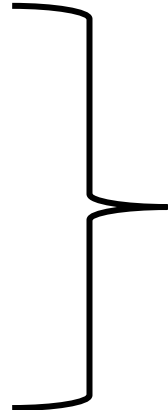
3 学力

- 3-2-1 学力層分類【国語】
- 3-2-2 学力層分類【数学】
- 3-2-3 学力層分類【英語】

学力層分類【国語・数学・英語(中学校のみ)】に関して、「援助かつひとり親世帯」「援助(ひとり親除く)世帯」両群において、小学校、中学校ともに「分類A」が少なく、学力が低い傾向になっている。

■学力層分類

分類A
分類B
分類C
分類D



学力層分類は学力調査の
上位から4分の1ずつに分
けた層

- 3-3-1 学力分布(国語)
- 3-3-2 学力分布(数学)
- 3-3-3 学力分布(英語)

学力分布【国語・数学・英語(中学校のみ)】に関して、「援助かつひとり親世帯」「援助(ひとり親除く)世帯」両群において、学力の低い層に所属する児童生徒の割合が高く、逆に学力の高い層では割合が低いことが確認された。

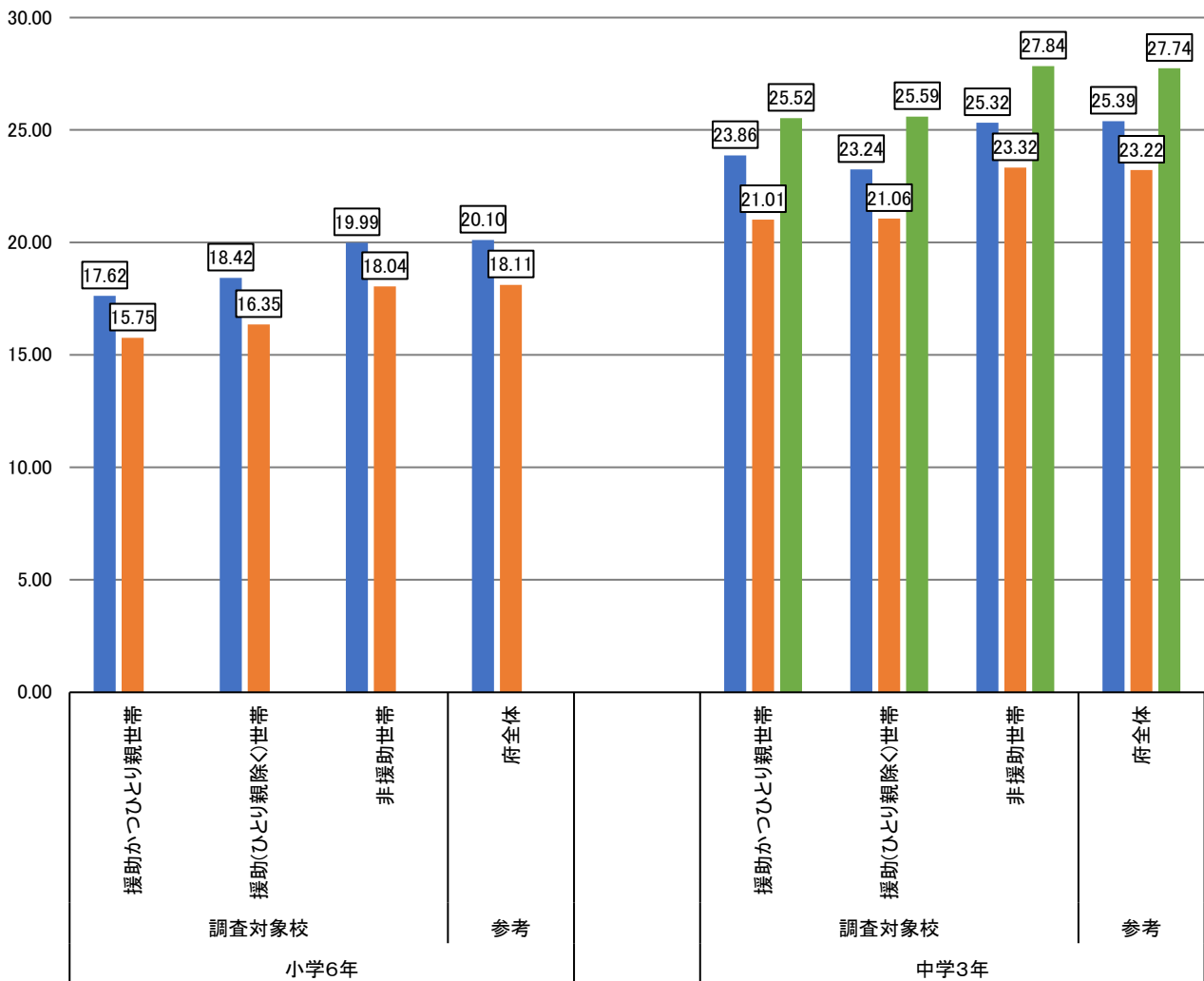
3-1 学力平均スコア

学力スコアは学カステップの1～36の値を平均値化した数値。

	小学6年				中学3年			
	調査対象校			参考	調査対象校			参考
	援助かつひとり親世帯	援助(ひとり親除く)世帯	非援助世帯	府全体	援助かつひとり親世帯	援助(ひとり親除く)世帯	非援助世帯	府全体
学力スコア【国語】	17.62 (N=135)	18.42 (N=119)	19.99 (N=1,094)	20.10 (N=9,031)	23.86 (N=222)	23.24 (N=161)	25.32 (N=2,080)	25.39 (N=8,741)
学力スコア【数学】	15.75 (N=134)	16.35 (N=120)	18.04 (N=1,092)	18.11 (N=9,027)	21.01 (N=222)	21.06 (N=161)	23.32 (N=2,081)	23.22 (N=8,740)
学力スコア【英語】	- (N=0)	- (N=0)	- (N=0)	- (N=0)	25.52 (N=222)	25.59 (N=162)	27.84 (N=2,081)	27.74 (N=8,731)

学力スコア

■ 学力スコア【国語】 ■ 学力スコア【数学】 ■ 学力スコア【英語】

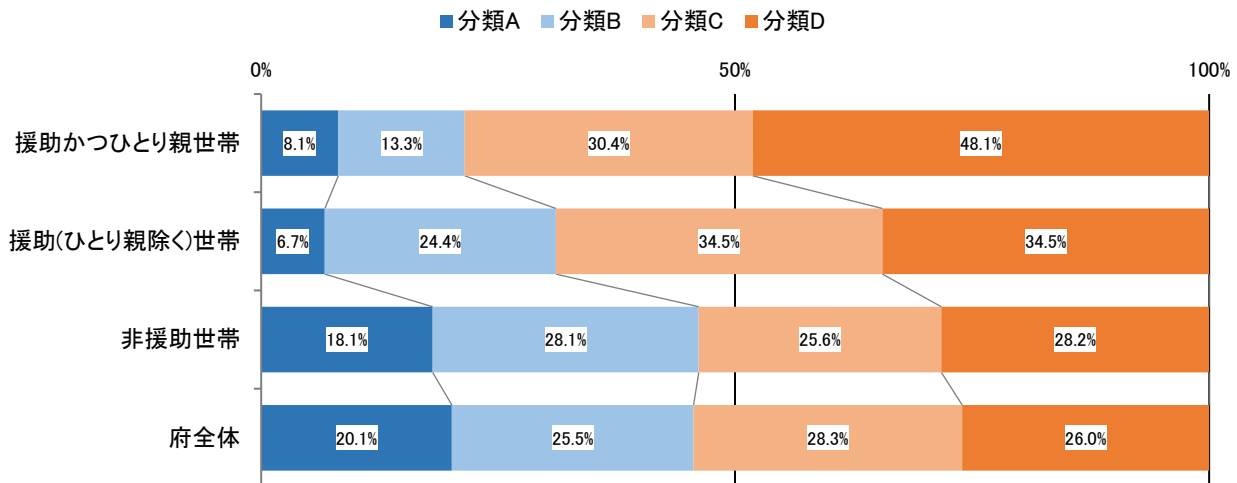


3-2 学力層

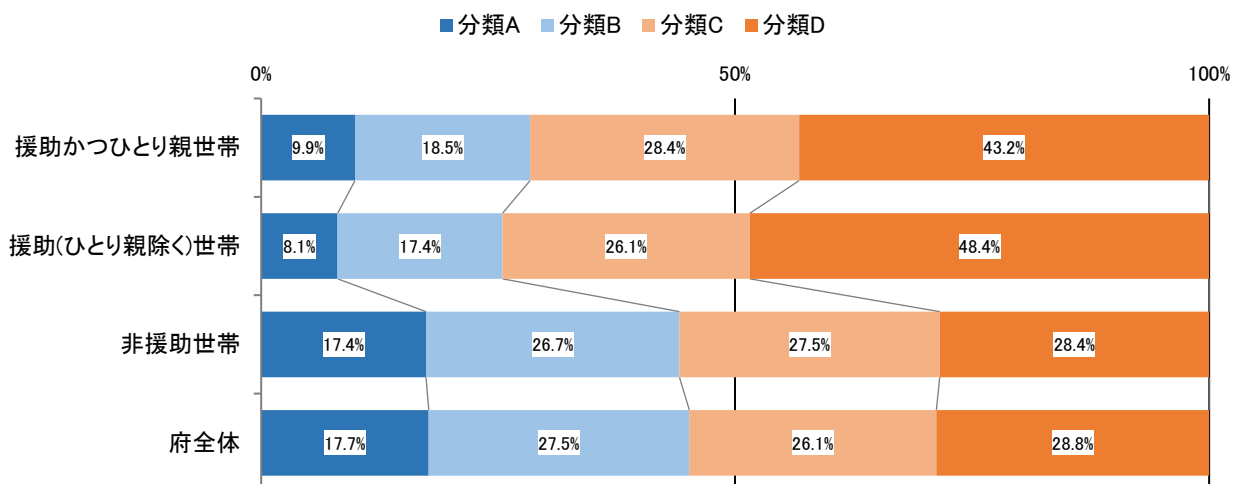
3-2-1 学力層分類【国語】

		調査対象校			参考
		援助かつひとり親世帯	援助(ひとり親除く)世帯	非援助世帯	府全体
小学6年	回答数(N)	135	119	1,094	9,031
	分類A	8.1%	6.7%	18.1%	20.1%
	分類B	13.3%	24.4%	28.1%	25.5%
	分類C	30.4%	34.5%	25.6%	28.3%
	分類D	48.1%	34.5%	28.2%	26.0%
中学3年	回答数(N)	222	161	2,080	8,741
	分類A	9.9%	8.1%	17.4%	17.7%
	分類B	18.5%	17.4%	26.7%	27.5%
	分類C	28.4%	26.1%	27.5%	26.1%
	分類D	43.2%	48.4%	28.4%	28.8%

■小学6年



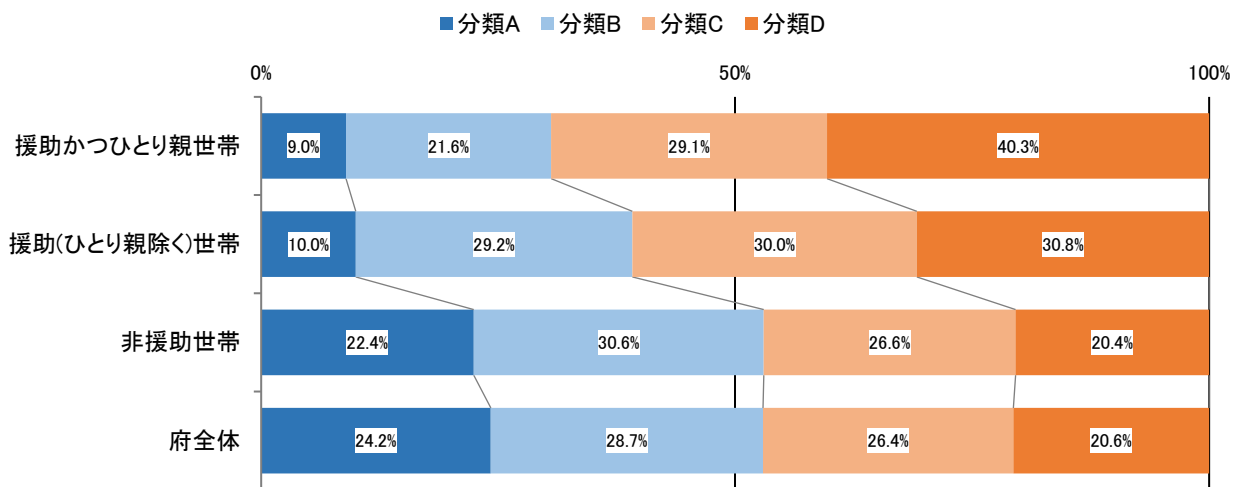
■中学3年



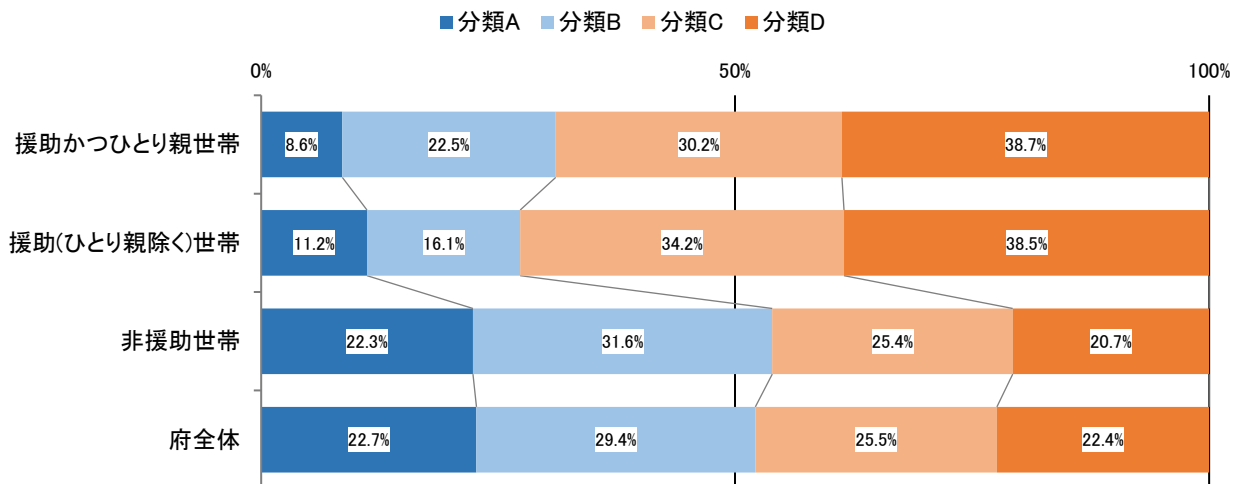
3-2-2 学力層分類【数学】

		調査対象校			参考
		援助かつひとり親世帯	援助(ひとり親除く)世帯	非援助世帯	府全体
小学6年	回答数(N)	134	120	1,092	9,027
	分類A	9.0%	10.0%	22.4%	24.2%
	分類B	21.6%	29.2%	30.6%	28.7%
	分類C	29.1%	30.0%	26.6%	26.4%
	分類D	40.3%	30.8%	20.4%	20.6%
中学3年	回答数(N)	222	161	2,081	8,740
	分類A	8.6%	11.2%	22.3%	22.7%
	分類B	22.5%	16.1%	31.6%	29.4%
	分類C	30.2%	34.2%	25.4%	25.5%
	分類D	38.7%	38.5%	20.7%	22.4%

■小学6年



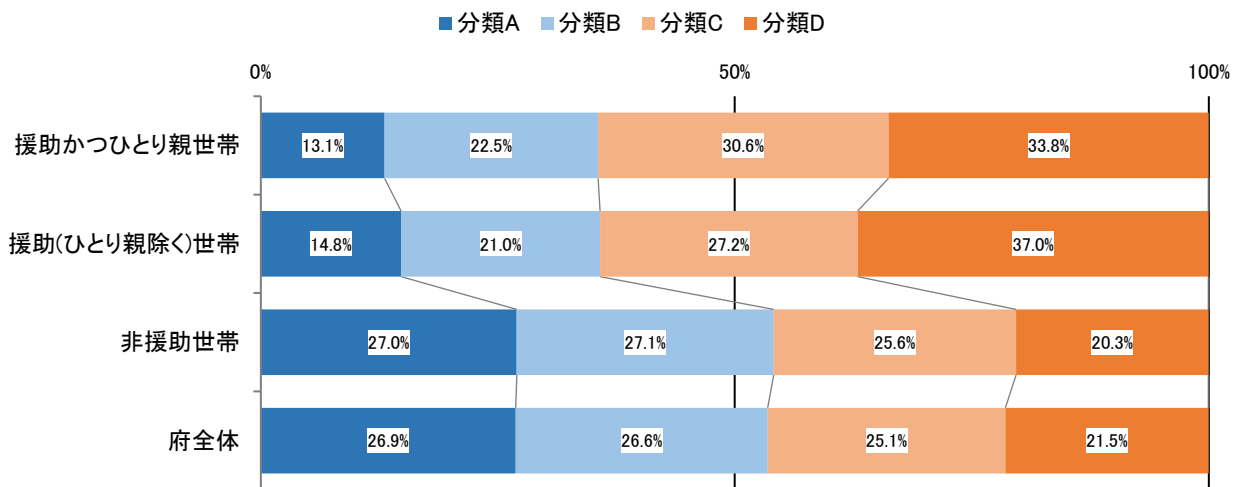
■中学3年



3-2-3 学力層分類【英語】

		調査対象校			参考
		援助かつひとり親世帯	援助(ひとり親除く)世帯	非援助世帯	府全体
小学6年	回答数(N)	0	0	0	0
	分類A	-	-	-	-
	分類B	-	-	-	-
	分類C	-	-	-	-
	分類D	-	-	-	-
中学3年	回答数(N)	222	162	2,081	8,731
	分類A	13.1%	14.8%	27.0%	26.9%
	分類B	22.5%	21.0%	27.1%	26.6%
	分類C	30.6%	27.2%	25.6%	25.1%
	分類D	33.8%	37.0%	20.3%	21.5%

■ 中学3年



3-3 学カステップによる学カの分布

学カステップとは

「京都府学カ・学習状況調査～学びのパスポート～」で測定できる学カの範囲を、一定の間隔で分割して表したもの。

1～12ステップまで存在し、1つのステップをさらに3分割(A、B、C)している。

ここではグラフで表すために、それらを数値化している。数値の対応は以下のとおり。

学カステップ	学カステップ (3分割)	数値
ステップ12	12-A	36
	12-B	35
	12-C	34
ステップ11	11-A	33
	11-B	32
	11-C	31
ステップ10	10-A	30
	10-B	29
	10-C	28
ステップ9	9-A	27
	9-B	26
	9-C	25
ステップ8	8-A	24
	8-B	23
	8-C	22
ステップ7	7-A	21
	7-B	20
	7-C	19
ステップ6	6-A	18
	6-B	17
	6-C	16
ステップ5	5-A	15
	5-B	14
	5-C	13
ステップ4	4-A	12
	4-B	11
	4-C	10
ステップ3	3-A	9
	3-B	8
	3-C	7
ステップ2	2-A	6
	2-B	5
	2-C	4
ステップ1	1-A	3
	1-B	2
	1-C	1

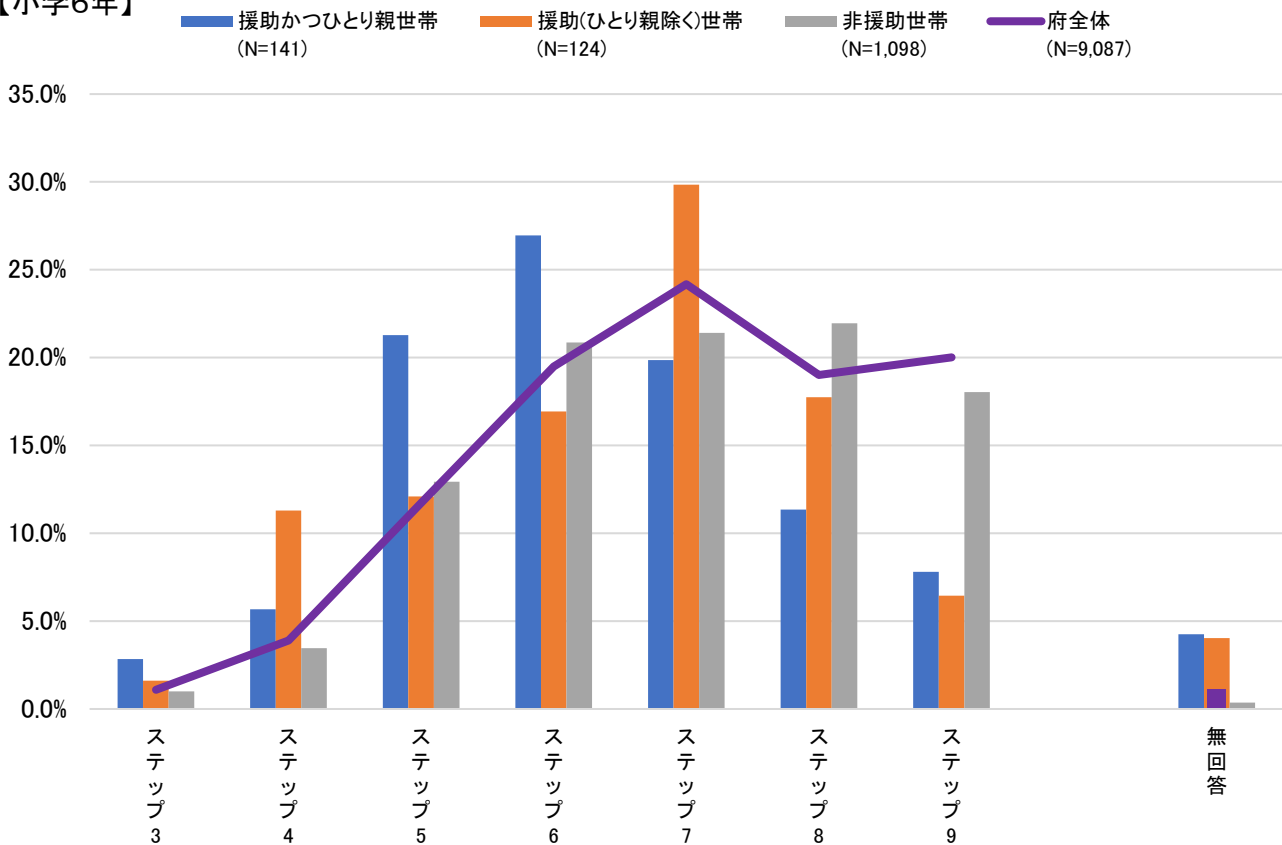
高



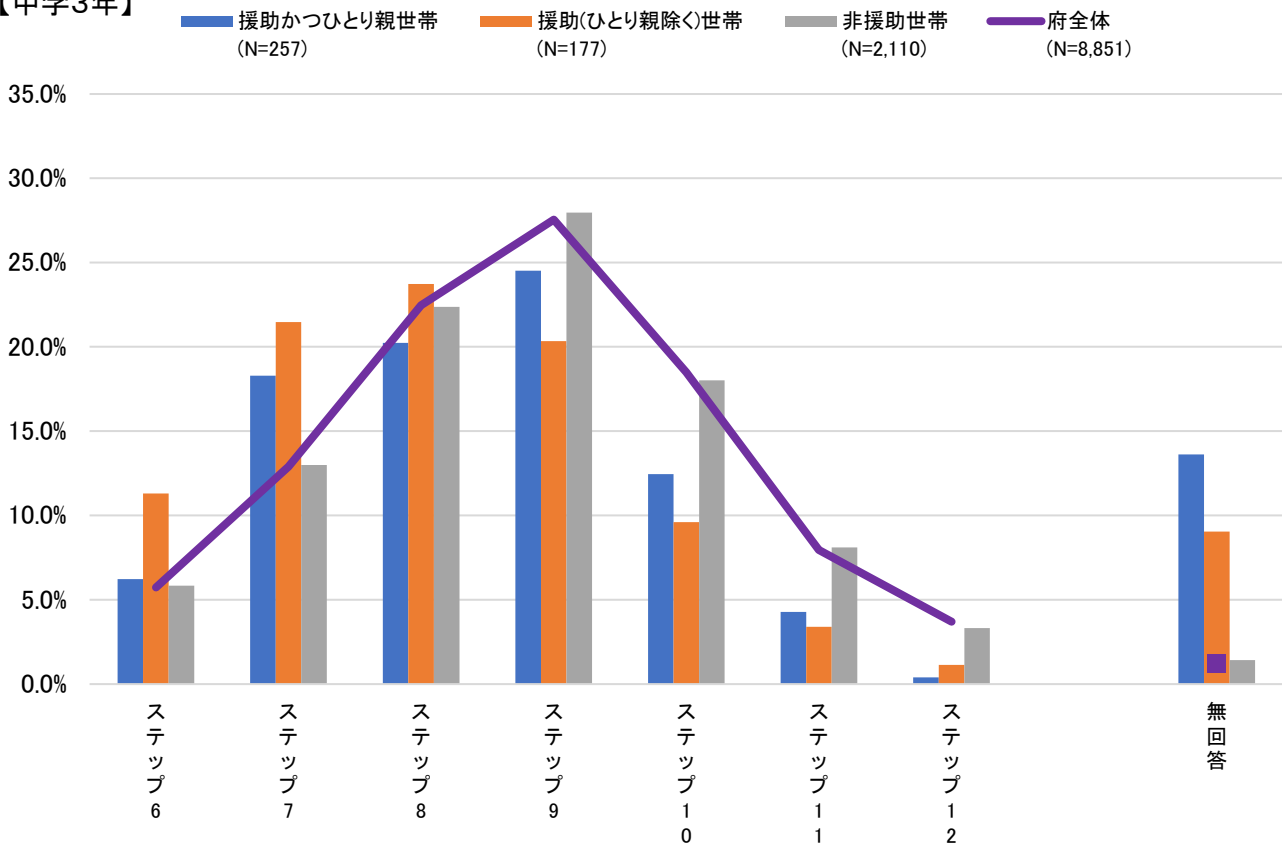
低

3-3-1 学力分布(国語)

【小学6年】

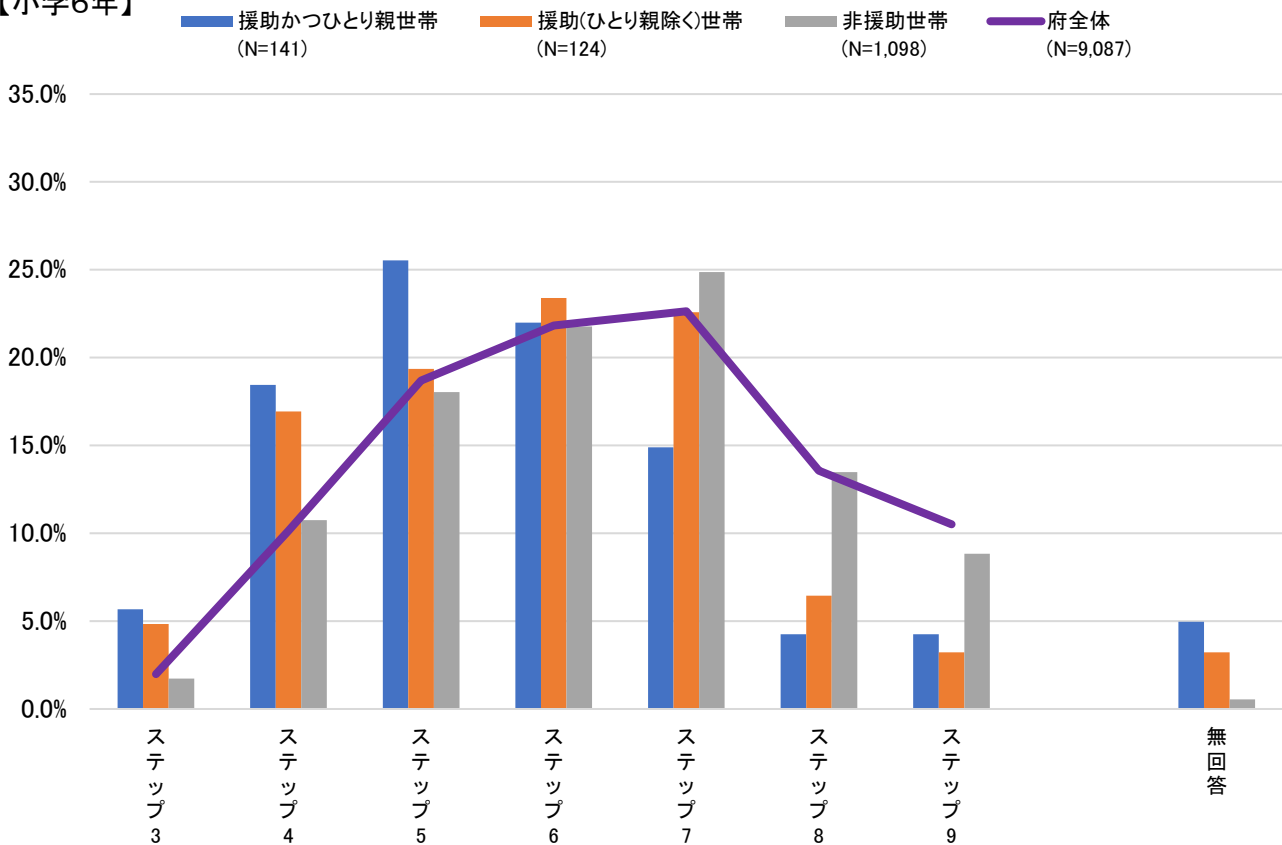


【中学3年】

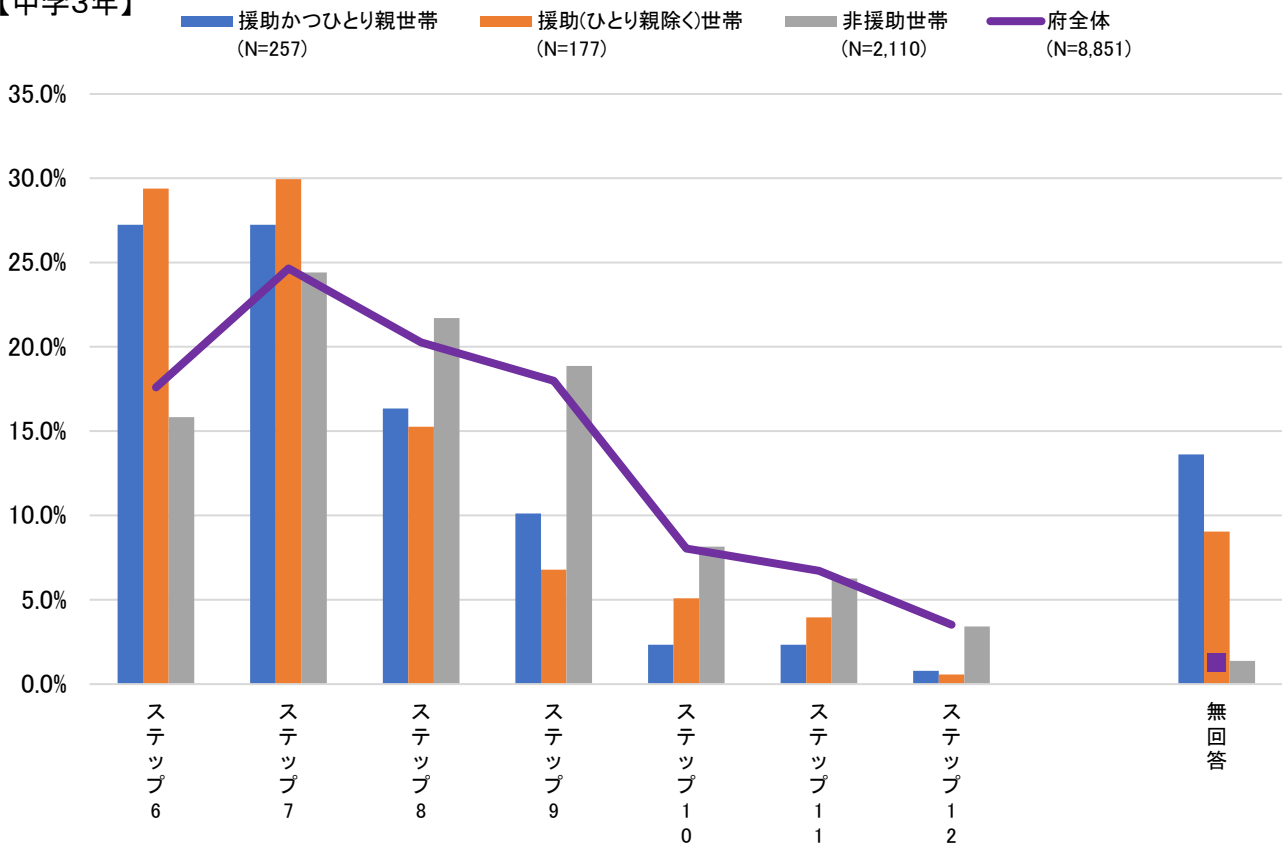


3-3-2 学力分布(数学)

【小学6年】

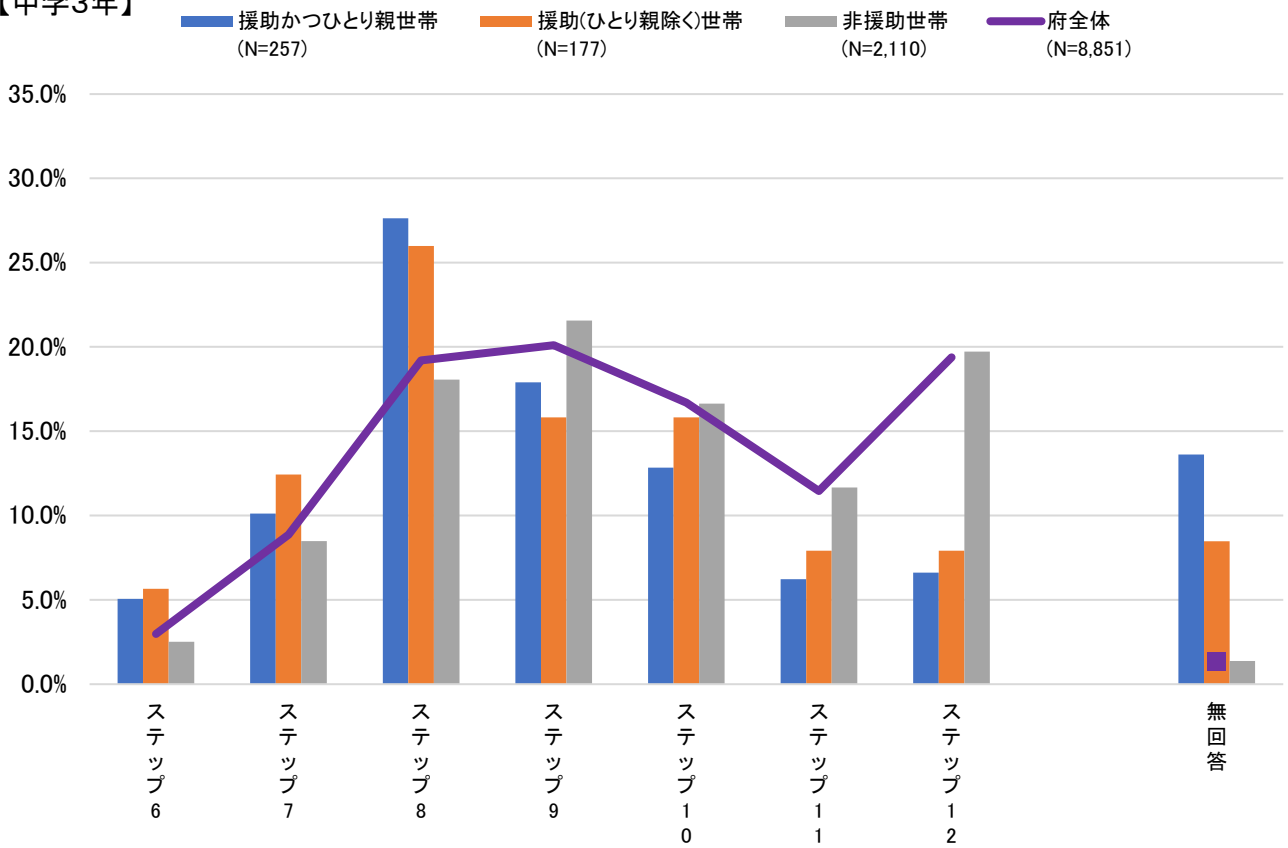


【中学3年】



3-3-3 学力分布(英語)

【中学3年】

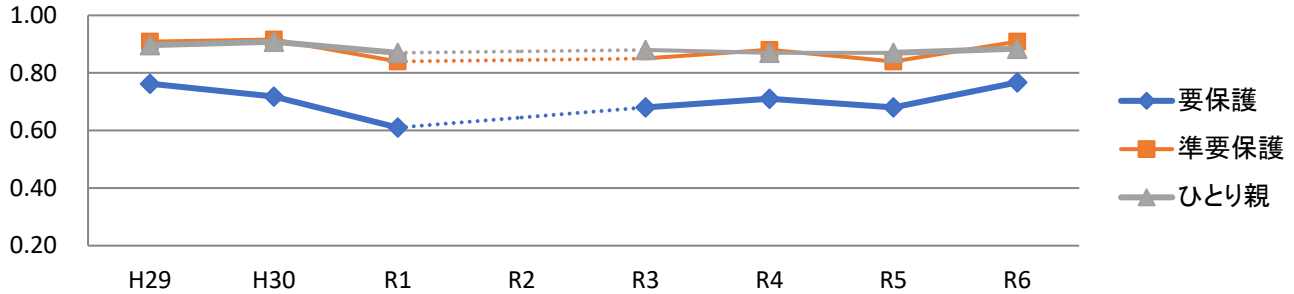


3-4 府全体の学カスコアを1とした指数による経年比較

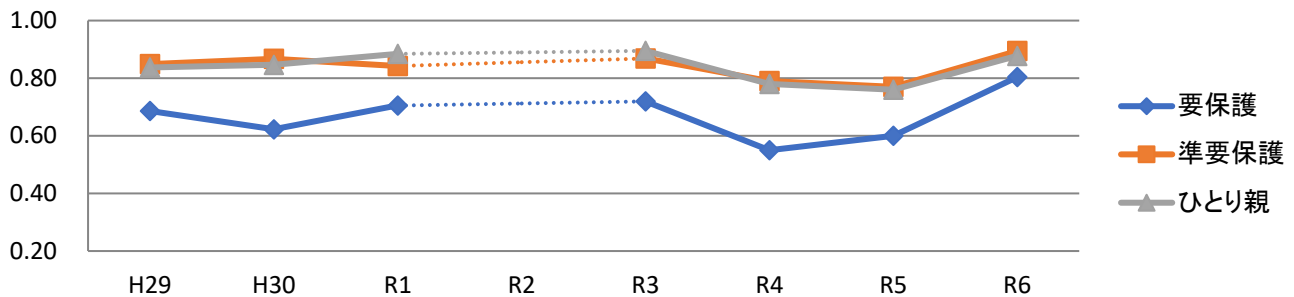
令和5年以前は「全国学力・学習状況調査」の結果を活用し、平均正答数を1とした指数により算出している。

令和2年度「全国学力・学習状況調査」は中止されたため、当該年間の値は算出されていない。

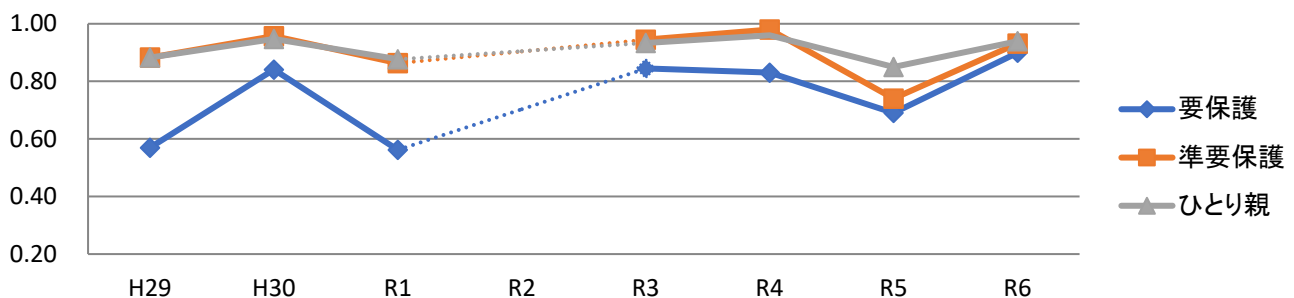
小学6年 国語



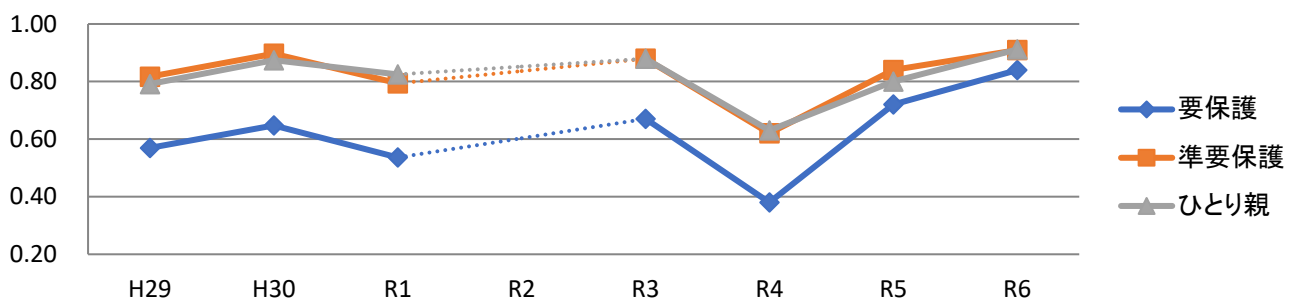
小学6年 算数



中学3年 国語



中学3年 数学



4 家庭生活

- 4-1 家で、学校の宿題をしている。(放課後児童クラブを含む)
- 4-2 家で、学校の授業の予習をしている。(放課後児童クラブを含む)
- 4-3 家で、学校の授業の復習をしている。(放課後児童クラブを含む)

学校の宿題、授業の予復習の習慣について、主に「援助かつひとり親世帯」において、小学校、中学校ともに「当てはまる」を選択した児童生徒が少なく、「非援助世帯」や「府全体」に対して大きな乖離があった。

- 4-4 学習塾に通っている。(家庭教師に教わっている場合も含む)

学習塾に通っているかの設問について、「援助かつひとり親世帯」「援助(ひとり親除く)世帯」両群において、小学校、中学校ともに「当てはまる」を選択した児童生徒が少なく、「非援助世帯」や「府全体」に対して大きな乖離があった。

- 4-5 学校の授業時間以外に、普段(月～金)、1日当たりどれくらいの時間、学習をしているか。(塾、家庭教師も含む)
- 4-6 土曜日や日曜日など学校の休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、学習をしているか。(塾、家庭教師も含む)

授業時間外の学習時間に関する設問について、「援助かつひとり親世帯」「援助(ひとり親除く)世帯」両群において、小学校、中学校ともに学習時間が少ない傾向にあり、「全くしない」と回答した児童生徒が多い傾向にあった。

- 4-7 家で、ICT端末を使って学習する機会がある。

授業・家でICT端末を使って学習する設問について、「援助かつひとり親世帯」「援助(ひとり親除く)世帯」両群において、小学校、中学校ともに「当てはまる」を回答した児童生徒が少なく、「非援助世帯」や「府全体」に対して大きな乖離があった。

- 4-8 読書は好きだ。
- 4-9 学校の授業時間以外に、普段(月～金)、1日当たりどれくらいの時間、読書をしているか。(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く。)

読書への関心及び読書時間の設問について、「援助(ひとり親除く)世帯」において、小学校、中学校ともに関心、読書時間が少ない傾向にあり、中学校においては「全くしない」と回答した児童生徒が多い傾向にあった。

- 4-10 普段(月～金)、何時ごろに起きるか。
- 4-11 普段(月～金)、何時ごろにねるか。

普段の起床・就寝時間の設問について、「援助かつひとり親世帯」「援助(ひとり親除く)世帯」両群において、小学校では比較的起床は午前7時より前が少なく、就寝は午後11時以降と回答した児童生徒が多い傾向にあった。

■4-12 朝食を毎日食べている。

朝食を毎日食べているかの設問について、「援助かつひとり親世帯」「援助(ひとり親除く)世帯」両群において、小学校、中学校ともに「毎日食べる」を回答した児童生徒が少なく、「非援助世帯」や「府全体」に対して大きな乖離があった。

■4-13 自分だけの携帯電話やスマートフォンを持っている。

■4-14 普段(月～金)、1日当たりどれくらいの時間、テレビ・ゲーム・携帯電話・スマートフォン・タブレットなどを使用しているか。(学習時間を除く)

自分だけの携帯電話やスマートフォンの所持しているかの設問について、「援助かつひとり親世帯」において、小学校では「持っている」と回答した児童生徒が多い傾向にあった。

また、1日の利用間は、小学校、中学校ともに「4時間以上」と回答した児童生徒が多く、「非援助世帯」や「府全体」に対して大きな乖離があった。

■4-15 将来の夢や目標をもっている。

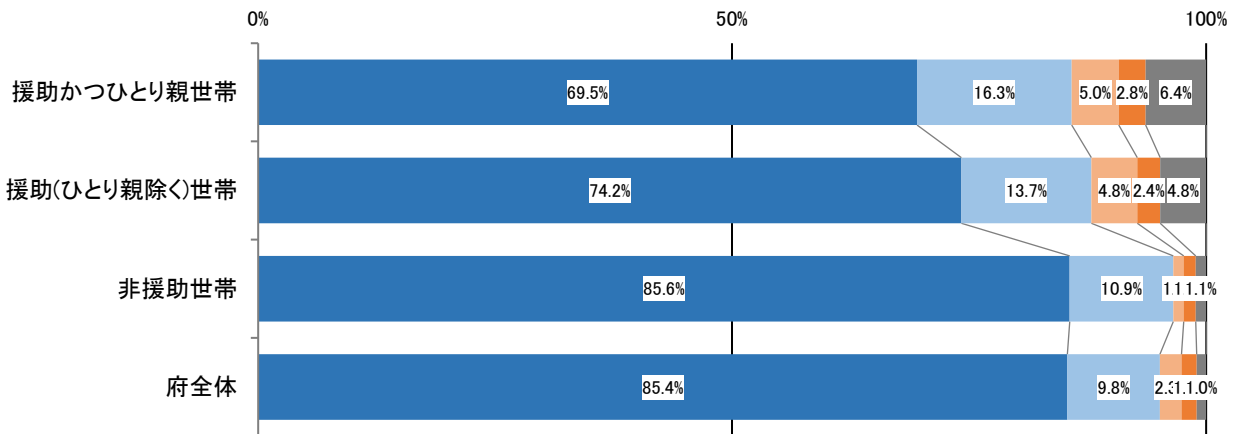
特にグループ間の変化は見られなかった。

4-1 家で、学校の宿題をしている。(放課後児童クラブを含む)

		調査対象校			参考
		援助かつひとり親世帯	援助(ひとり親除く)世帯	非援助世帯	府全体
小学6年	回答数(N)	141	124	1,098	9,087
	当てはまる	69.5%	74.2%	85.6%	85.4%
	どちらかといえば、当てはまる	16.3%	13.7%	10.9%	9.8%
	どちらかといえば、当てはまらない	5.0%	4.8%	1.1%	2.3%
	当てはまらない	2.8%	2.4%	1.3%	1.6%
	無回答	6.4%	4.8%	1.1%	1.0%
中学3年	回答数(N)	257	177	2,110	8,851
	当てはまる	38.1%	50.8%	57.4%	55.4%
	どちらかといえば、当てはまる	26.8%	24.3%	25.9%	27.2%
	どちらかといえば、当てはまらない	12.5%	7.9%	9.7%	9.3%
	当てはまらない	10.1%	7.9%	5.5%	6.5%
	無回答	12.5%	9.0%	1.5%	1.7%

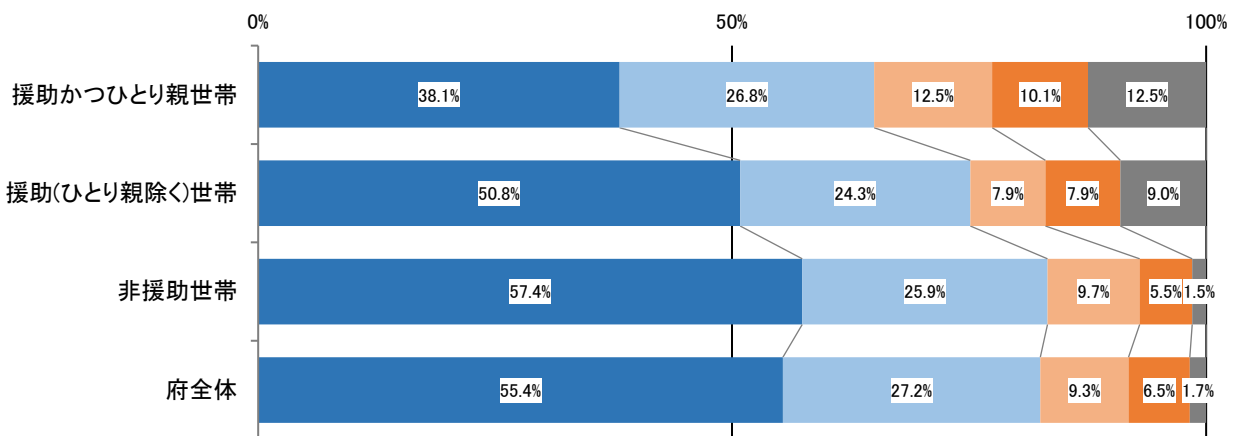
■小学6年

■ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまらない ■ 当てはまらない ■ 無回答



■中学3年

■ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまらない ■ 当てはまらない ■ 無回答

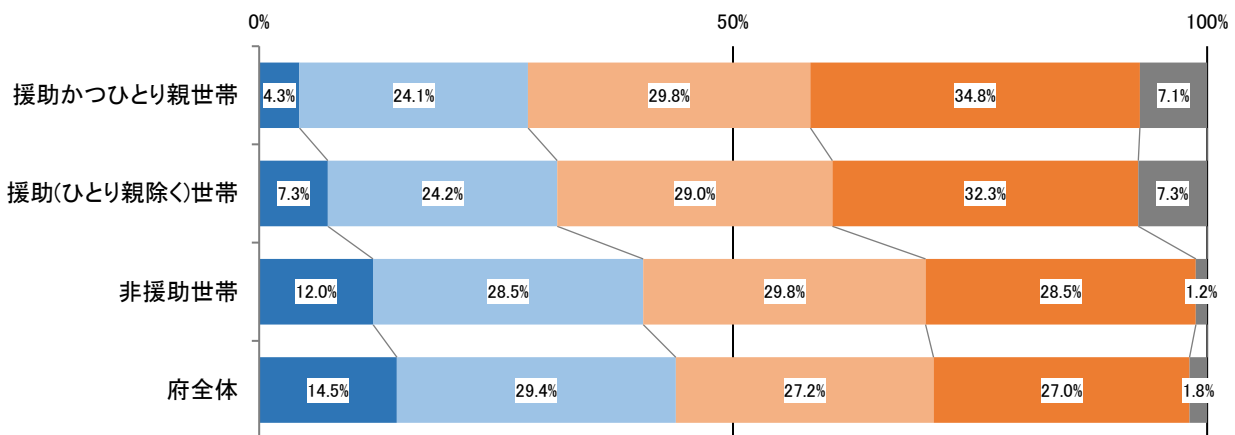


4-2 家で、学校の授業の予習をしている。(放課後児童クラブを含む)

		調査対象校			参考
		援助かつひとり親世帯	援助(ひとり親除く)世帯	非援助世帯	府全体
小学6年	回答数(N)	141	124	1,098	9,087
	当てはまる	4.3%	7.3%	12.0%	14.5%
	どちらかといえば、当てはまる	24.1%	24.2%	28.5%	29.4%
	どちらかといえば、当てはまらない	29.8%	29.0%	29.8%	27.2%
	当てはまらない	34.8%	32.3%	28.5%	27.0%
	無回答	7.1%	7.3%	1.2%	1.8%
中学3年	回答数(N)	257	177	2,110	8,851
	当てはまる	3.1%	5.6%	8.6%	8.2%
	どちらかといえば、当てはまる	16.3%	16.4%	21.9%	21.6%
	どちらかといえば、当てはまらない	27.6%	31.6%	33.1%	31.1%
	当てはまらない	40.1%	36.7%	34.3%	36.8%
	無回答	12.8%	9.6%	2.2%	2.3%

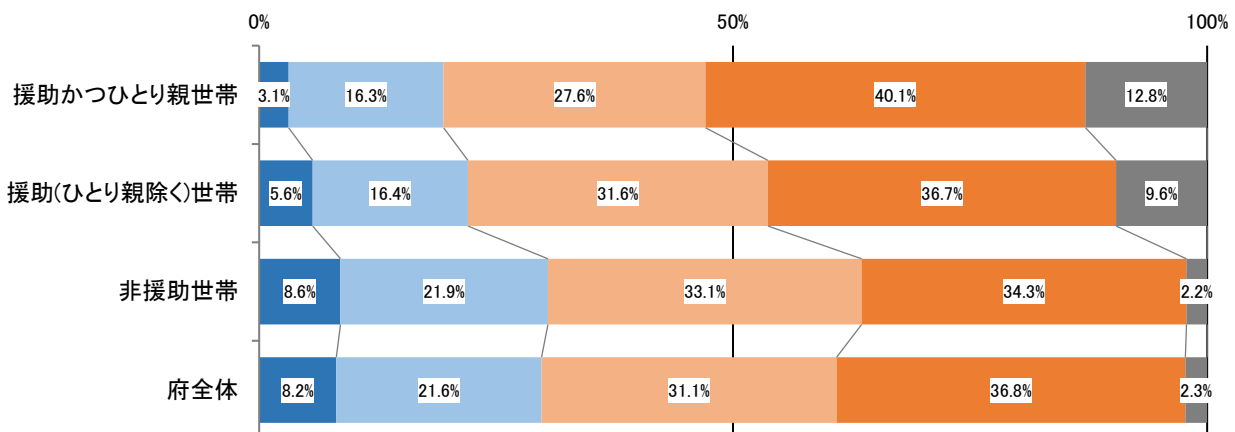
■小学6年

■ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまらない ■ 当てはまらない ■ 無回答



■中学3年

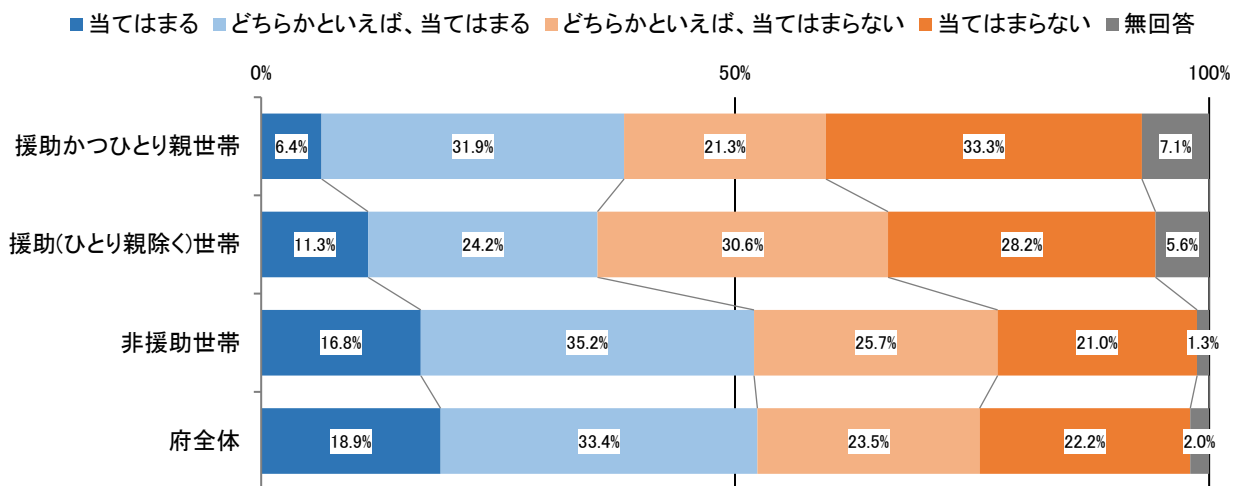
■ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまらない ■ 当てはまらない ■ 無回答



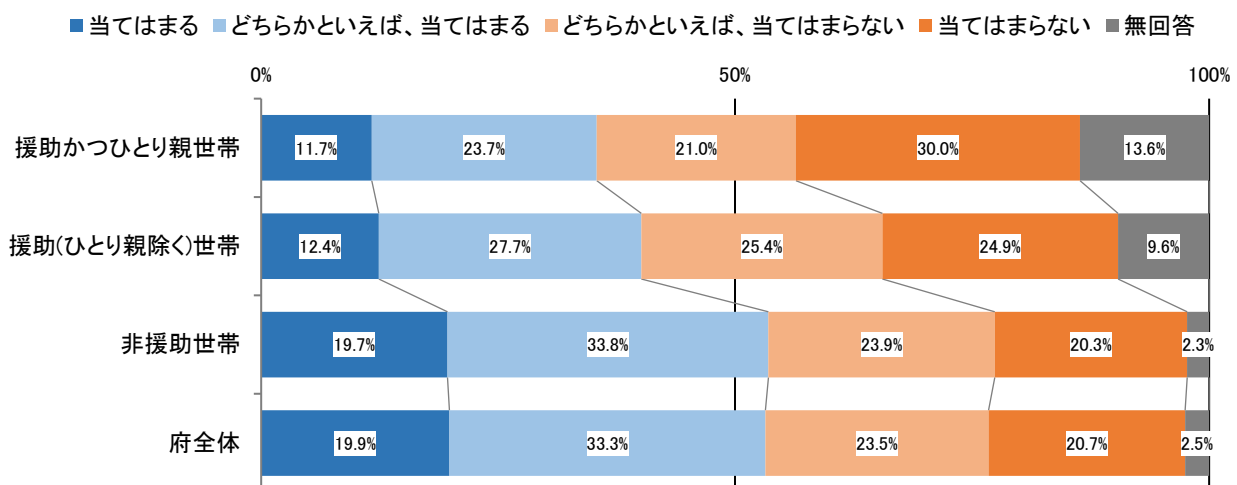
4-3 家で、学校の授業の復習をしている。(放課後児童クラブを含む)

		調査対象校			参考
		援助かつひとり親世帯	援助(ひとり親除く)世帯	非援助世帯	府全体
小学6年	回答数(N)	141	124	1,098	9,087
	当てはまる	6.4%	11.3%	16.8%	18.9%
	どちらかといえば、当てはまる	31.9%	24.2%	35.2%	33.4%
	どちらかといえば、当てはまらない	21.3%	30.6%	25.7%	23.5%
	当てはまらない	33.3%	28.2%	21.0%	22.2%
	無回答	7.1%	5.6%	1.3%	2.0%
中学3年	回答数(N)	257	177	2,110	8,851
	当てはまる	11.7%	12.4%	19.7%	19.9%
	どちらかといえば、当てはまる	23.7%	27.7%	33.8%	33.3%
	どちらかといえば、当てはまらない	21.0%	25.4%	23.9%	23.5%
	当てはまらない	30.0%	24.9%	20.3%	20.7%
	無回答	13.6%	9.6%	2.3%	2.5%

■小学6年



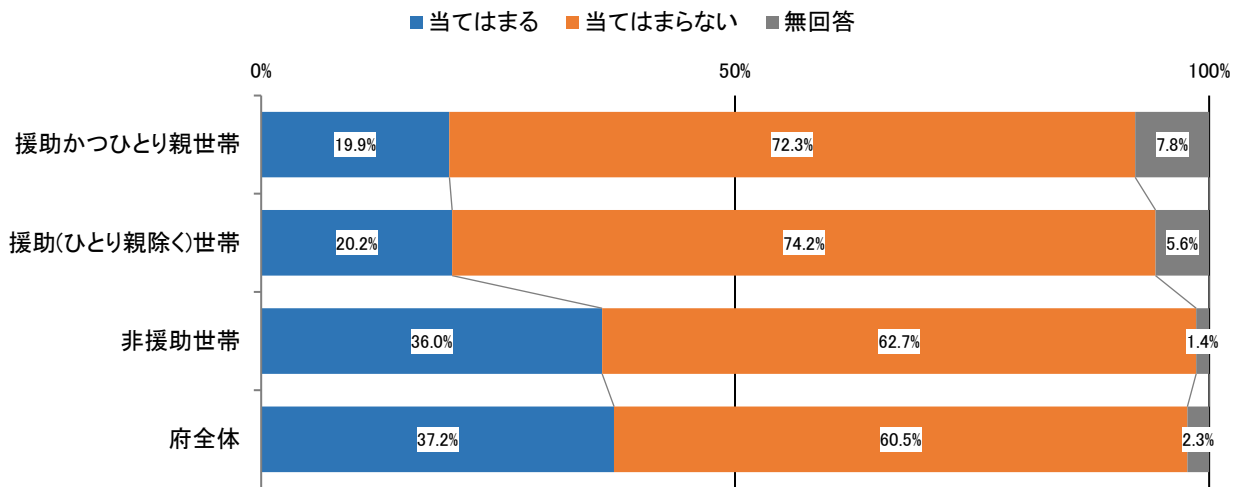
■中学3年



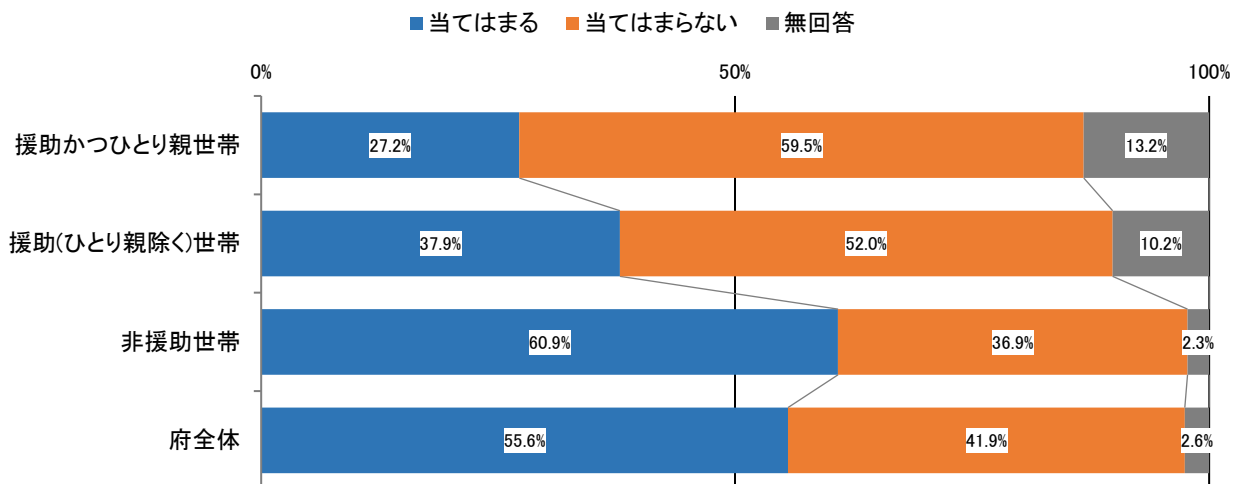
4-4 学習塾に通っている。(家庭教師に教わっている場合も含む)

		調査対象校			参考
		援助かつひとり親世帯	援助(ひとり親除く)世帯	非援助世帯	府全体
小学6年	回答数(N)	141	124	1,098	9,087
	当てはまる	19.9%	20.2%	36.0%	37.2%
	当てはまらない	72.3%	74.2%	62.7%	60.5%
	無回答	7.8%	5.6%	1.4%	2.3%
中学3年	回答数(N)	257	177	2,110	8,851
	当てはまる	27.2%	37.9%	60.9%	55.6%
	当てはまらない	59.5%	52.0%	36.9%	41.9%
	無回答	13.2%	10.2%	2.3%	2.6%

■小学6年



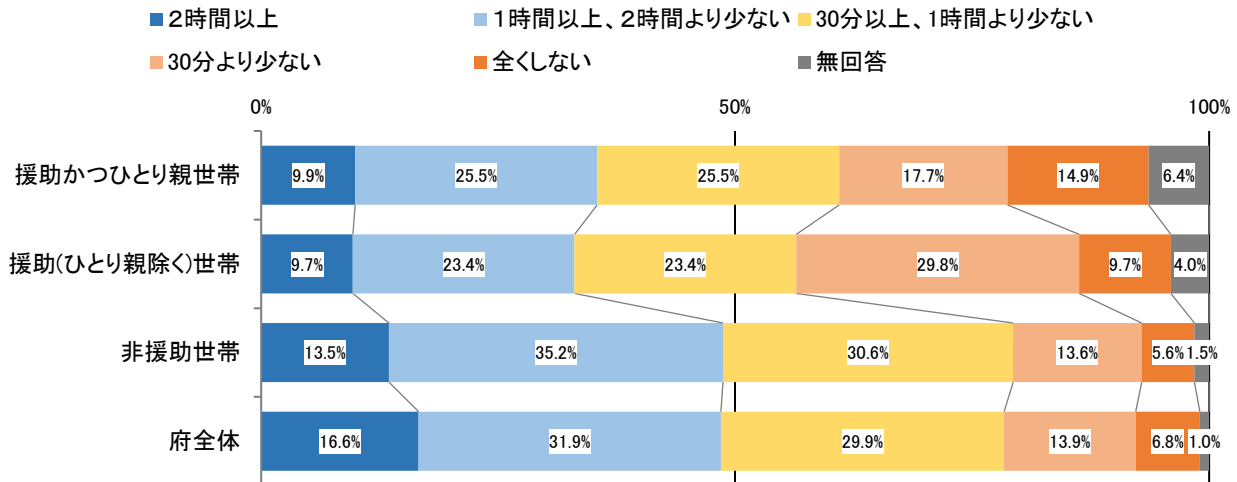
■中学3年



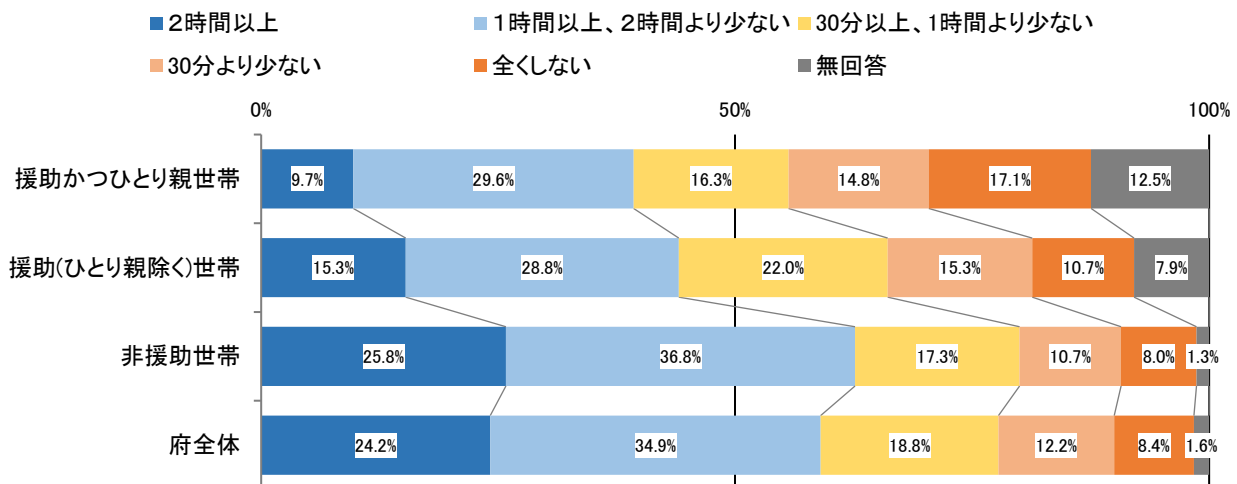
4-5 学校の授業時間以外に、普段(月～金)、1日当たりどれくらいの時間、学習をしているか。(塾、家庭教師も含む)

		調査対象校			参考
		援助かつひとり親世帯	援助(ひとり親除く)世帯	非援助世帯	府全体
小学6年	回答数(N)	141	124	1,098	9,087
	2時間以上	9.9%	9.7%	13.5%	16.6%
	1時間以上、2時間より少ない	25.5%	23.4%	35.2%	31.9%
	30分以上、1時間より少ない	25.5%	23.4%	30.6%	29.9%
	30分より少ない	17.7%	29.8%	13.6%	13.9%
	全くしない	14.9%	9.7%	5.6%	6.8%
	無回答	6.4%	4.0%	1.5%	1.0%
中学3年	回答数(N)	257	177	2,110	8,851
	2時間以上	9.7%	15.3%	25.8%	24.2%
	1時間以上、2時間より少ない	29.6%	28.8%	36.8%	34.9%
	30分以上、1時間より少ない	16.3%	22.0%	17.3%	18.8%
	30分より少ない	14.8%	15.3%	10.7%	12.2%
	全くしない	17.1%	10.7%	8.0%	8.4%
	無回答	12.5%	7.9%	1.3%	1.6%

■小学6年



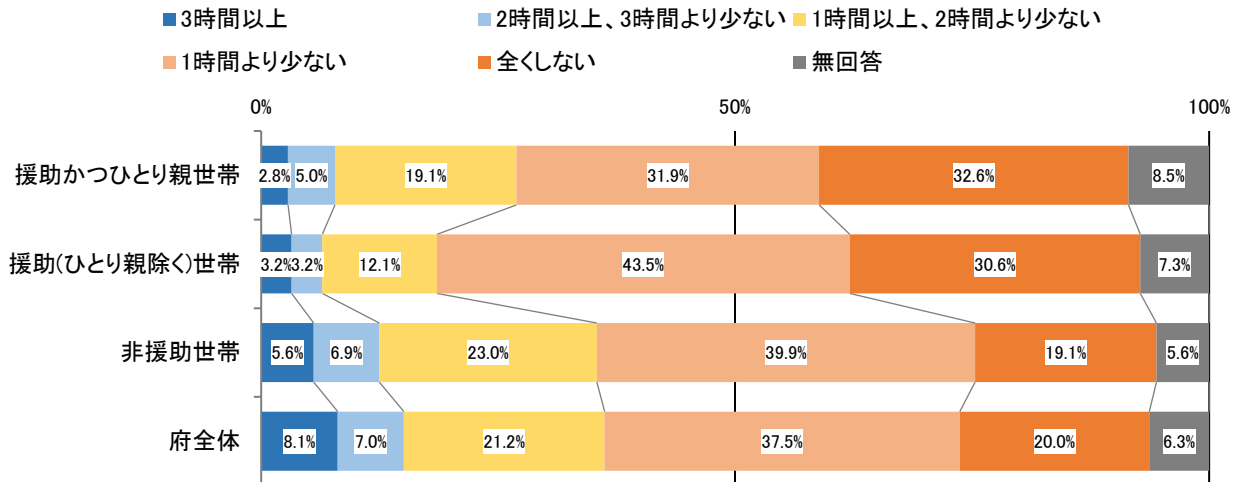
■中学3年



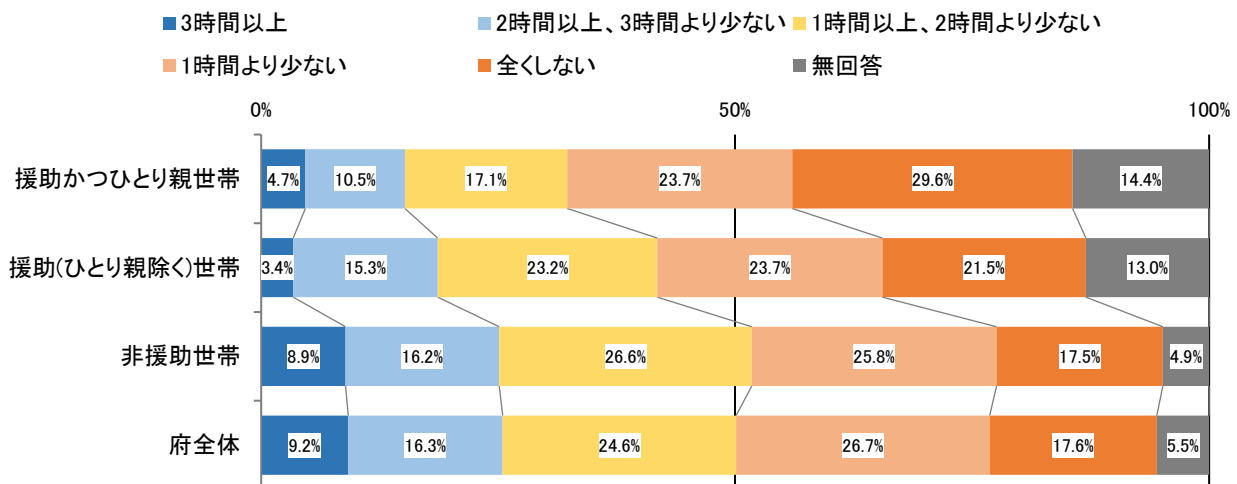
4-6 土曜日や日曜日など学校の休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、学習をしているか。(塾、家庭教師も含む)

		調査対象校			参考
		援助かつひとり親世帯	援助(ひとり親除く)世帯	非援助世帯	府全体
小学6年	回答数(N)	141	124	1,098	9,087
	3時間以上	2.8%	3.2%	5.6%	8.1%
	2時間以上、3時間より少ない	5.0%	3.2%	6.9%	7.0%
	1時間以上、2時間より少ない	19.1%	12.1%	23.0%	21.2%
	1時間より少ない	31.9%	43.5%	39.9%	37.5%
	全くしない	32.6%	30.6%	19.1%	20.0%
	無回答	8.5%	7.3%	5.6%	6.3%
中学3年	回答数(N)	257	177	2,110	8,851
	3時間以上	4.7%	3.4%	8.9%	9.2%
	2時間以上、3時間より少ない	10.5%	15.3%	16.2%	16.3%
	1時間以上、2時間より少ない	17.1%	23.2%	26.6%	24.6%
	1時間より少ない	23.7%	23.7%	25.8%	26.7%
	全くしない	29.6%	21.5%	17.5%	17.6%
	無回答	14.4%	13.0%	4.9%	5.5%

■小学6年



■中学3年

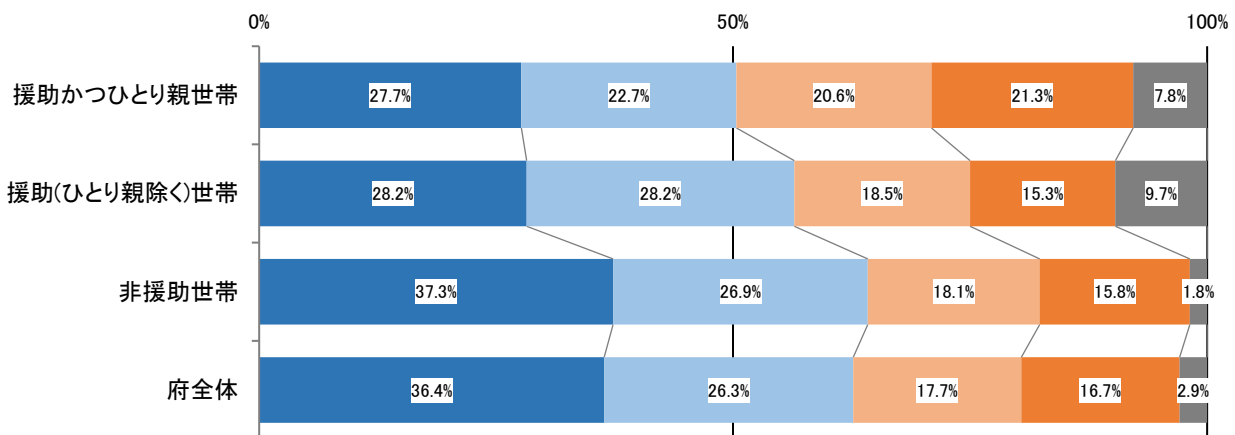


4-7 家で、ICT端末を使って学習する機会がある。

		調査対象校			参考
		援助かつひとり親世帯	援助(ひとり親除く)世帯	非援助世帯	府全体
小学6年	回答数(N)	141	124	1,098	9,087
	当てはまる	27.7%	28.2%	37.3%	36.4%
	どちらかといえば、当てはまる	22.7%	28.2%	26.9%	26.3%
	どちらかといえば、当てはまらない	20.6%	18.5%	18.1%	17.7%
	当てはまらない	21.3%	15.3%	15.8%	16.7%
	無回答	7.8%	9.7%	1.8%	2.9%
中学3年	回答数(N)	257	177	2,110	8,851
	当てはまる	25.7%	30.5%	39.8%	37.5%
	どちらかといえば、当てはまる	21.0%	29.9%	24.7%	26.3%
	どちらかといえば、当てはまらない	19.8%	12.4%	14.8%	15.6%
	当てはまらない	17.5%	16.9%	17.8%	17.0%
	無回答	16.0%	10.2%	2.8%	3.5%

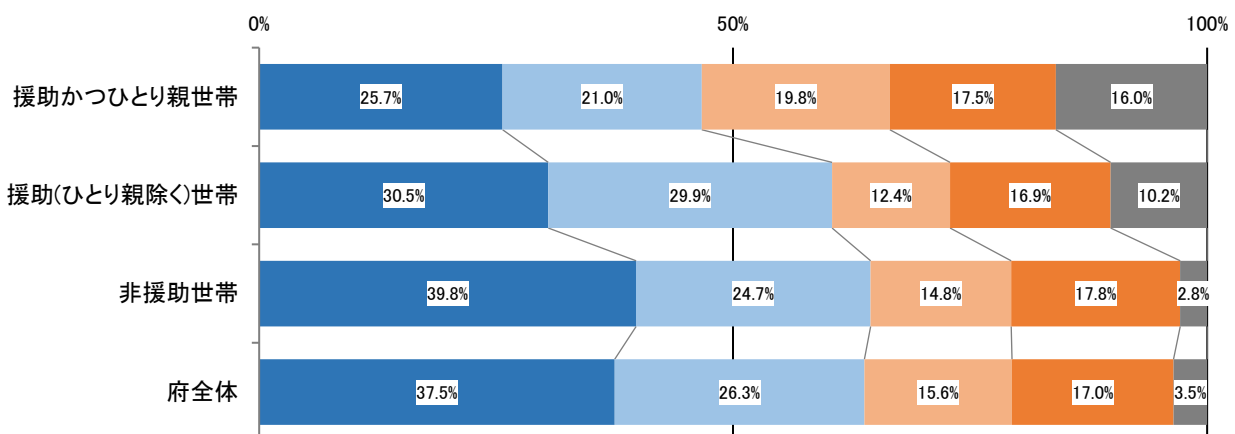
■小学6年

■ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまらない ■ 当てはまらない ■ 無回答



■中学3年

■ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまらない ■ 当てはまらない ■ 無回答

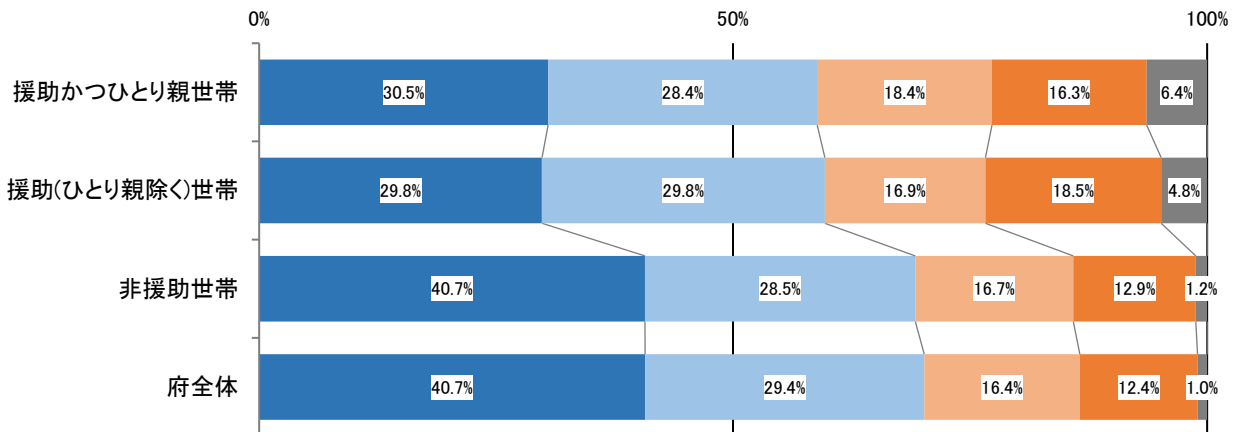


4-8 読書は好きだ。

		調査対象校			参考
		援助かつひとり親世帯	援助(ひとり親除く)世帯	非援助世帯	府全体
小学6年	回答数(N)	141	124	1,098	9,087
	当てはまる	30.5%	29.8%	40.7%	40.7%
	どちらかといえば、当てはまる	28.4%	29.8%	28.5%	29.4%
	どちらかといえば、当てはまらない	18.4%	16.9%	16.7%	16.4%
	当てはまらない	16.3%	18.5%	12.9%	12.4%
	無回答	6.4%	4.8%	1.2%	1.0%
中学3年	回答数(N)	257	177	2,110	8,851
	当てはまる	23.3%	21.5%	32.6%	34.1%
	どちらかといえば、当てはまる	22.6%	29.9%	27.6%	27.6%
	どちらかといえば、当てはまらない	21.0%	20.3%	20.6%	18.8%
	当てはまらない	19.8%	20.3%	17.2%	17.2%
	無回答	13.2%	7.9%	2.0%	2.2%

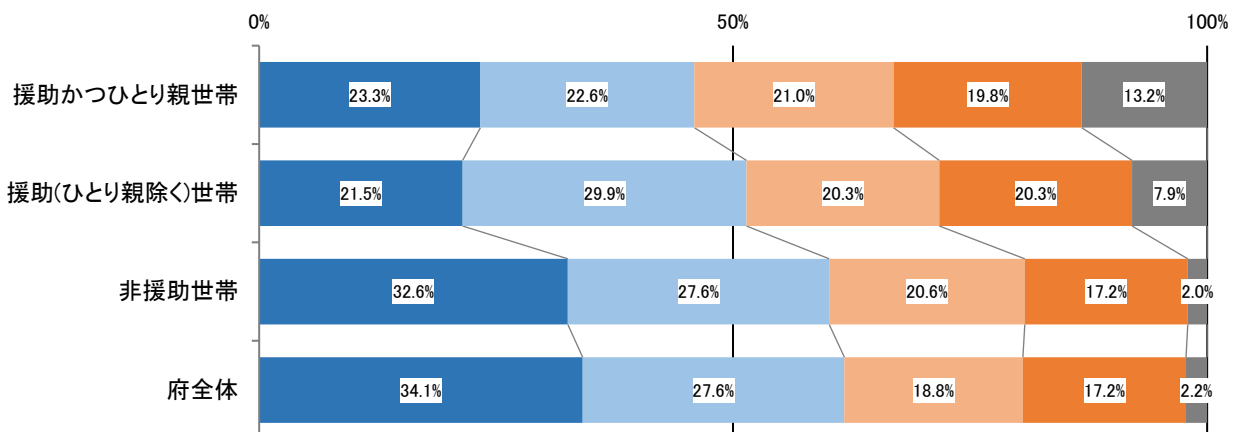
■小学6年

■ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまらない ■ 当てはまらない ■ 無回答



■中学3年

■ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまらない ■ 当てはまらない ■ 無回答

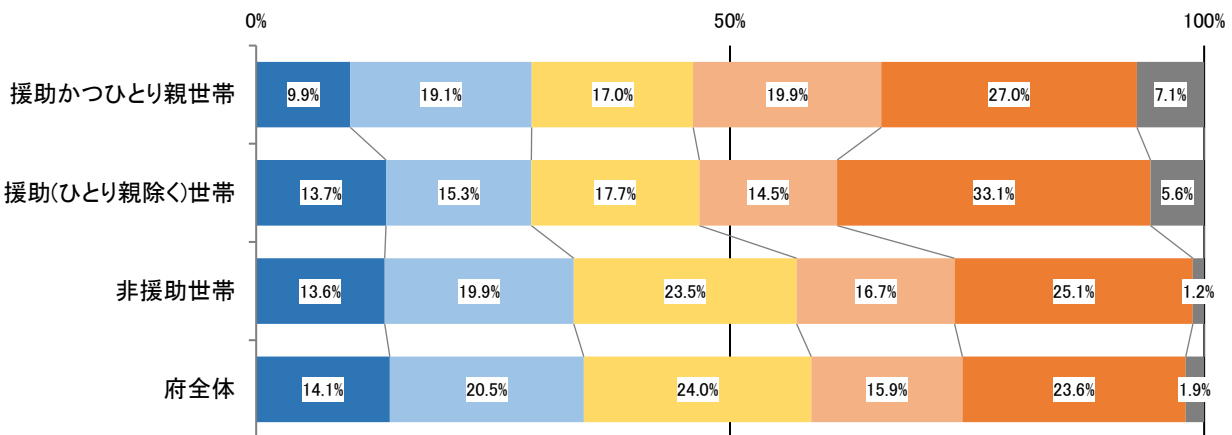


4-9 学校の授業時間以外に、普段(月～金)、1日当たりどれくらいの時間、読書をしているか。(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く。)

		調査対象校			参考
		援助かつひとり親世帯	援助(ひとり親除く)世帯	非援助世帯	府全体
小学6年	回答数(N)	141	124	1,098	9,087
	1時間以上	9.9%	13.7%	13.6%	14.1%
	30分以上、1時間より少ない	19.1%	15.3%	19.9%	20.5%
	10分以上、30分より少ない	17.0%	17.7%	23.5%	24.0%
	10分より少ない	19.9%	14.5%	16.7%	15.9%
	全くしない	27.0%	33.1%	25.1%	23.6%
	無回答	7.1%	5.6%	1.2%	1.9%
中学3年	回答数(N)	257	177	2,110	8,851
	1時間以上	7.8%	4.5%	8.2%	8.6%
	30分以上、1時間より少ない	12.5%	11.3%	14.6%	15.4%
	10分以上、30分より少ない	13.6%	16.4%	23.2%	21.4%
	10分より少ない	12.8%	13.6%	15.0%	15.2%
	全くしない	39.3%	45.8%	36.5%	36.5%
	無回答	14.0%	8.5%	2.4%	2.8%

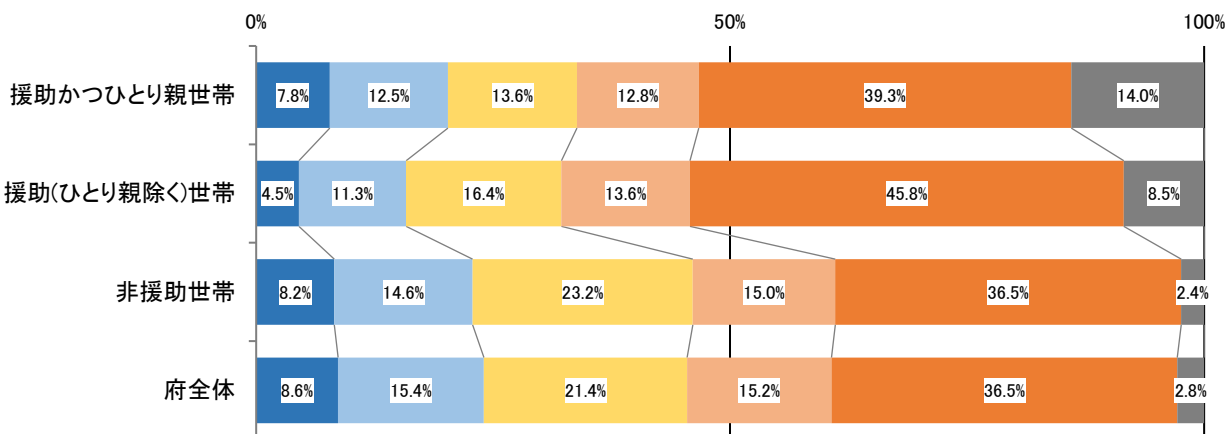
■小学6年

■ 1時間以上 ■ 30分以上、1時間より少ない ■ 10分以上、30分より少ない ■ 10分より少ない ■ 全くしない ■ 無回答



■中学3年

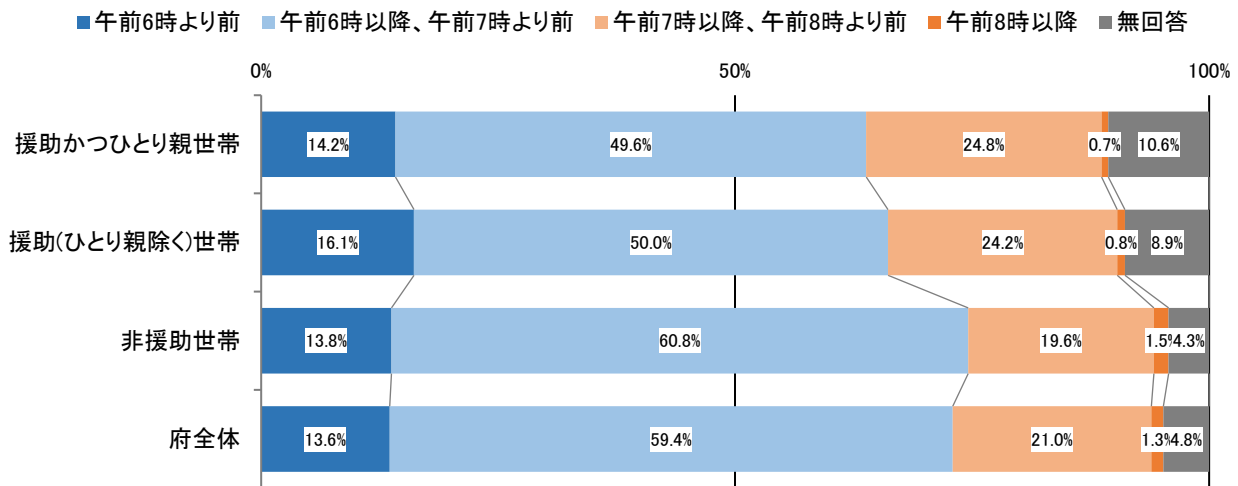
■ 1時間以上 ■ 30分以上、1時間より少ない ■ 10分以上、30分より少ない ■ 10分より少ない ■ 全くしない ■ 無回答



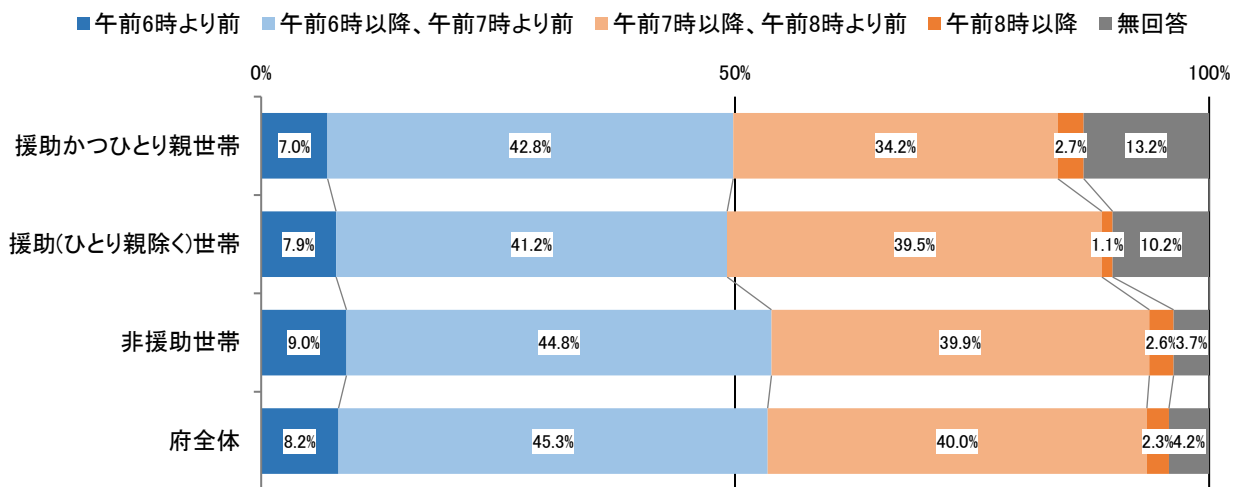
4-10 普段(月～金)、何時ごろに起きるか。

		調査対象校			参考
		援助かつひとり親世帯	援助(ひとり親除く)世帯	非援助世帯	府全体
小学6年	回答数(N)	141	124	1,098	9,087
	午前6時より前	14.2%	16.1%	13.8%	13.6%
	午前6時以降、午前7時より前	49.6%	50.0%	60.8%	59.4%
	午前7時以降、午前8時より前	24.8%	24.2%	19.6%	21.0%
	午前8時以降	0.7%	0.8%	1.5%	1.3%
	無回答	10.6%	8.9%	4.3%	4.8%
中学3年	回答数(N)	257	177	2,110	8,851
	午前6時より前	7.0%	7.9%	9.0%	8.2%
	午前6時以降、午前7時より前	42.8%	41.2%	44.8%	45.3%
	午前7時以降、午前8時より前	34.2%	39.5%	39.9%	40.0%
	午前8時以降	2.7%	1.1%	2.6%	2.3%
	無回答	13.2%	10.2%	3.7%	4.2%

■小学6年



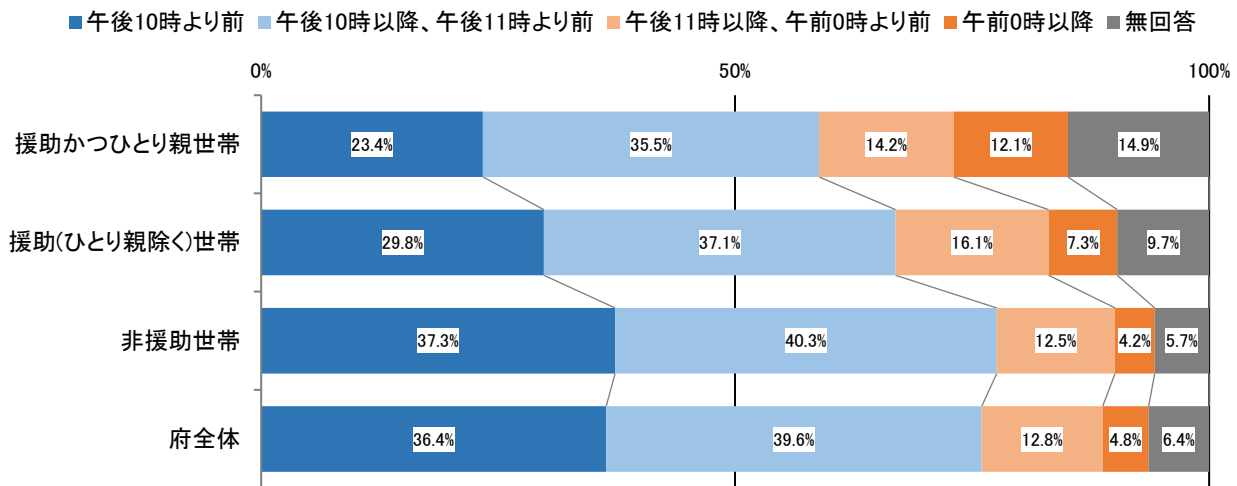
■中学3年



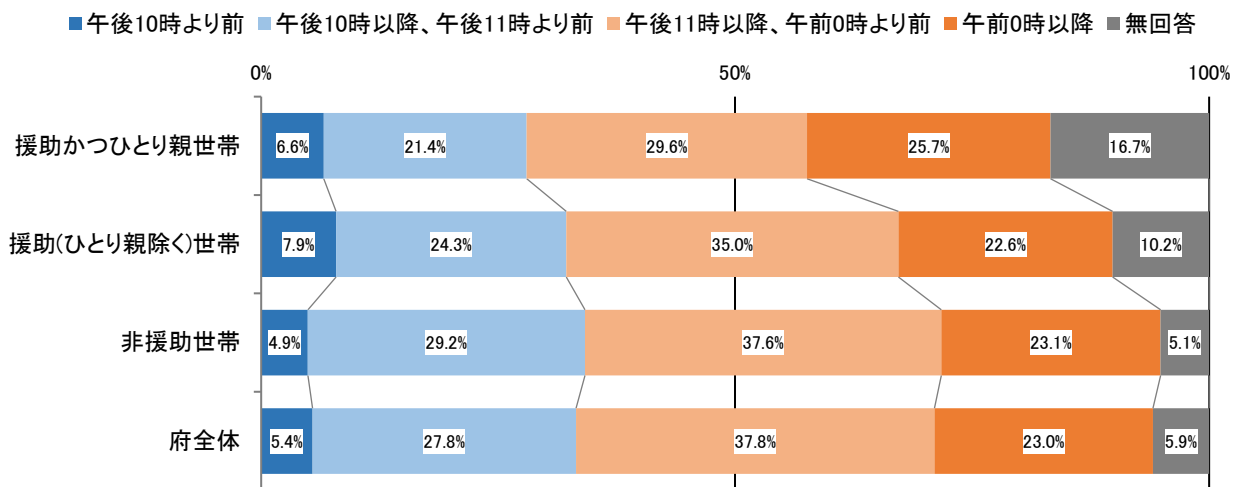
4-11 普段(月～金)、何時ごろにねるか。

		調査対象校			参考
		援助かつひとり親世帯	援助(ひとり親除く)世帯	非援助世帯	府全体
小学6年	回答数(N)	141	124	1,098	9,087
	午後10時より前	23.4%	29.8%	37.3%	36.4%
	午後10時以降、午後11時より前	35.5%	37.1%	40.3%	39.6%
	午後11時以降、午前0時より前	14.2%	16.1%	12.5%	12.8%
	午前0時以降	12.1%	7.3%	4.2%	4.8%
	無回答	14.9%	9.7%	5.7%	6.4%
中学3年	回答数(N)	257	177	2,110	8,851
	午後10時より前	6.6%	7.9%	4.9%	5.4%
	午後10時以降、午後11時より前	21.4%	24.3%	29.2%	27.8%
	午後11時以降、午前0時より前	29.6%	35.0%	37.6%	37.8%
	午前0時以降	25.7%	22.6%	23.1%	23.0%
	無回答	16.7%	10.2%	5.1%	5.9%

■小学6年



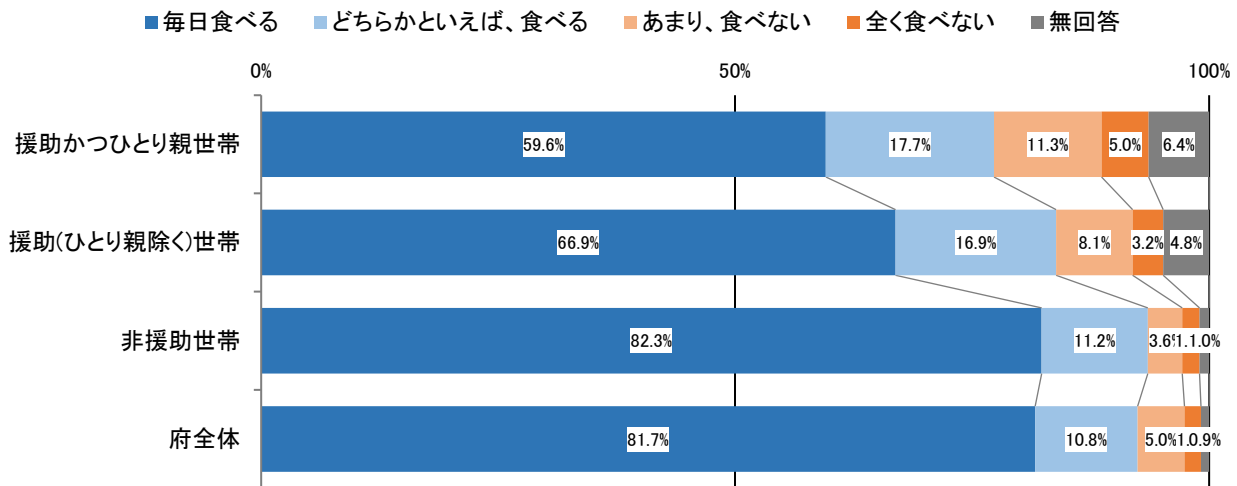
■中学3年



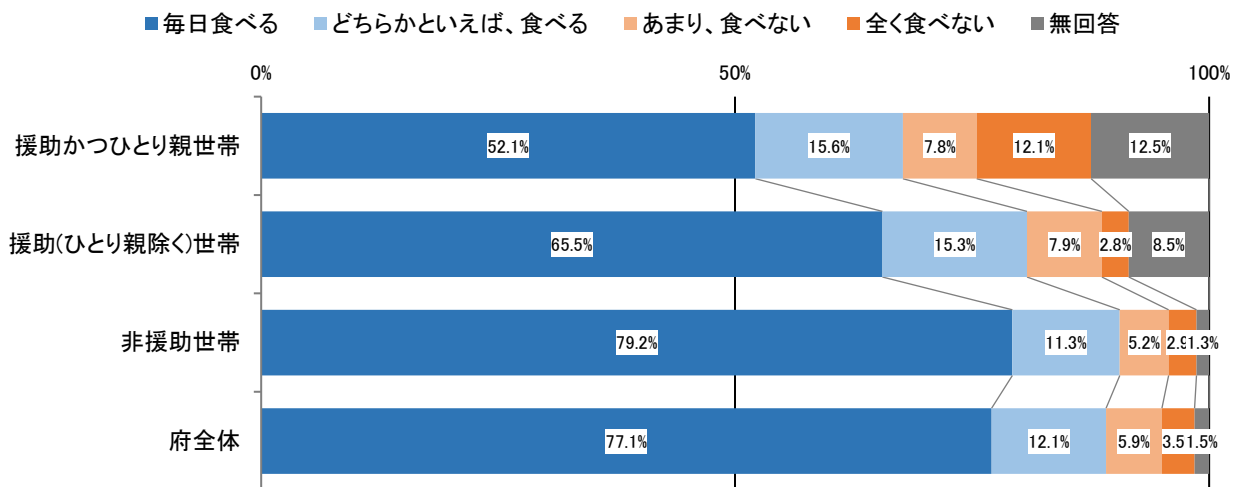
4-12 朝食を毎日食べている。

		調査対象校			参考
		援助かつひとり親世帯	援助(ひとり親除く)世帯	非援助世帯	府全体
小学6年	回答数(N)	141	124	1,098	9,087
	毎日食べる	59.6%	66.9%	82.3%	81.7%
	どちらかといえば、食べる	17.7%	16.9%	11.2%	10.8%
	あまり、食べない	11.3%	8.1%	3.6%	5.0%
	全く食べない	5.0%	3.2%	1.8%	1.7%
	無回答	6.4%	4.8%	1.0%	0.9%
中学3年	回答数(N)	257	177	2,110	8,851
	毎日食べる	52.1%	65.5%	79.2%	77.1%
	どちらかといえば、食べる	15.6%	15.3%	11.3%	12.1%
	あまり、食べない	7.8%	7.9%	5.2%	5.9%
	全く食べない	12.1%	2.8%	2.9%	3.5%
	無回答	12.5%	8.5%	1.3%	1.5%

■小学6年



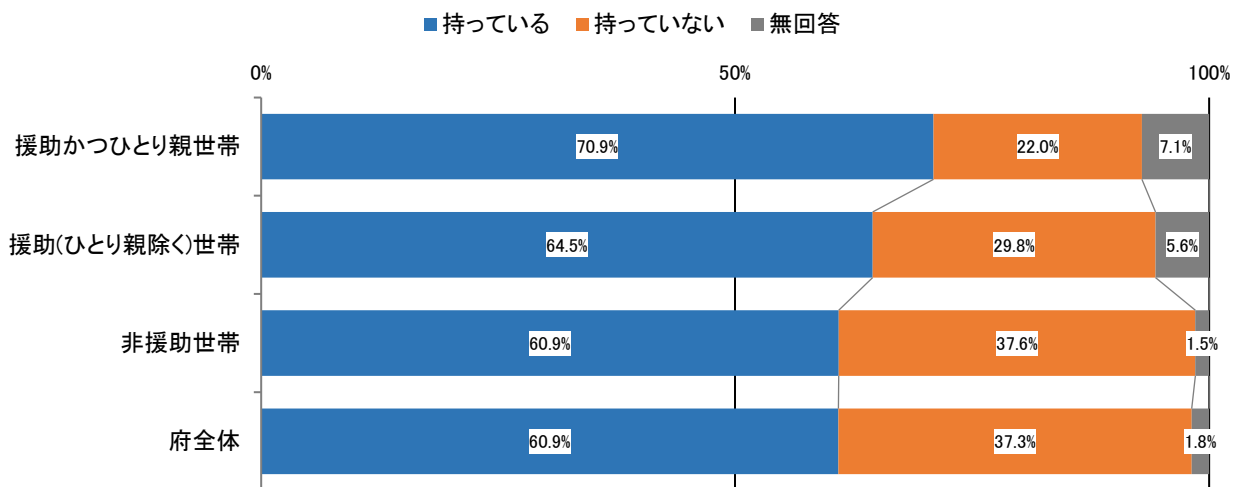
■中学3年



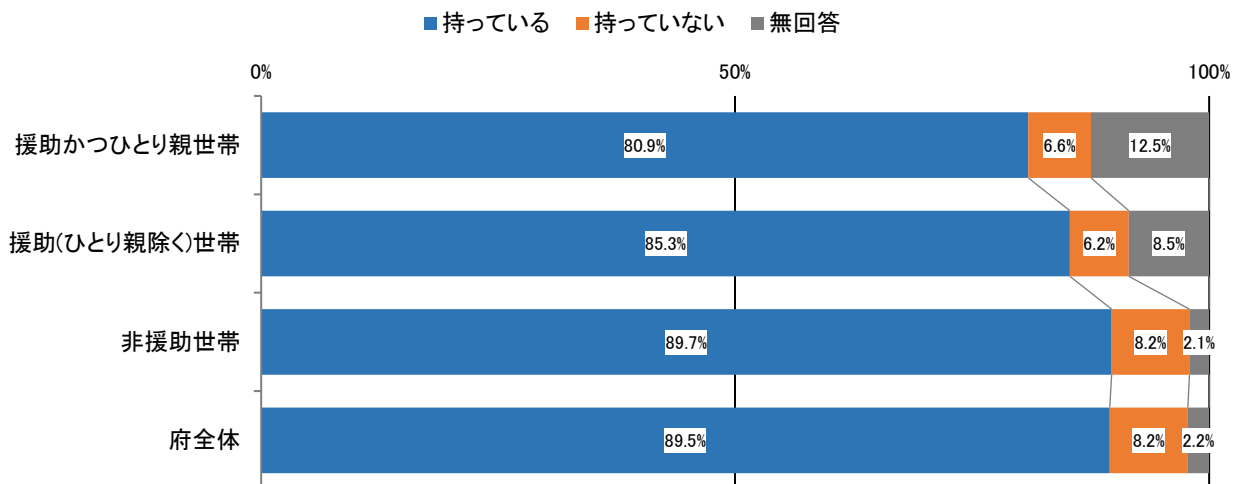
4-13 自分だけの携帯電話やスマートフォンを持っている。

		調査対象校			参考
		援助かつひとり親世帯	援助(ひとり親除く)世帯	非援助世帯	府全体
小学6年	回答数(N)	141	124	1,098	9,087
	持っている	70.9%	64.5%	60.9%	60.9%
	持っていない	22.0%	29.8%	37.6%	37.3%
	無回答	7.1%	5.6%	1.5%	1.8%
中学3年	回答数(N)	257	177	2,110	8,851
	持っている	80.9%	85.3%	89.7%	89.5%
	持っていない	6.6%	6.2%	8.2%	8.2%
	無回答	12.5%	8.5%	2.1%	2.2%

■小学6年



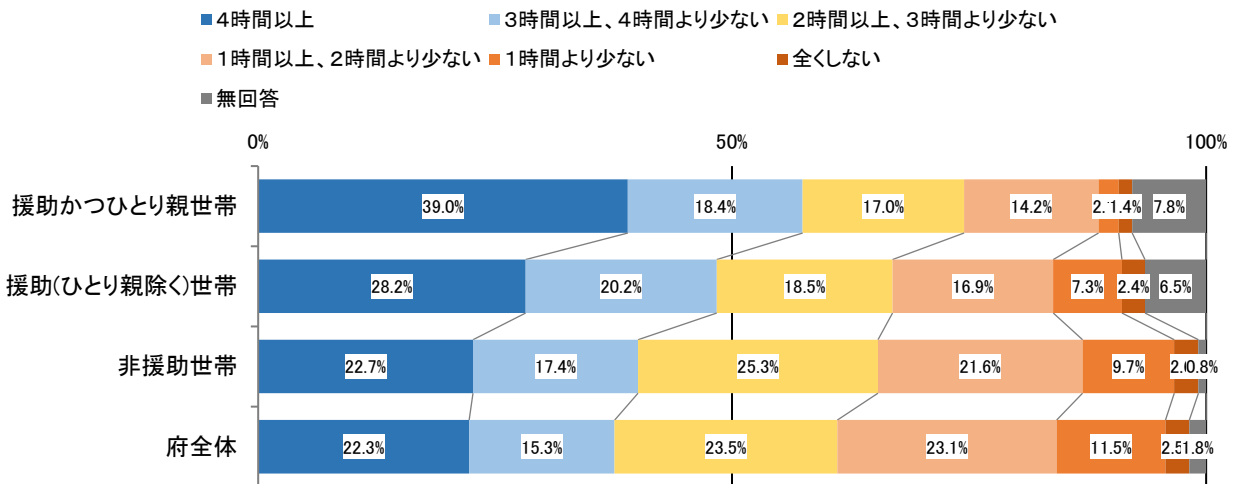
■中学3年



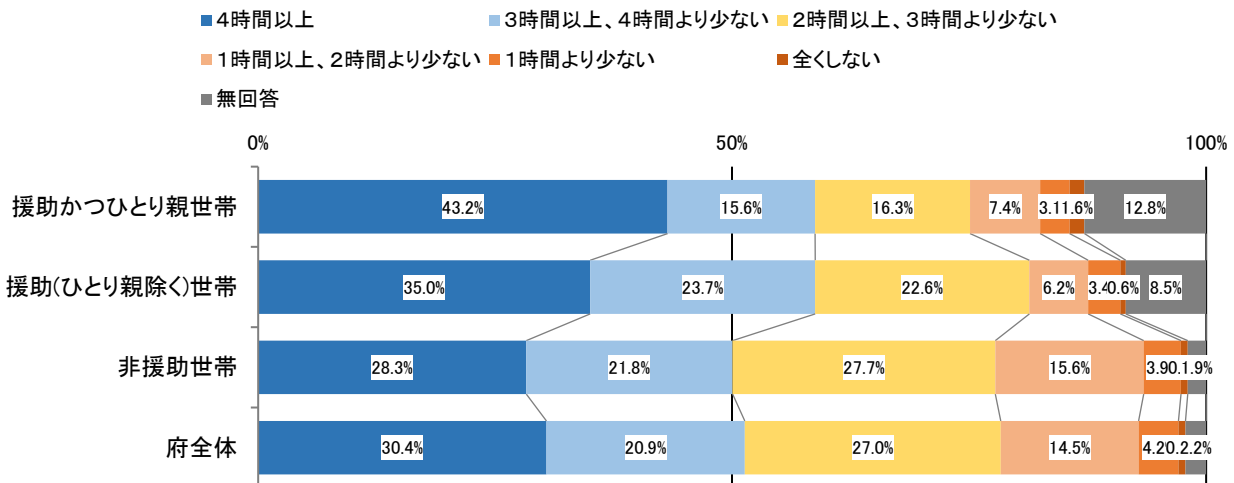
4-14 普段(月～金)、1日当たりどれくらいの時間、テレビ・ゲーム・携帯電話・スマートフォン・タブレットなどを使用しているか。(学習時間を除く)

		調査対象校			参考
		援助かつひとり親世帯	援助(ひとり親除く)世帯	非援助世帯	府全体
小学6年	回答数(N)	141	124	1,098	9,087
	4時間以上	39.0%	28.2%	22.7%	22.3%
	3時間以上、4時間より少ない	18.4%	20.2%	17.4%	15.3%
	2時間以上、3時間より少ない	17.0%	18.5%	25.3%	23.5%
	1時間以上、2時間より少ない	14.2%	16.9%	21.6%	23.1%
	1時間より少ない	2.1%	7.3%	9.7%	11.5%
	全くしない	1.4%	2.4%	2.6%	2.5%
中学3年	回答数(N)	257	177	2,110	8,851
	4時間以上	43.2%	35.0%	28.3%	30.4%
	3時間以上、4時間より少ない	15.6%	23.7%	21.8%	20.9%
	2時間以上、3時間より少ない	16.3%	22.6%	27.7%	27.0%
	1時間以上、2時間より少ない	7.4%	6.2%	15.6%	14.5%
	1時間より少ない	3.1%	3.4%	3.9%	4.2%
	全くしない	1.6%	0.6%	0.7%	0.7%
無回答	7.8%	6.5%	0.8%	1.8%	

■小学6年



■中学3年

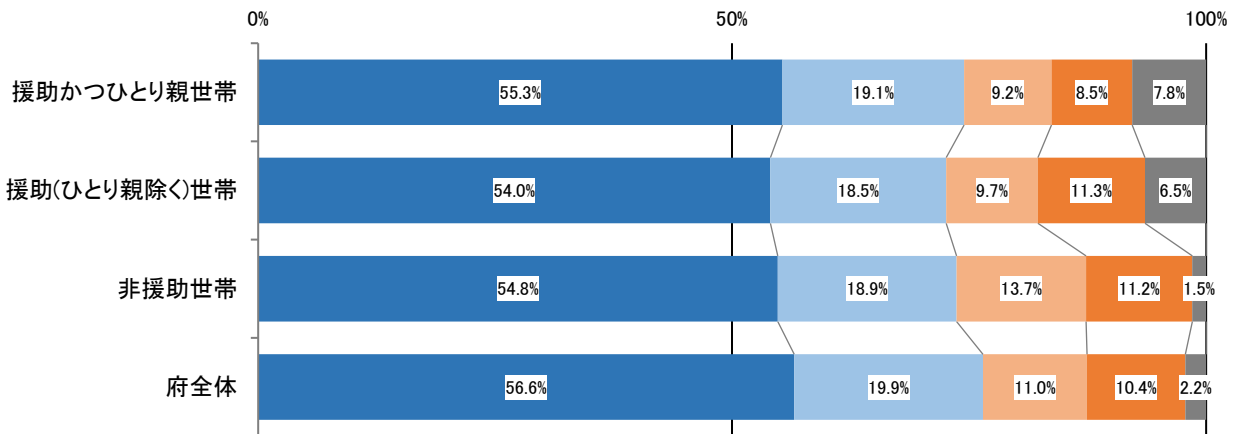


4-15 将来の夢や目標をもっている。

		調査対象校			参考
		援助かつひとり親世帯	援助(ひとり親除く)世帯	非援助世帯	府全体
小学6年	回答数(N)	141	124	1,098	9,087
	当てはまる	55.3%	54.0%	54.8%	56.6%
	どちらかといえば、当てはまる	19.1%	18.5%	18.9%	19.9%
	どちらかといえば、当てはまらない	9.2%	9.7%	13.7%	11.0%
	当てはまらない	8.5%	11.3%	11.2%	10.4%
	無回答	7.8%	6.5%	1.5%	2.2%
中学3年	回答数(N)	257	177	2,110	8,851
	当てはまる	29.2%	31.1%	34.0%	33.1%
	どちらかといえば、当てはまる	22.2%	20.9%	27.1%	27.3%
	どちらかといえば、当てはまらない	19.1%	21.5%	20.9%	20.5%
	当てはまらない	16.0%	17.5%	15.3%	16.0%
	無回答	13.6%	9.0%	2.7%	3.1%

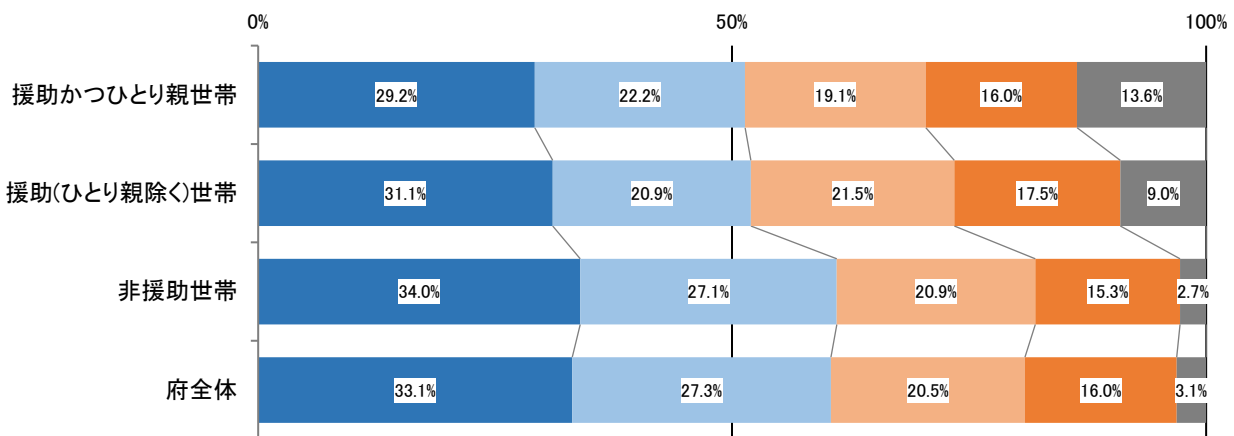
■小学6年

■ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまらない ■ 当てはまらない ■ 無回答



■中学3年

■ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまらない ■ 当てはまらない ■ 無回答



5 学校生活

- 5-1 学校へ行くのは楽しいと思う。
- 5-2 学級のみinnで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがある。

学校へ行くのは楽しいと思うに関する設問について、「援助かつひとり親世帯」「援助(ひとり親除く)世帯」両群において、小学校、中学校ともに「当てはまる」を回答した児童生徒が少ない傾向にあった。
また、みんなで協力しての達成感については、「援助(ひとり親除く)世帯」において、小学校では「どちらかといえば、当てはまらない」を回答した児童生徒が多い傾向にあった。

- 5-3 学校では安心して学習することができている。

学校では安心して学習することができている設問について、「援助かつひとり親世帯」において、中学校では「当てはまる」を回答した児童生徒が少ない傾向にあった。

- 5-4 国語の学習は好きだ。
- 5-5 算数(数学)の学習は好きだ。
- 5-6 外国語(英語)の学習は好きだ。

国語・算数(数学)・外国語(英語)の学習への関心の設問について、国語と比べ、算数(数学)・外国語(英語)においては「援助かつひとり親世帯」「援助(ひとり親除く)世帯」両群において、とくに中学校では学習に関心がない傾向にあった。

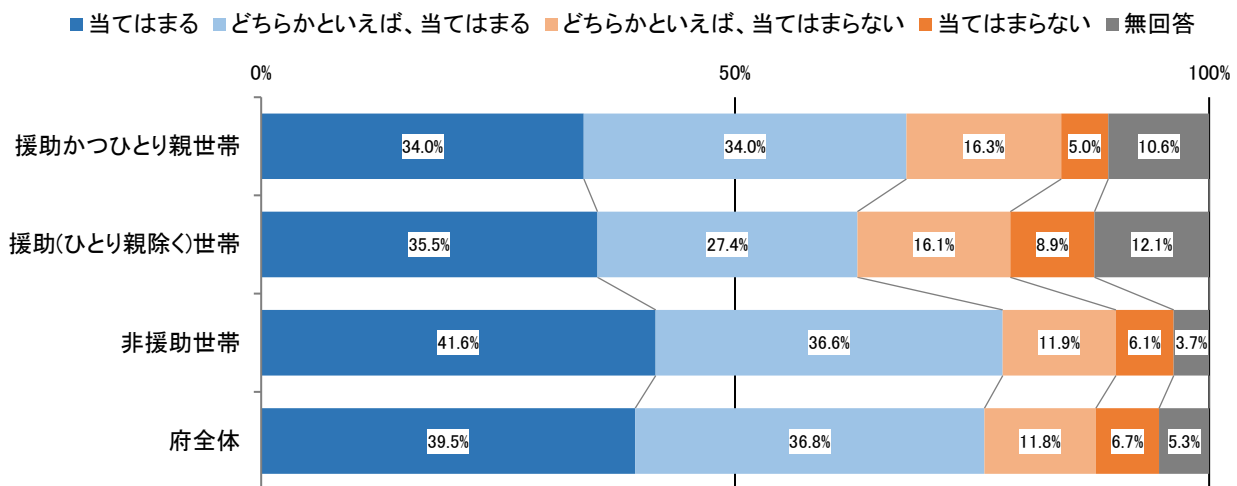
- 5-7 学習するときに、ICT端末を使うことで、これまでの学習のふり返りがしやすい。
- 5-8 学習するときに、ICT端末を使うことで、学習内容が理解しやすくなる。
- 5-9 学習するときに、ICT端末を使うことで、楽しく学習できる。
- 5-10 学習するときに、ICT端末を使うことで、ほかの人と意見や考えを共有しやすい。

ICT端末の使用への役立ちについて、「援助かつひとり親世帯」において、小学校、中学校では「当てはまる」と感じている児童生徒が少なく、「非援助世帯」や「府全体」に対してICT端末の活用効果が弱い傾向にあった。

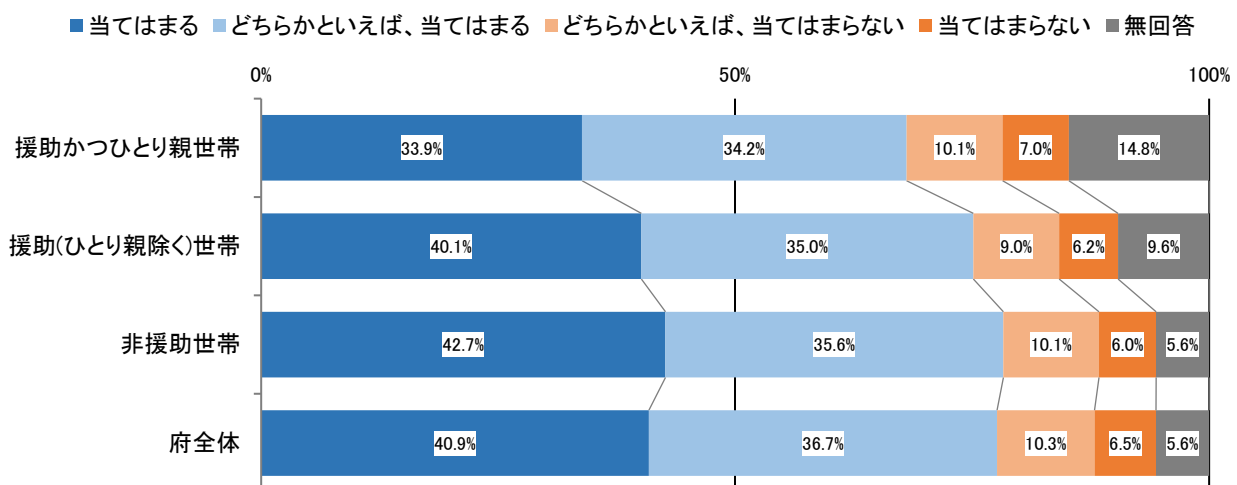
5-1 学校へ行くのは楽しいと思う。

		調査対象校			参考
		援助かつひとり親世帯	援助(ひとり親除く)世帯	非援助世帯	府全体
小学6年	回答数(N)	141	124	1,098	9,087
	当てはまる	34.0%	35.5%	41.6%	39.5%
	どちらかといえば、当てはまる	34.0%	27.4%	36.6%	36.8%
	どちらかといえば、当てはまらない	16.3%	16.1%	11.9%	11.8%
	当てはまらない	5.0%	8.9%	6.1%	6.7%
	無回答	10.6%	12.1%	3.7%	5.3%
中学3年	回答数(N)	257	177	2,110	8,851
	当てはまる	33.9%	40.1%	42.7%	40.9%
	どちらかといえば、当てはまる	34.2%	35.0%	35.6%	36.7%
	どちらかといえば、当てはまらない	10.1%	9.0%	10.1%	10.3%
	当てはまらない	7.0%	6.2%	6.0%	6.5%
	無回答	14.8%	9.6%	5.6%	5.6%

■小学6年



■中学3年

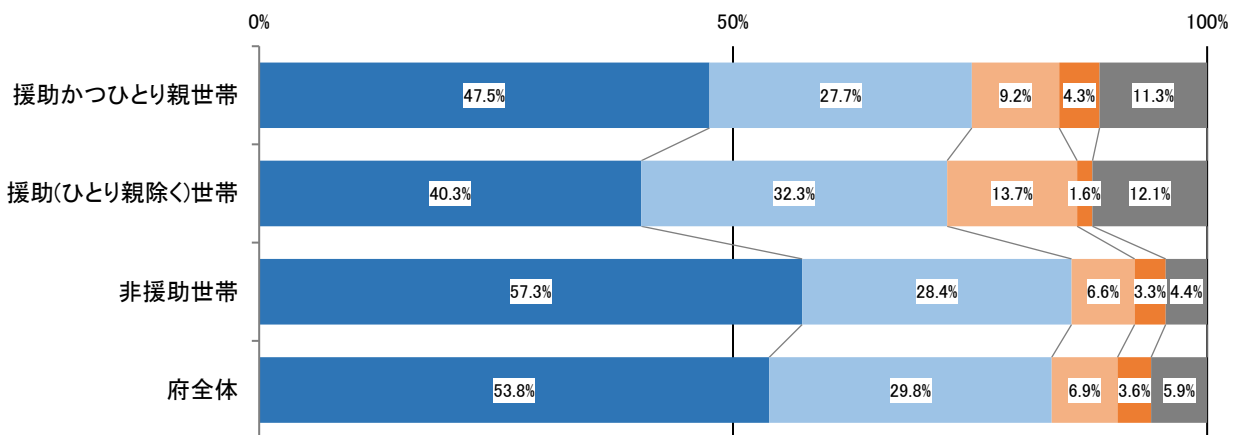


5-2 学級のみみんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがある。

		調査対象校			参考
		援助かつひとり親世帯	援助(ひとり親除く)世帯	非援助世帯	府全体
小学6年	回答数(N)	141	124	1,098	9,087
	当てはまる	47.5%	40.3%	57.3%	53.8%
	どちらかといえば、当てはまる	27.7%	32.3%	28.4%	29.8%
	どちらかといえば、当てはまらない	9.2%	13.7%	6.6%	6.9%
	当てはまらない	4.3%	1.6%	3.3%	3.6%
	無回答	11.3%	12.1%	4.4%	5.9%
中学3年	回答数(N)	257	177	2,110	8,851
	当てはまる	40.9%	50.8%	53.2%	51.9%
	どちらかといえば、当てはまる	33.5%	31.6%	30.9%	31.7%
	どちらかといえば、当てはまらない	6.2%	4.0%	5.7%	6.3%
	当てはまらない	4.3%	4.0%	3.6%	3.8%
	無回答	15.2%	9.6%	6.5%	6.3%

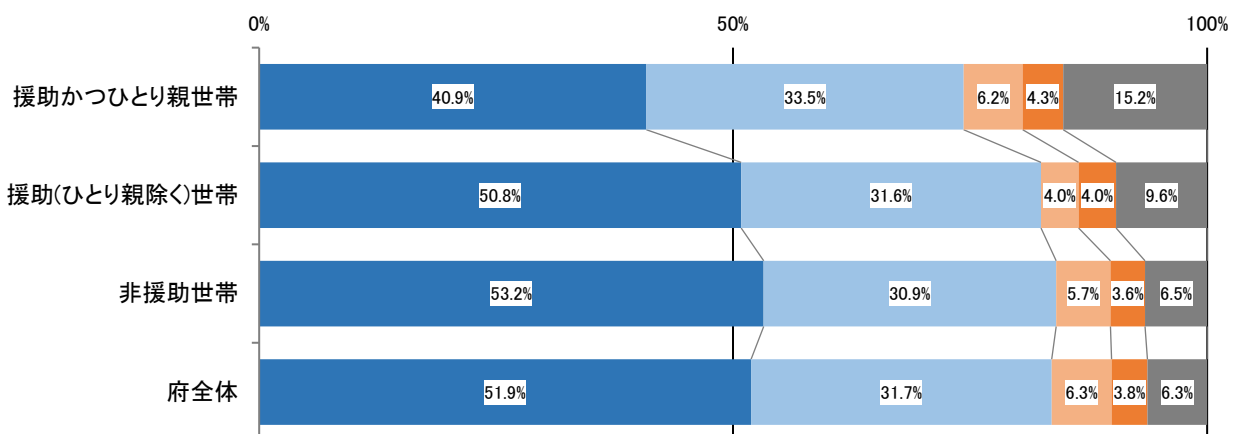
■小学6年

■ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまらない ■ 当てはまらない ■ 無回答



■中学3年

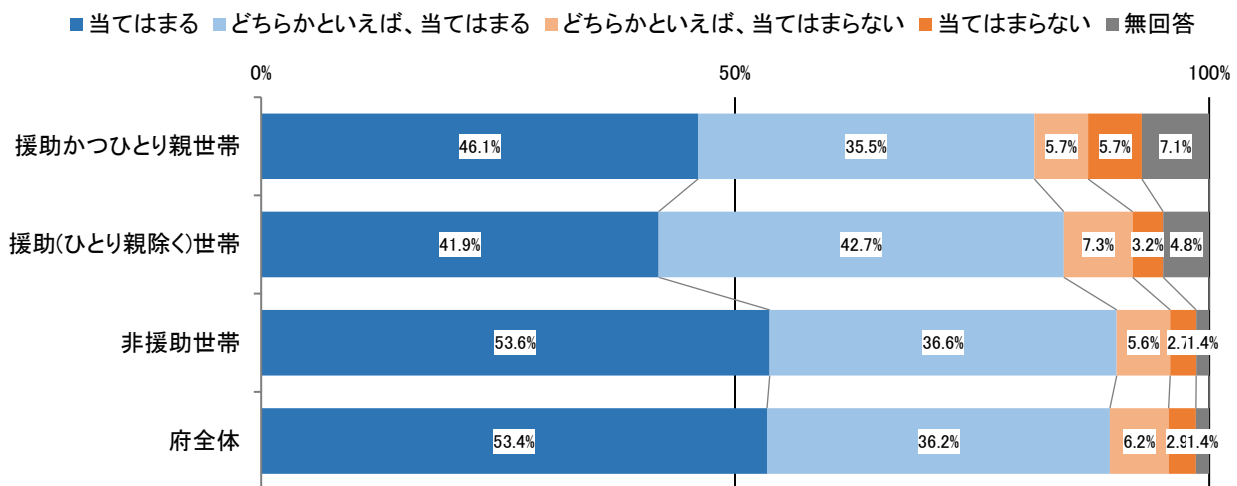
■ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまらない ■ 当てはまらない ■ 無回答



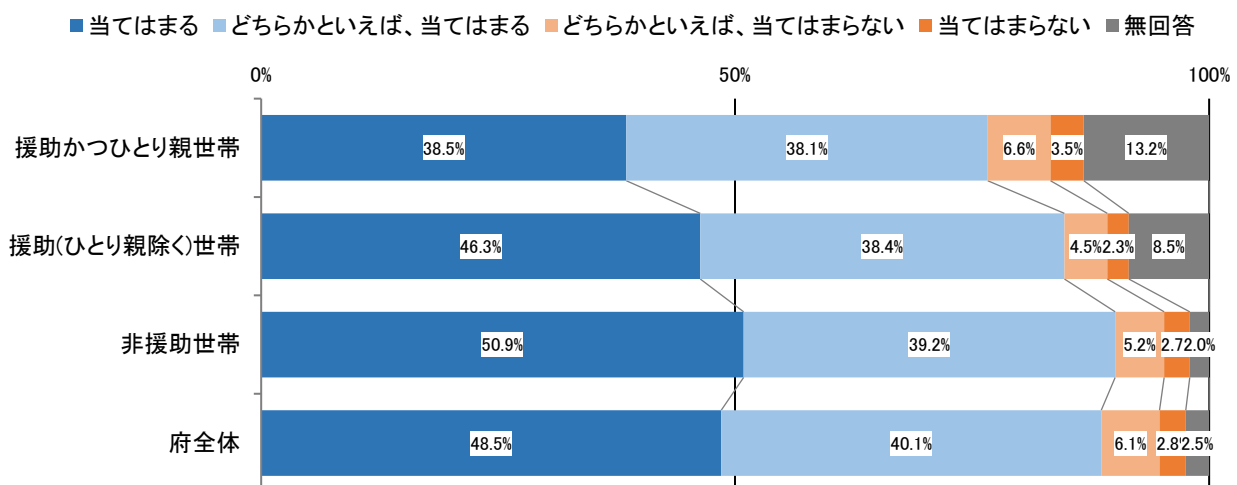
5-3 学校では安心して学習することができる。

		調査対象校			参考
		援助かつひとり親世帯	援助(ひとり親除く)世帯	非援助世帯	府全体
小学6年	回答数(N)	141	124	1,098	9,087
	当てはまる	46.1%	41.9%	53.6%	53.4%
	どちらかといえば、当てはまる	35.5%	42.7%	36.6%	36.2%
	どちらかといえば、当てはまらない	5.7%	7.3%	5.6%	6.2%
	当てはまらない	5.7%	3.2%	2.7%	2.9%
	無回答	7.1%	4.8%	1.4%	1.4%
中学3年	回答数(N)	257	177	2,110	8,851
	当てはまる	38.5%	46.3%	50.9%	48.5%
	どちらかといえば、当てはまる	38.1%	38.4%	39.2%	40.1%
	どちらかといえば、当てはまらない	6.6%	4.5%	5.2%	6.1%
	当てはまらない	3.5%	2.3%	2.7%	2.8%
	無回答	13.2%	8.5%	2.0%	2.5%

■小学6年



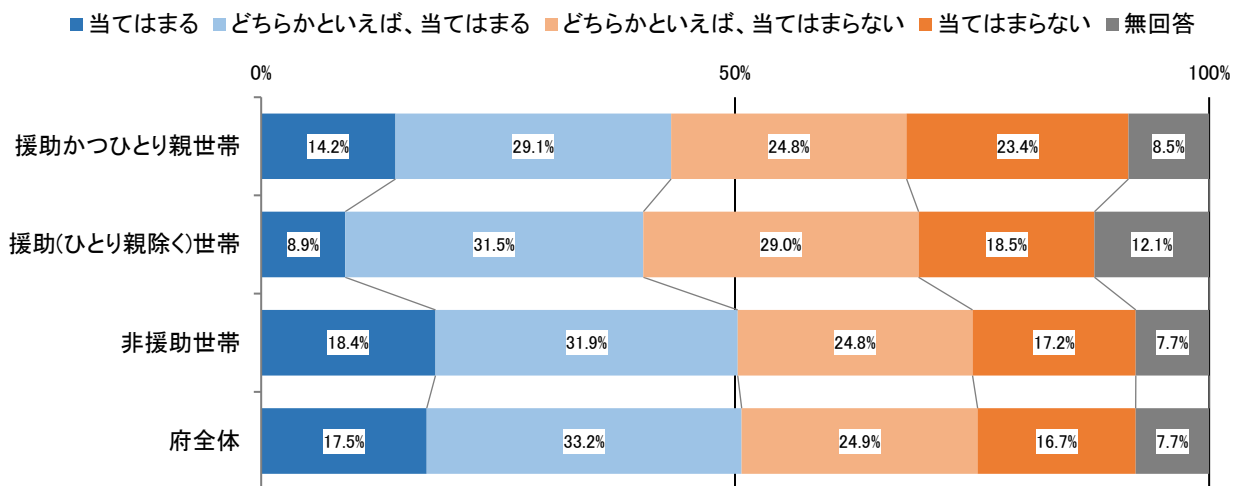
■中学3年



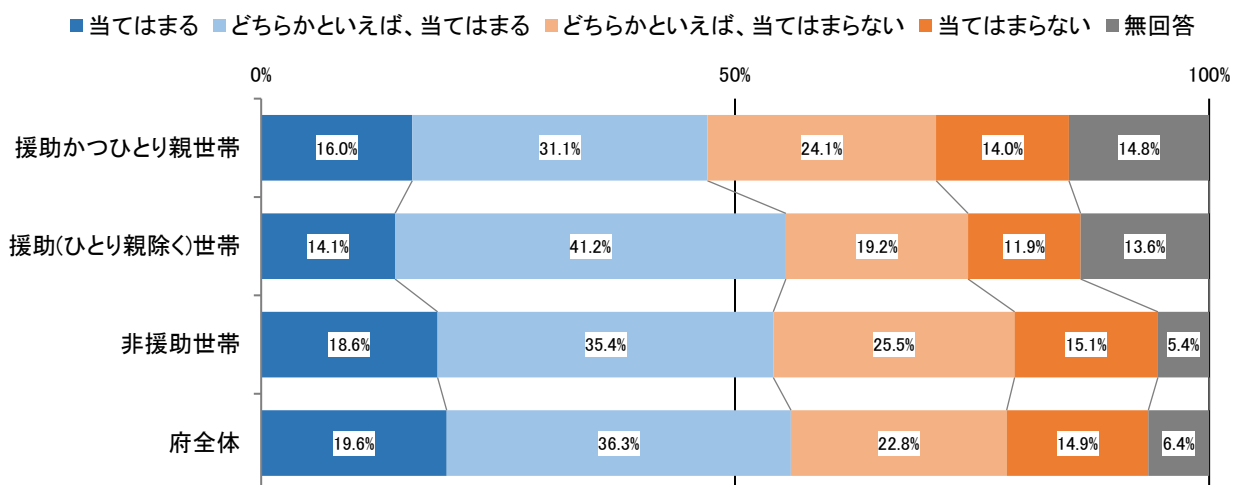
5-4 国語の学習は好きだ。

		調査対象校			参考
		援助かつひとり親世帯	援助(ひとり親除く)世帯	非援助世帯	府全体
小学6年	回答数(N)	141	124	1,098	9,087
	当てはまる	14.2%	8.9%	18.4%	17.5%
	どちらかといえば、当てはまる	29.1%	31.5%	31.9%	33.2%
	どちらかといえば、当てはまらない	24.8%	29.0%	24.8%	24.9%
	当てはまらない	23.4%	18.5%	17.2%	16.7%
	無回答	8.5%	12.1%	7.7%	7.7%
中学3年	回答数(N)	257	177	2,110	8,851
	当てはまる	16.0%	14.1%	18.6%	19.6%
	どちらかといえば、当てはまる	31.1%	41.2%	35.4%	36.3%
	どちらかといえば、当てはまらない	24.1%	19.2%	25.5%	22.8%
	当てはまらない	14.0%	11.9%	15.1%	14.9%
	無回答	14.8%	13.6%	5.4%	6.4%

■小学6年



■中学3年

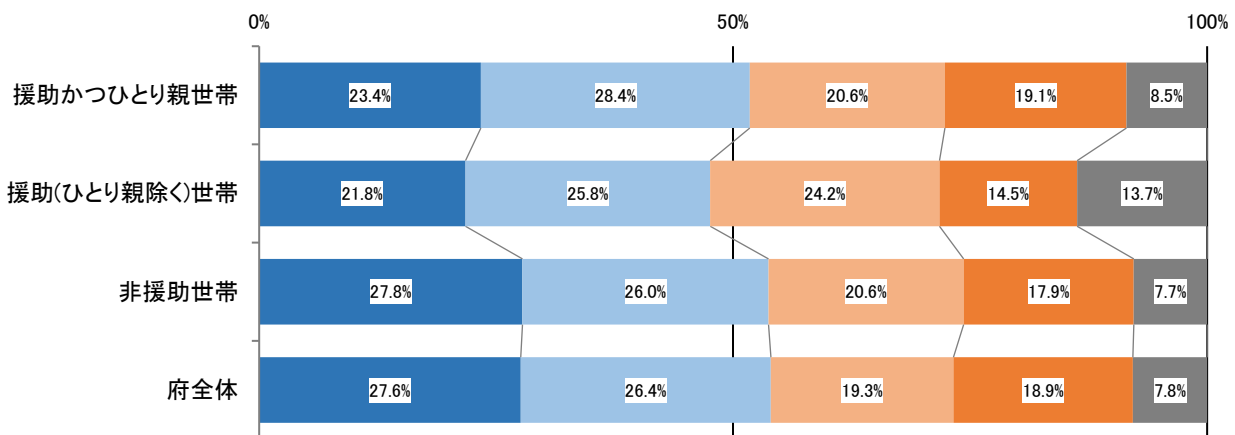


5-5 算数(数学)の学習は好きだ。

		調査対象校			参考
		援助かつひとり親世帯	援助(ひとり親除く)世帯	非援助世帯	府全体
小学6年	回答数(N)	141	124	1,098	9,087
	当てはまる	23.4%	21.8%	27.8%	27.6%
	どちらかといえば、当てはまる	28.4%	25.8%	26.0%	26.4%
	どちらかといえば、当てはまらない	20.6%	24.2%	20.6%	19.3%
	当てはまらない	19.1%	14.5%	17.9%	18.9%
	無回答	8.5%	13.7%	7.7%	7.8%
中学3年	回答数(N)	257	177	2,110	8,851
	当てはまる	13.2%	15.3%	23.3%	21.6%
	どちらかといえば、当てはまる	25.3%	26.0%	32.2%	30.3%
	どちらかといえば、当てはまらない	19.5%	23.2%	22.8%	22.5%
	当てはまらない	26.5%	22.0%	16.0%	19.1%
	無回答	15.6%	13.6%	5.6%	6.4%

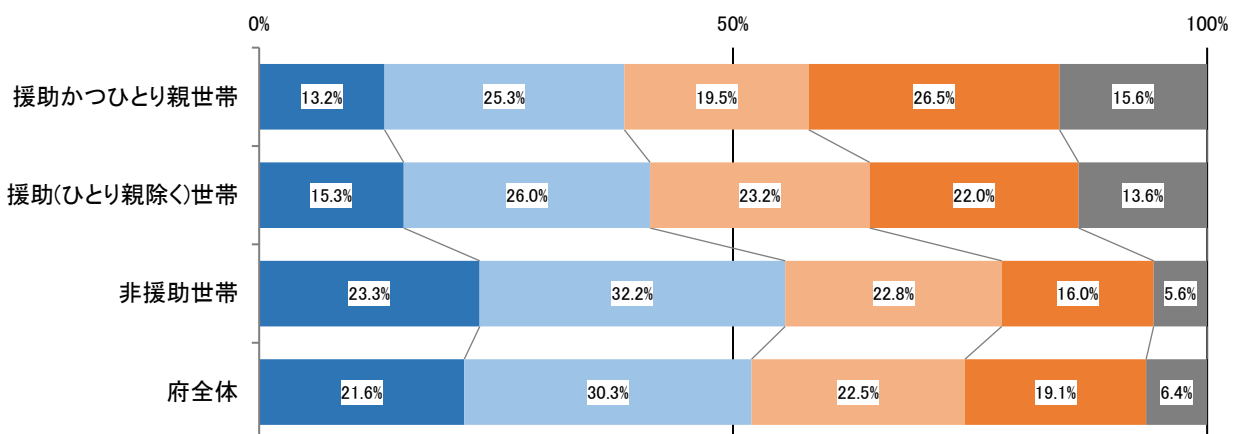
■小学6年

■ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまらない ■ 当てはまらない ■ 無回答



■中学3年

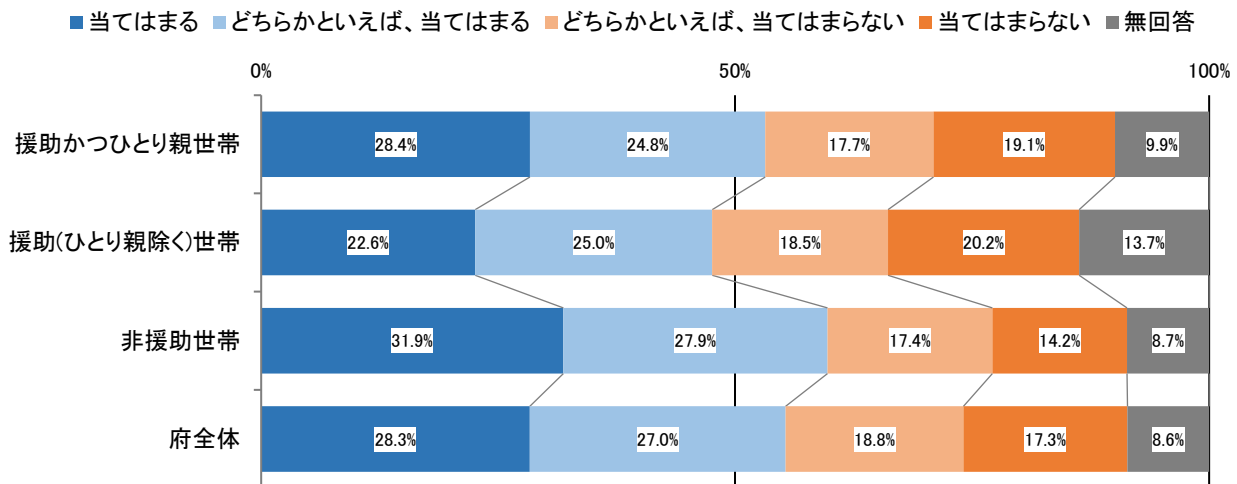
■ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまらない ■ 当てはまらない ■ 無回答



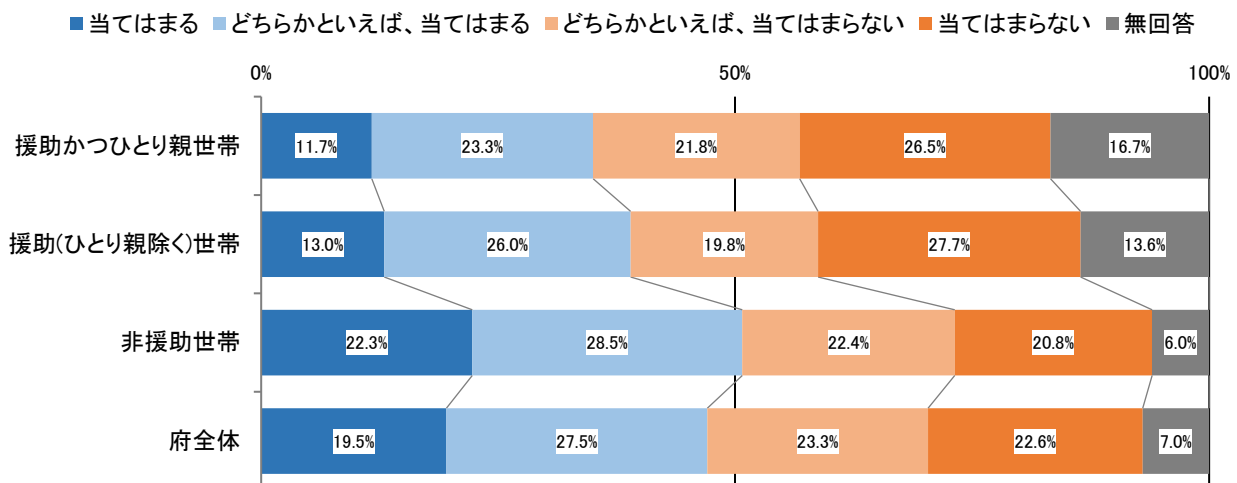
5-6 外国語(英語)の学習は好きだ。

		調査対象校			参考
		援助かつひとり親世帯	援助(ひとり親除く)世帯	非援助世帯	府全体
小学6年	回答数(N)	141	124	1,098	9,087
	当てはまる	28.4%	22.6%	31.9%	28.3%
	どちらかといえば、当てはまる	24.8%	25.0%	27.9%	27.0%
	どちらかといえば、当てはまらない	17.7%	18.5%	17.4%	18.8%
	当てはまらない	19.1%	20.2%	14.2%	17.3%
	無回答	9.9%	13.7%	8.7%	8.6%
中学3年	回答数(N)	257	177	2,110	8,851
	当てはまる	11.7%	13.0%	22.3%	19.5%
	どちらかといえば、当てはまる	23.3%	26.0%	28.5%	27.5%
	どちらかといえば、当てはまらない	21.8%	19.8%	22.4%	23.3%
	当てはまらない	26.5%	27.7%	20.8%	22.6%
	無回答	16.7%	13.6%	6.0%	7.0%

■小学6年



■中学3年

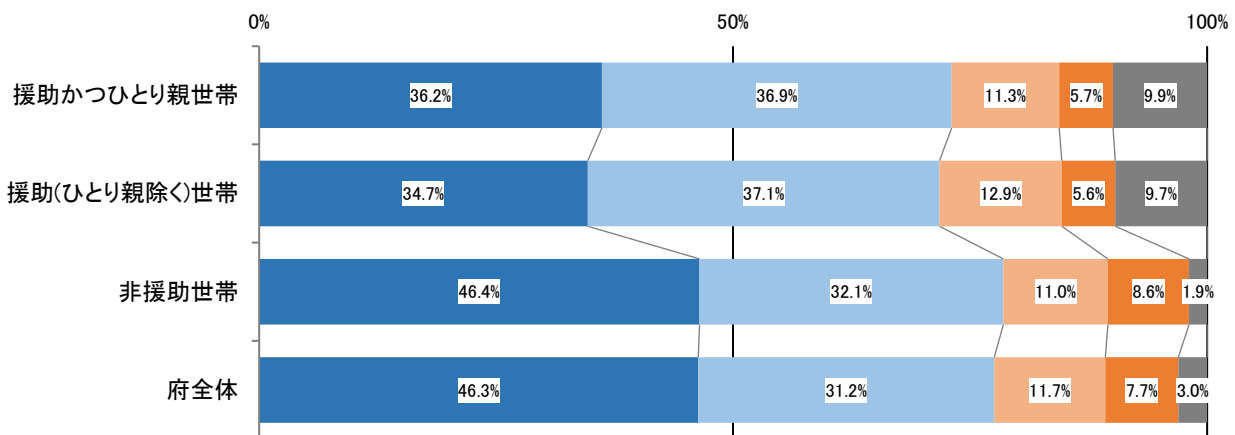


5-7 学習するときに、ICT端末を使うことで、これまでの学習のふり返りがしやすい。

		調査対象校			参考
		援助かつひとり親世帯	援助(ひとり親除く)世帯	非援助世帯	府全体
小学6年	回答数(N)	141	124	1,098	9,087
	当てはまる	36.2%	34.7%	46.4%	46.3%
	どちらかといえば、当てはまる	36.9%	37.1%	32.1%	31.2%
	どちらかといえば、当てはまらない	11.3%	12.9%	11.0%	11.7%
	当てはまらない	5.7%	5.6%	8.6%	7.7%
	無回答	9.9%	9.7%	1.9%	3.0%
中学3年	回答数(N)	257	177	2,110	8,851
	当てはまる	33.5%	39.0%	44.3%	43.2%
	どちらかといえば、当てはまる	28.0%	35.0%	34.5%	34.0%
	どちらかといえば、当てはまらない	12.5%	8.5%	9.3%	10.5%
	当てはまらない	9.7%	6.2%	8.8%	8.3%
	無回答	16.3%	11.3%	3.1%	4.0%

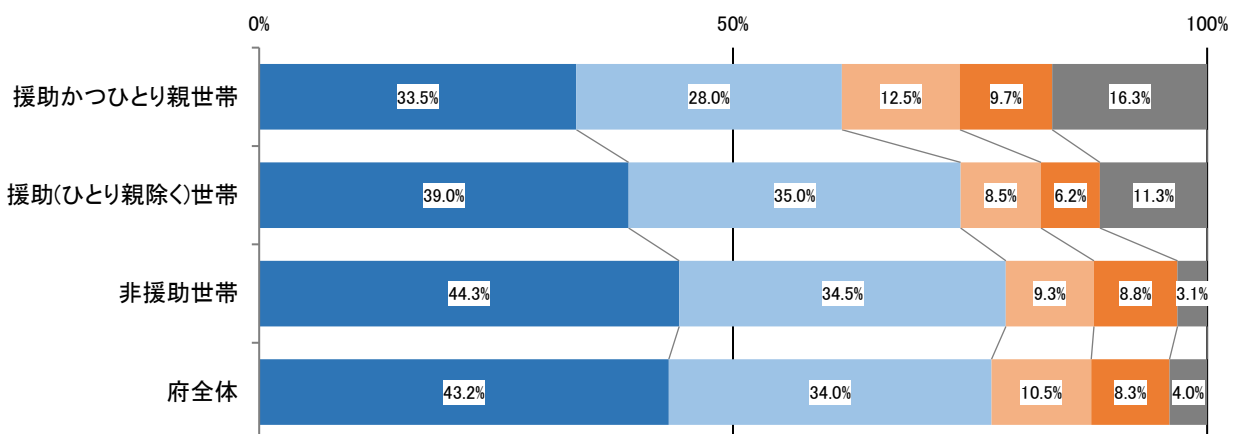
■小学6年

■ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまらない ■ 当てはまらない ■ 無回答



■中学3年

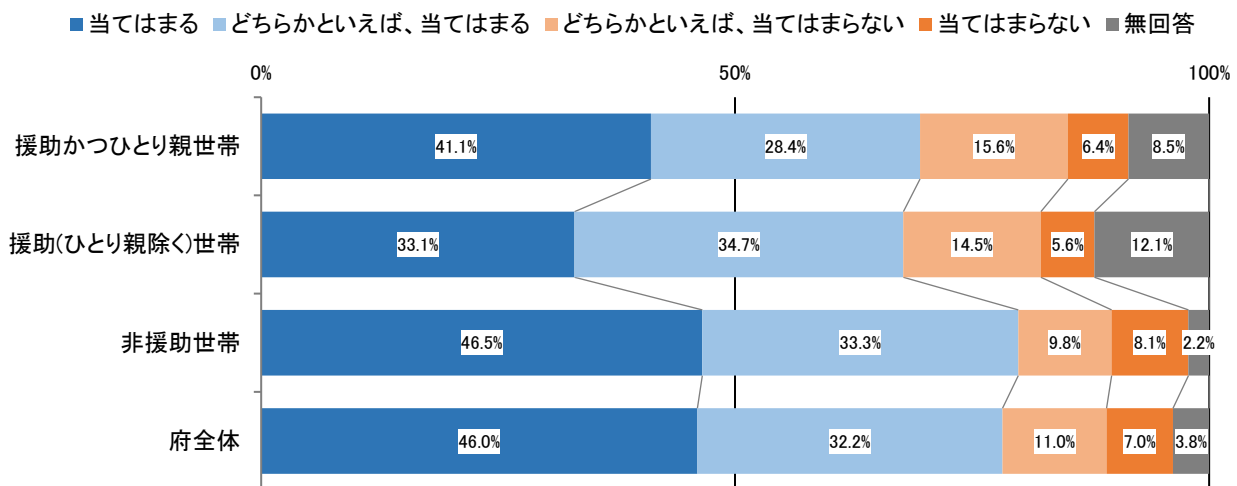
■ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまらない ■ 当てはまらない ■ 無回答



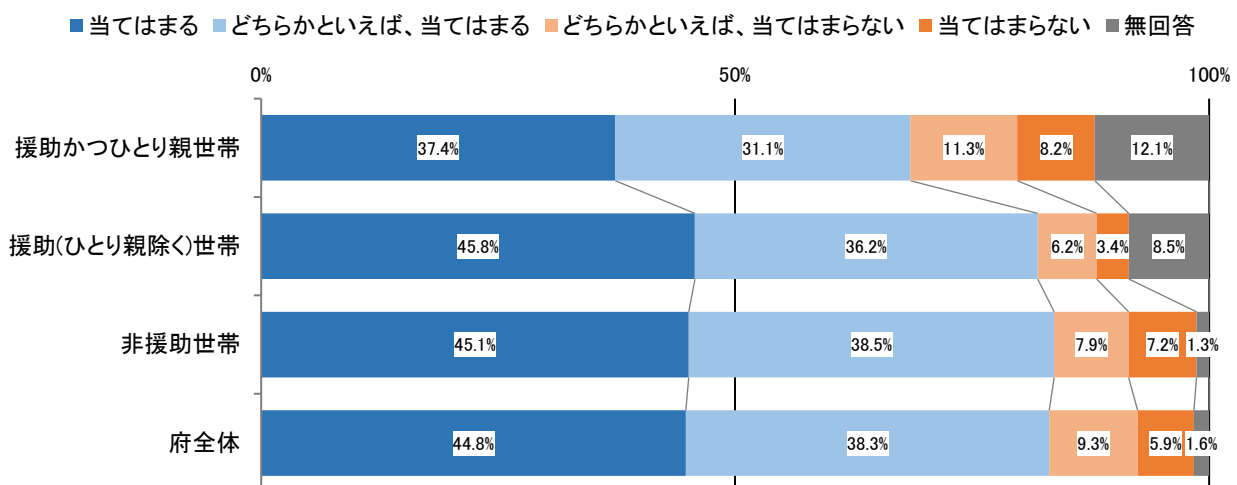
5-8 学習するときに、ICT端末を使うことで、学習内容が理解しやすくなる。

		調査対象校			参考
		援助かつひとり親世帯	援助(ひとり親除く)世帯	非援助世帯	府全体
小学6年	回答数(N)	141	124	1,098	9,087
	当てはまる	41.1%	33.1%	46.5%	46.0%
	どちらかといえば、当てはまる	28.4%	34.7%	33.3%	32.2%
	どちらかといえば、当てはまらない	15.6%	14.5%	9.8%	11.0%
	当てはまらない	6.4%	5.6%	8.1%	7.0%
	無回答	8.5%	12.1%	2.2%	3.8%
中学3年	回答数(N)	257	177	2,110	8,851
	当てはまる	37.4%	45.8%	45.1%	44.8%
	どちらかといえば、当てはまる	31.1%	36.2%	38.5%	38.3%
	どちらかといえば、当てはまらない	11.3%	6.2%	7.9%	9.3%
	当てはまらない	8.2%	3.4%	7.2%	5.9%
	無回答	12.1%	8.5%	1.3%	1.6%

■小学6年



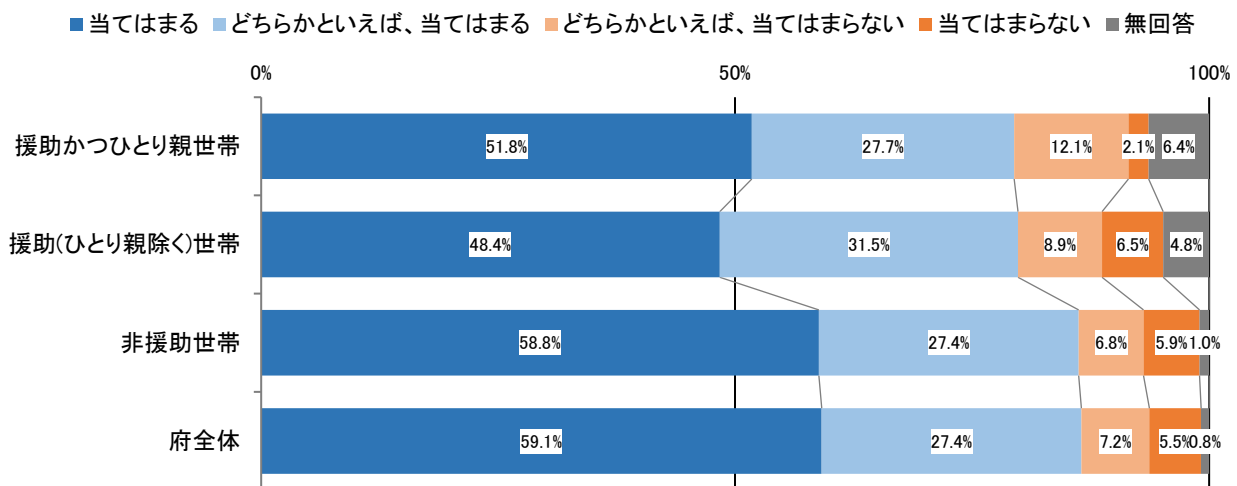
■中学3年



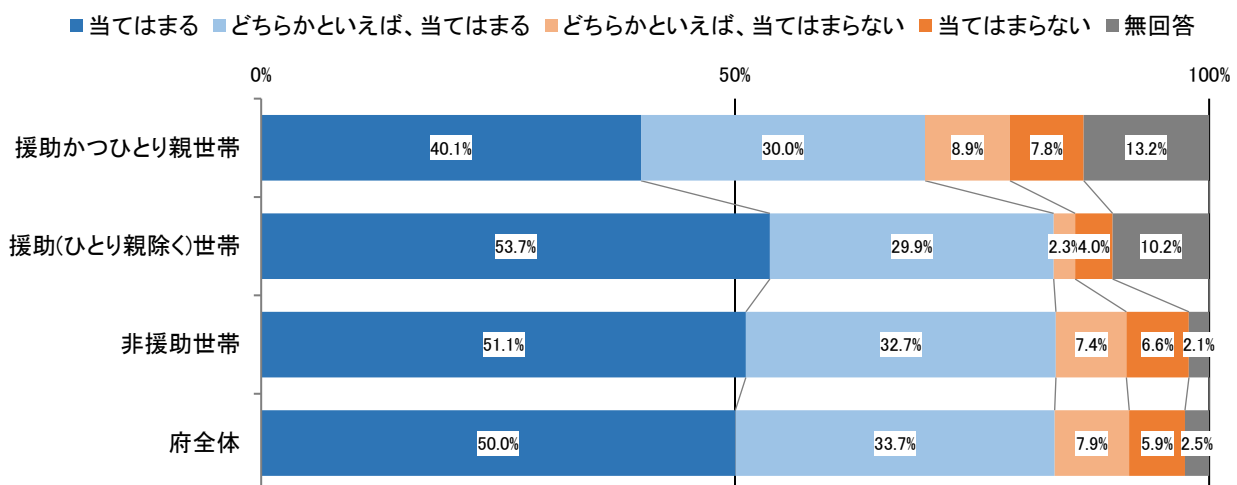
5-9 学習するときに、ICT端末を使うことで、楽しく学習できる。

		調査対象校			参考
		援助かつひとり親世帯	援助(ひとり親除く)世帯	非援助世帯	府全体
小学6年	回答数(N)	141	124	1,098	9,087
	当てはまる	51.8%	48.4%	58.8%	59.1%
	どちらかといえば、当てはまる	27.7%	31.5%	27.4%	27.4%
	どちらかといえば、当てはまらない	12.1%	8.9%	6.8%	7.2%
	当てはまらない	2.1%	6.5%	5.9%	5.5%
	無回答	6.4%	4.8%	1.0%	0.8%
中学3年	回答数(N)	257	177	2,110	8,851
	当てはまる	40.1%	53.7%	51.1%	50.0%
	どちらかといえば、当てはまる	30.0%	29.9%	32.7%	33.7%
	どちらかといえば、当てはまらない	8.9%	2.3%	7.4%	7.9%
	当てはまらない	7.8%	4.0%	6.6%	5.9%
	無回答	13.2%	10.2%	2.1%	2.5%

■小学6年



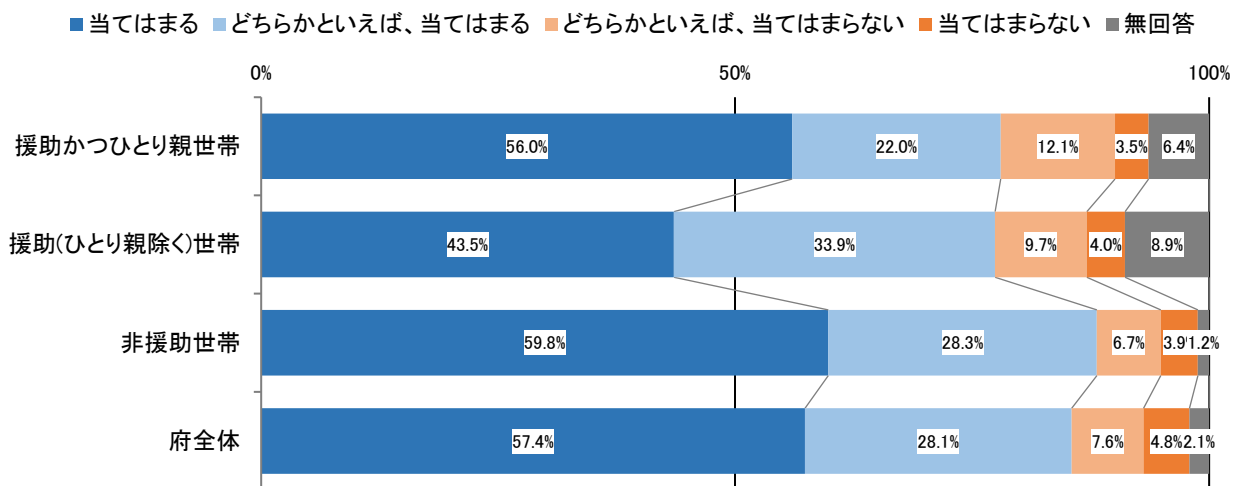
■中学3年



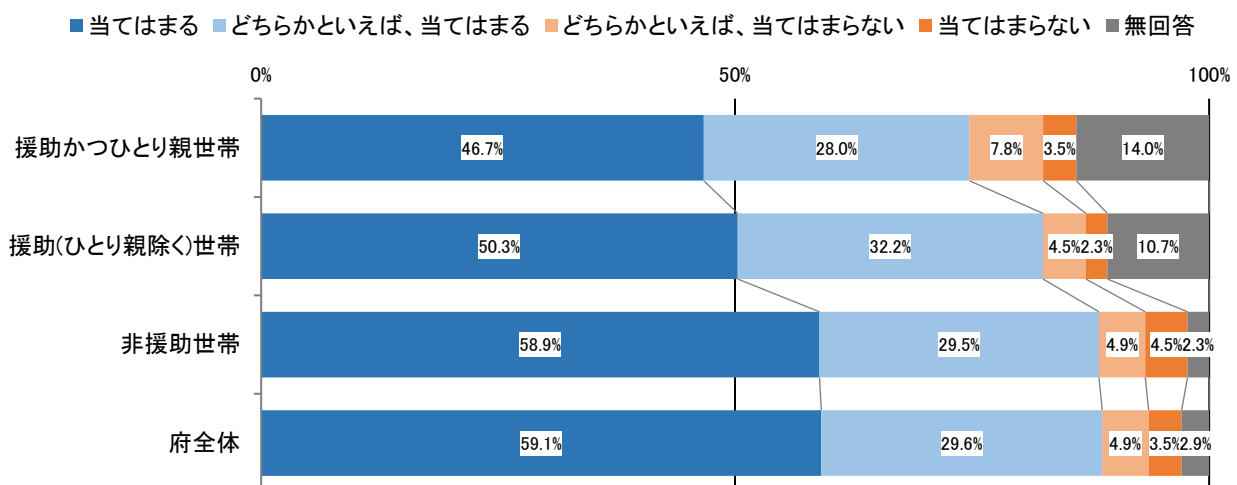
5-10 学習するときに、ICT端末を使うことで、ほかの人と意見や考えを共有しやすい。

		調査対象校			参考
		援助かつひとり親世帯	援助(ひとり親除く)世帯	非援助世帯	府全体
小学6年	回答数(N)	141	124	1,098	9,087
	当てはまる	56.0%	43.5%	59.8%	57.4%
	どちらかといえば、当てはまる	22.0%	33.9%	28.3%	28.1%
	どちらかといえば、当てはまらない	12.1%	9.7%	6.7%	7.6%
	当てはまらない	3.5%	4.0%	3.9%	4.8%
	無回答	6.4%	8.9%	1.2%	2.1%
中学3年	回答数(N)	257	177	2,110	8,851
	当てはまる	46.7%	50.3%	58.9%	59.1%
	どちらかといえば、当てはまる	28.0%	32.2%	29.5%	29.6%
	どちらかといえば、当てはまらない	7.8%	4.5%	4.9%	4.9%
	当てはまらない	3.5%	2.3%	4.5%	3.5%
	無回答	14.0%	10.7%	2.3%	2.9%

■小学6年



■中学3年



6 非認知能力・学習方法

認知スコアについては、回答項目を数量化し、児童生徒単位で「平均値化」したスコアを使用している。

例

当てはまる[4点]、やや当てはまる[3点]、やや当てはまらない[2点]、当てはまらない[1点]と加算

例

表層理解: 設問3つのため、4、4、2という回答⇒ $(4+4+2) \div 3 = 3.33$

最高値: 4点、最低値: 1点

■6-1 主体的に学び考える力と多様な人とつながる力

主体的に学び考える力と多様な人とつながる力について、「援助かつひとり親世帯」「援助(ひとり親除く)世帯」両群において、「非援助世帯」「府全体」と比べ、全体的に低い傾向にあったが、中学生、好奇心については、「援助(ひとり親除く)世帯」において最も高い傾向にあった。

■6-2 新たな価値を生み出す力と包みこまれているという感覚

新たな価値を生み出す力と包みこまれているという感覚について、「援助かつひとり親世帯」「援助(ひとり親除く)世帯」両群において、「非援助世帯」「府全体」と比べ、全体的に低い傾向にあったが、中学生、心理的安全性については、「援助(ひとり親除く)世帯」において最も高い傾向にあった。

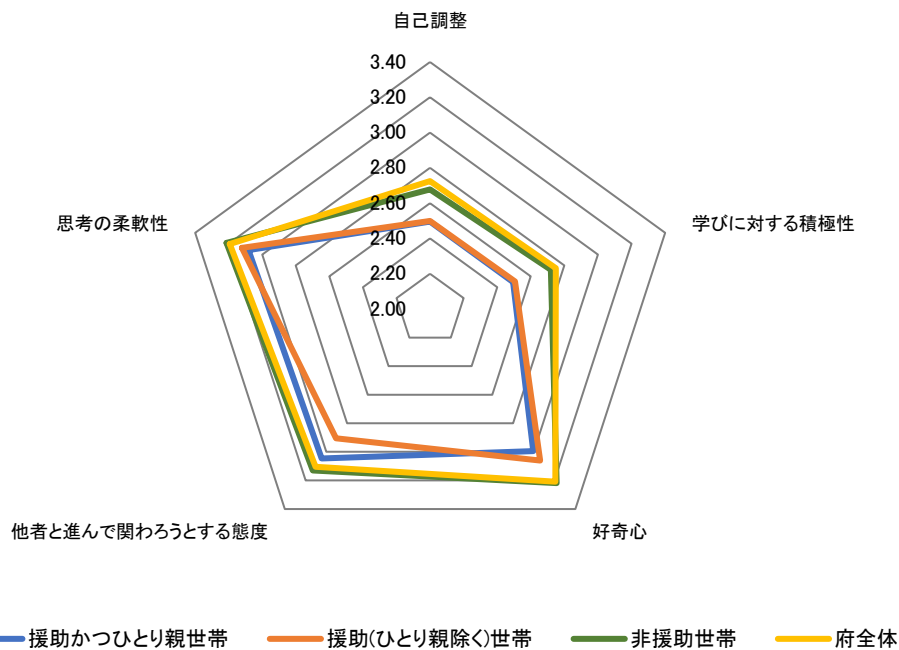
■6-3 学習方法

学習方法について、「援助かつひとり親世帯」「援助(ひとり親除く)世帯」両群において、「非援助世帯」「府全体」と比べ、表層理解を除き全体的に低い傾向にあった。表層理解については、学習内容が「表層的な理解に留まっている」ことを示しており、「援助かつひとり親世帯」「援助(ひとり親除く)世帯」両群においては学習の理解の深度が「表層的」な範囲に留まっていることを示唆する。

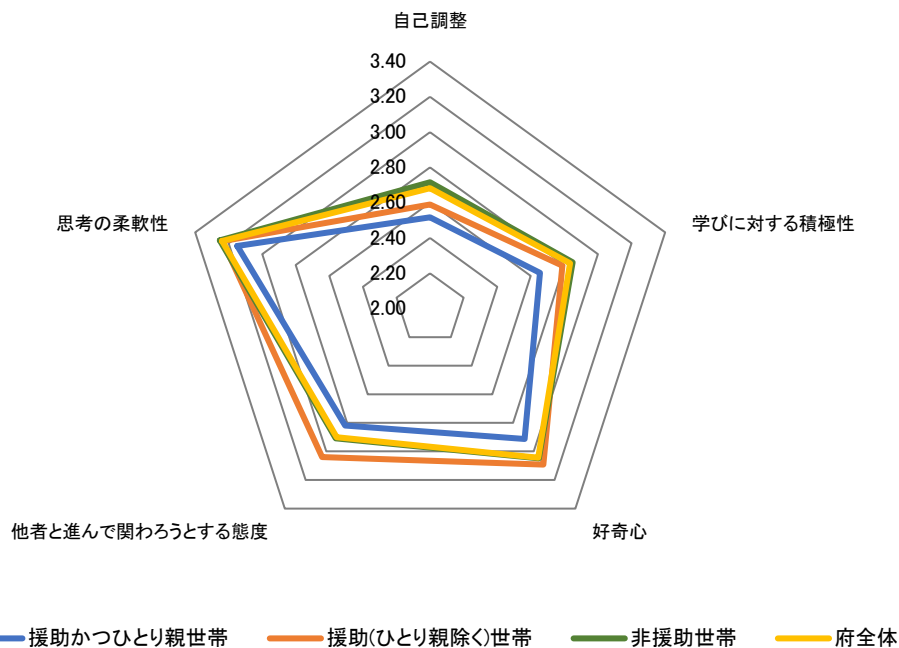
6-1主体的に学び考える力と多様な人とつながる力

	小学6年				中学3年			
	調査対象校			参考	調査対象校			参考
	援助かつひとり親世帯	援助(ひとり親除く)世帯	非援助世帯	府全体	援助かつひとり親世帯	援助(ひとり親除く)世帯	非援助世帯	府全体
自己調整	2.50 (N=128)	2.50 (N=111)	2.68 (N=1,056)	2.73 (N=8,673)	2.52 (N=215)	2.59 (N=157)	2.72 (N=2,004)	2.68 (N=8,407)
学びに対する積極性	2.49 (N=128)	2.51 (N=112)	2.72 (N=1,049)	2.75 (N=8,691)	2.65 (N=222)	2.79 (N=160)	2.85 (N=2,016)	2.83 (N=8,461)
好奇心	2.99 (N=127)	3.06 (N=116)	3.22 (N=1,068)	3.21 (N=8,802)	2.91 (N=224)	3.09 (N=160)	3.05 (N=2,041)	3.04 (N=8,544)
他者と進んで関わろうとする態度	3.05 (N=124)	2.91 (N=113)	3.13 (N=1,059)	3.10 (N=8,753)	2.82 (N=221)	3.04 (N=157)	2.91 (N=2,031)	2.90 (N=8,496)
思考の柔軟性	3.08 (N=130)	3.12 (N=115)	3.21 (N=1,056)	3.19 (N=8,707)	3.15 (N=222)	3.24 (N=155)	3.25 (N=2,020)	3.24 (N=8,455)

■小学6年



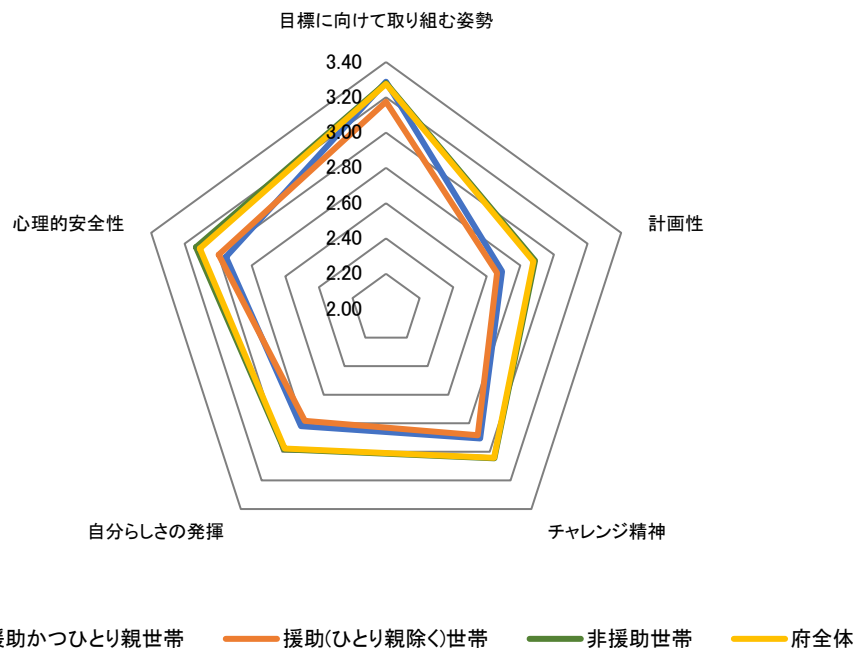
■中学3年



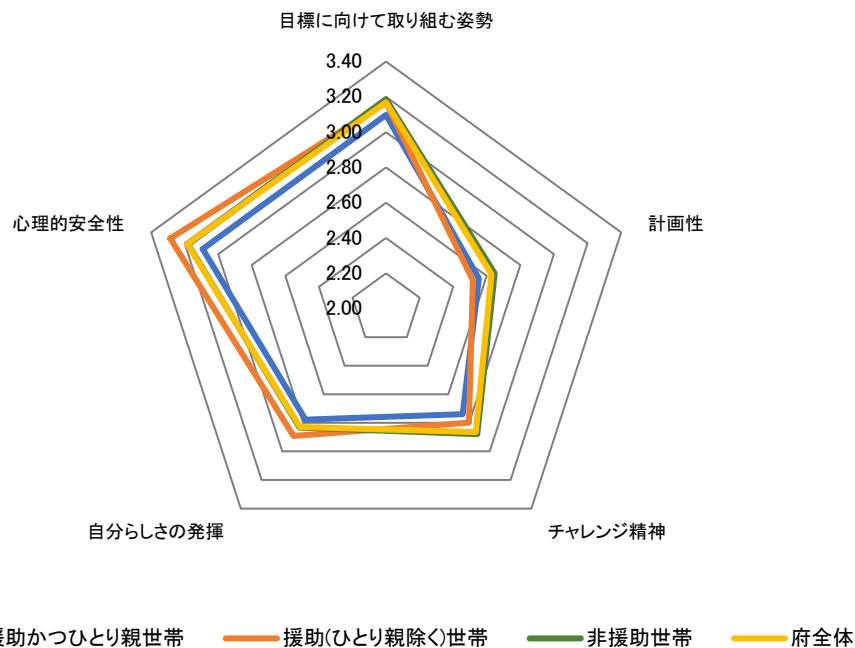
6-2 新たな価値を生み出す力と包みこまれているという感覚

	小学6年				中学3年			
	調査対象校			参考	調査対象校			参考
	援助かつひとり親世帯	援助(ひとり親除く)世帯	非援助世帯	府全体	援助かつひとり親世帯	援助(ひとり親除く)世帯	非援助世帯	府全体
目標に向けて取り組む姿勢	3.29 (N=128)	3.18 (N=116)	3.28 (N=1,077)	3.28 (N=8,829)	3.10 (N=223)	3.17 (N=157)	3.19 (N=2,049)	3.17 (N=8,542)
計画性	2.69 (N=127)	2.66 (N=115)	2.89 (N=1,057)	2.88 (N=8,680)	2.55 (N=221)	2.52 (N=156)	2.65 (N=2,029)	2.63 (N=8,479)
チャレンジ精神	2.91 (N=128)	2.88 (N=117)	3.04 (N=1,065)	3.04 (N=8,792)	2.74 (N=220)	2.80 (N=159)	2.88 (N=2,032)	2.86 (N=8,529)
自分らしさの発揮	2.82 (N=128)	2.78 (N=114)	2.98 (N=1,055)	2.98 (N=8,707)	2.78 (N=220)	2.89 (N=157)	2.83 (N=2,021)	2.83 (N=8,454)
心理的安全性	2.95 (N=125)	3.00 (N=114)	3.13 (N=1,053)	3.11 (N=8,679)	3.09 (N=218)	3.29 (N=160)	3.18 (N=2,025)	3.18 (N=8,472)

■小学6年



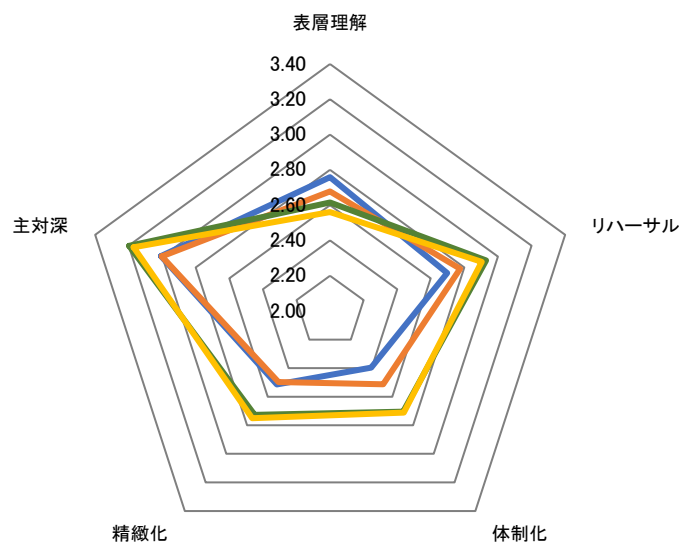
■中学3年



6-3 学習方法

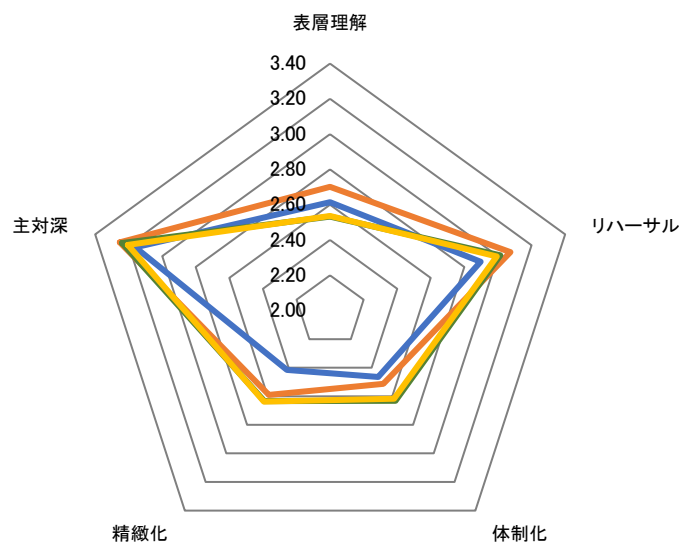
	小学6年				中学3年			
	調査対象校			参考	調査対象校			参考
	援助かつひとり親世帯	援助(ひとり親除く)世帯	非援助世帯	府全体	援助かつひとり親世帯	援助(ひとり親除く)世帯	非援助世帯	府全体
表層理解	2.76 (N=123)	2.68 (N=116)	2.62 (N=1,054)	2.56 (N=8,689)	2.61 (N=218)	2.70 (N=160)	2.53 (N=2,033)	2.54 (N=8,464)
リハーサル	2.70 (N=129)	2.77 (N=117)	2.93 (N=1,080)	2.90 (N=8,835)	2.90 (N=222)	3.07 (N=158)	3.01 (N=2,058)	2.99 (N=8,583)
体制化	2.40 (N=128)	2.51 (N=110)	2.70 (N=1,054)	2.71 (N=8,623)	2.46 (N=212)	2.51 (N=156)	2.63 (N=2,028)	2.62 (N=8,453)
精緻化	2.51 (N=126)	2.50 (N=110)	2.73 (N=1,065)	2.75 (N=8,743)	2.42 (N=219)	2.59 (N=157)	2.63 (N=2,041)	2.64 (N=8,532)
主対深	3.01 (N=124)	3.00 (N=105)	3.20 (N=1,016)	3.17 (N=8,345)	3.16 (N=216)	3.25 (N=153)	3.24 (N=1,971)	3.21 (N=8,194)

■小学6年



— 援助かつひとり親世帯 — 援助(ひとり親除く)世帯 — 非援助世帯 — 府全体

■中学3年



— 援助かつひとり親世帯 — 援助(ひとり親除く)世帯 — 非援助世帯 — 府全体

7 就学援助世帯のうち高学力層の児童生徒の特徴

考察に際しては、小学6年生、中学3年生それぞれに調査対象校を対象とし、就学援助世帯に該当する群、該当しない群について学力の高低による比較を行った。

学力スコアの高低群は国数英それぞれのスコアを学年ごとに標準化(平均値が0、標準偏差1に変換)し、それぞれの平均値を算出した値を元に、0未満⇒低群、0以上⇒高群と区分した。

■「主体的に学び考える力」について

「就学援助世帯」において、小学校、中学校ともに、どの指標においても学力スコアが高い群、低い群ともに、全体と比べ低い傾向が見受けられた。

■「多様な人とつながる力」について

思考の柔軟性に関して、小学生の「就学援助世帯」において学力スコアが高い群にて「非援助世帯」と比べ高い傾向、低い群にて低い傾向となっている。尚、7-4については掲載を除いた。

■「新たな価値を生み出す力」について

計画性に関して、小学生の「非援助世帯」において概ね横ばいであるものの「就学援助世帯」においては学力スコアが高い群、低い群での大きな乖離が見受けられた一方、中学生においてはその傾向が弱まっている。

■「包みこまれているという感覚」について

自分らしさの発揮に関して、「就学援助世帯」において学力スコアが高い群、低い群での大きな乖離が小学生で見受けられた一方、中学生のうち、「就学援助世帯」においては学力スコアが高い群より低い群の方が高い傾向が見受けられた。

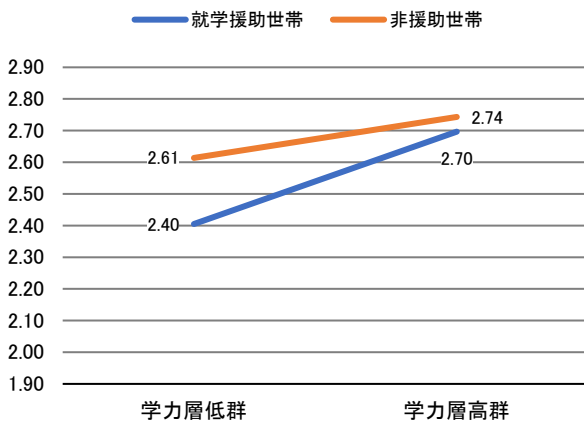
■「学習方法」について

表層理解については、全体的に学力スコアが低い群において高い傾向にあった。これは表層理解に関する設問が「問題を解くとき、解き方はわからなくても、正解がわかっているだけでよい。」、「問題に取り組むとき、自分自身でいろいろと考えるよりも、正しい解き方や考え方をすぐに知りたい。」、「確信が持たずに解答し正解したとしても、答えは合っているので、それでもよいと思う。」といった内容で構成されており、学力スコアの高低と意識の表れが符合していることを示唆する。

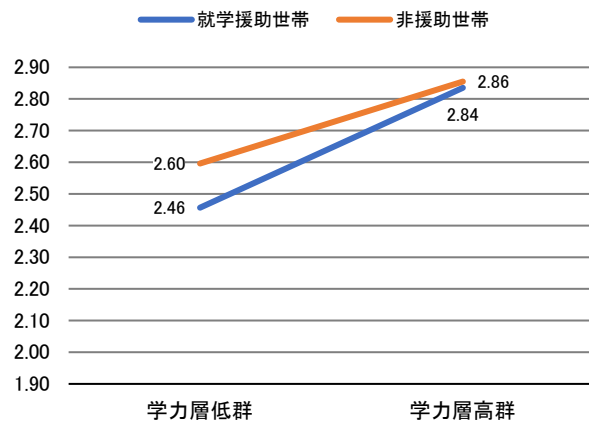
7-1【主体的に学び考える力①】自己調整(学習等の過程に能動的に関わり、自己の認知活動や行動をコントロールしながら目標達成に向かおうとする姿勢)

		調査対象校			
		小学6年		中学3年	
		就学援助世帯	非援助世帯	就学援助世帯	非援助世帯
自己調整	学力層高群	2.70 (N=75)	2.74 (N=520)	2.84 (N=91)	2.86 (N=951)
	学力層低群	2.40 (N=163)	2.61 (N=533)	2.46 (N=272)	2.60 (N=1,039)

■小学6年



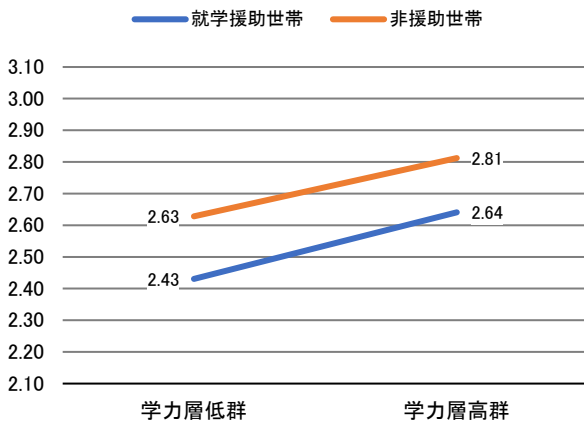
■中学3年



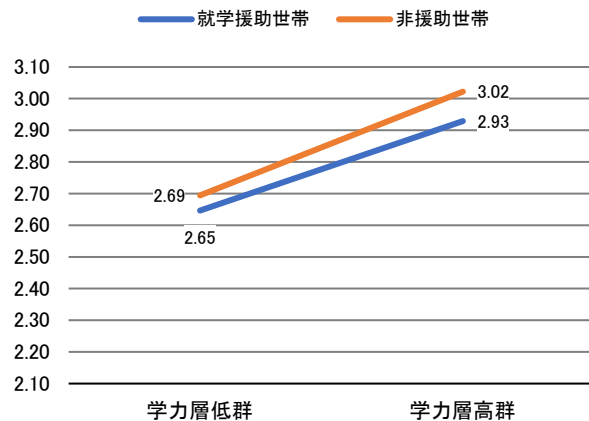
7-2【主体的に学び考える力②】学びに対する積極性(学びを広げたり深めたりするために自ら積極的に調べたり学んだりしようとする姿勢)

		調査対象校			
		小学6年		中学3年	
		就学援助世帯	非援助世帯	就学援助世帯	非援助世帯
学びに対する積極性	学力層高群	2.64 (N=78)	2.81 (N=514)	2.93 (N=94)	3.02 (N=956)
	学力層低群	2.43 (N=161)	2.63 (N=532)	2.65 (N=279)	2.69 (N=1,046)

■小学6年



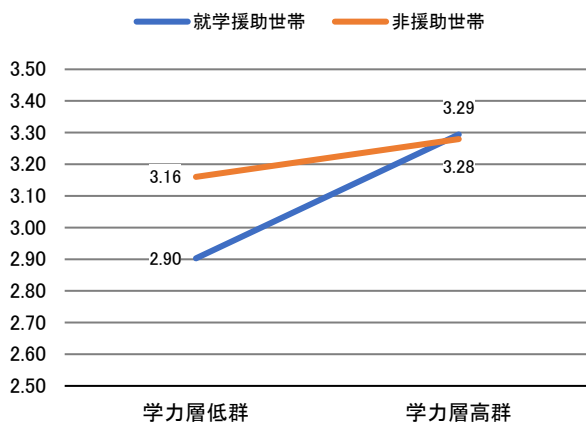
■中学3年



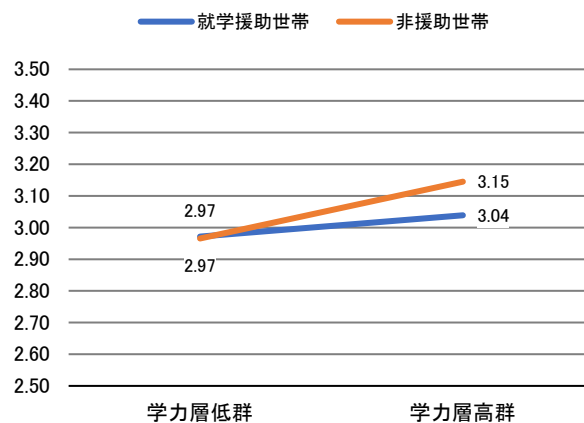
7-3【主体的に学び考える力③】好奇心(「知りたい」という欲求、物事を探究しようとする根源的な心)

		調査対象校			
		小学6年		中学3年	
		就学援助世帯	非援助世帯	就学援助世帯	非援助世帯
好奇心	学力層高群	3.29 (N=77)	3.28 (N=521)	3.04 (N=94)	3.15 (N=970)
	学力層低群	2.90 (N=165)	3.16 (N=544)	2.97 (N=281)	2.97 (N=1,056)

■小学6年



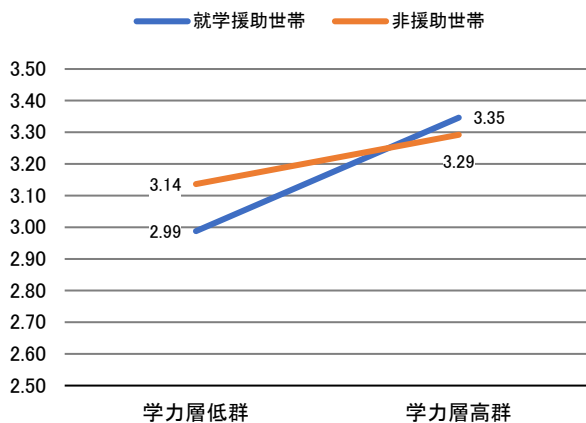
■中学3年



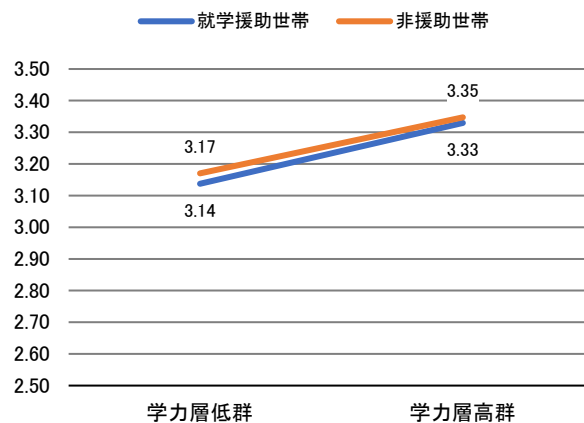
7-5【多様な人とつながる力②】思考の柔軟性(他者の考えを受け止め、自身の意思決定に柔軟に活かそうとする気持ちや態度)

		調査対象校			
		小学6年		中学3年	
		就学援助世帯	非援助世帯	就学援助世帯	非援助世帯
思考の柔軟性	学力層高群	3.35 (N=76)	3.29 (N=518)	3.33 (N=92)	3.35 (N=962)
	学力層低群	2.99 (N=168)	3.14 (N=535)	3.14 (N=276)	3.17 (N=1,044)

■小学6年



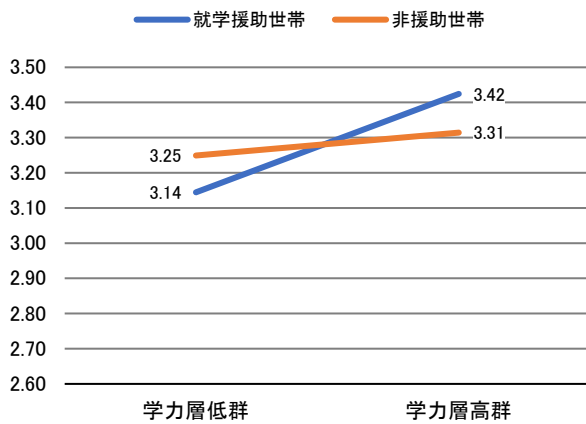
■中学3年



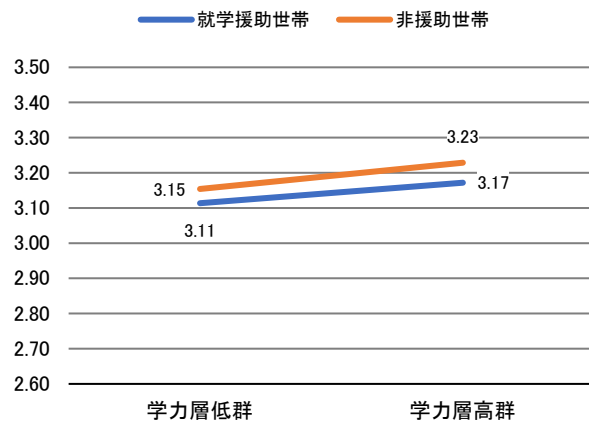
7-6【新たな価値を生み出す力①】目標に向けて取り組む姿勢(目標や達成すべき物事の実現に向けて前向きに取り組もうとする気持ちや姿勢)

		調査対象校			
		小学6年		中学3年	
		就学援助世帯	非援助世帯	就学援助世帯	非援助世帯
目標に向けて取り組む姿勢	学力層高群	3.42 (N=77)	3.31 (N=528)	3.17 (N=93)	3.23 (N=974)
	学力層低群	3.14 (N=166)	3.25 (N=546)	3.11 (N=278)	3.15 (N=1,060)

■小学6年



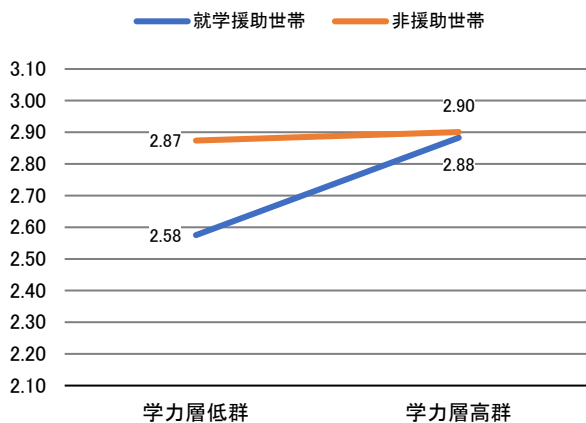
■中学3年



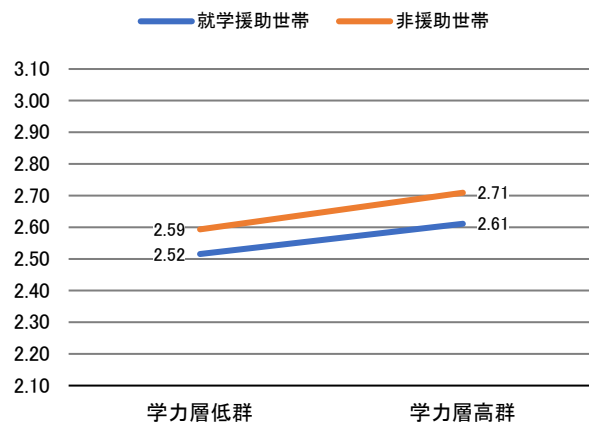
7-7【新たな価値を生み出す力②】計画性(やるべきことの見通しをもち、それに従い物事を進め、達成しようとする気持ちや態度)

		調査対象校			
		小学6年		中学3年	
		就学援助世帯	非援助世帯	就学援助世帯	非援助世帯
計画性	学力層高群	2.88 (N=77)	2.90 (N=523)	2.61 (N=90)	2.71 (N=958)
	学力層低群	2.58 (N=164)	2.87 (N=531)	2.52 (N=278)	2.59 (N=1,057)

■小学6年



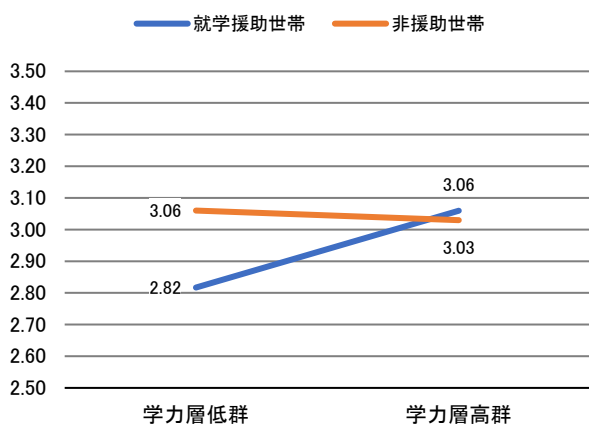
■中学3年



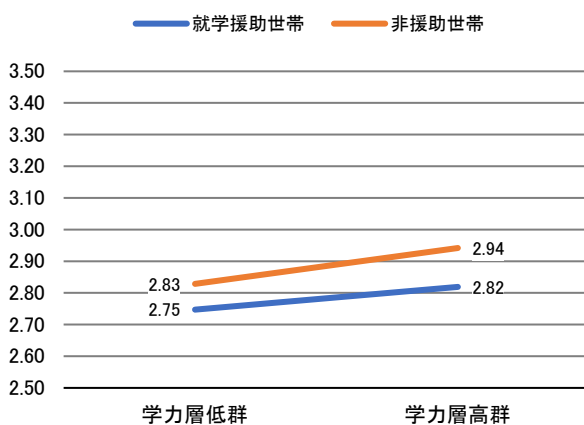
7-8【新たな価値を生み出す力③】チャレンジ精神(困難な問題や未経験のことなどに積極的に取り組む気持ちや態度)

		調査対象校			
		小学6年		中学3年	
		就学援助世帯	非援助世帯	就学援助世帯	非援助世帯
チャレンジ精神	学力層高群	3.06 (N=78)	3.03 (N=525)	2.82 (N=94)	2.94 (N=964)
	学力層低群	2.82 (N=166)	3.06 (N=537)	2.75 (N=276)	2.83 (N=1,053)

■小学6年



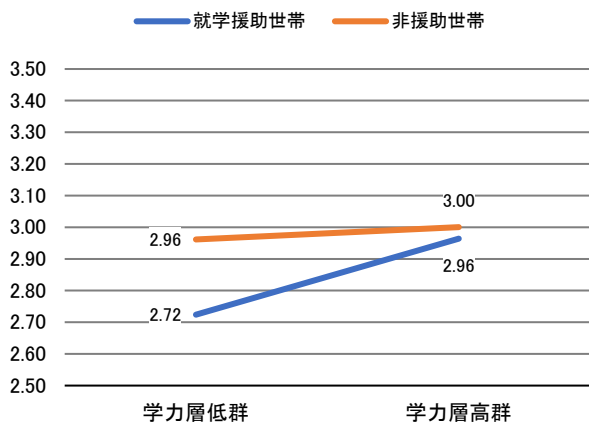
■中学3年



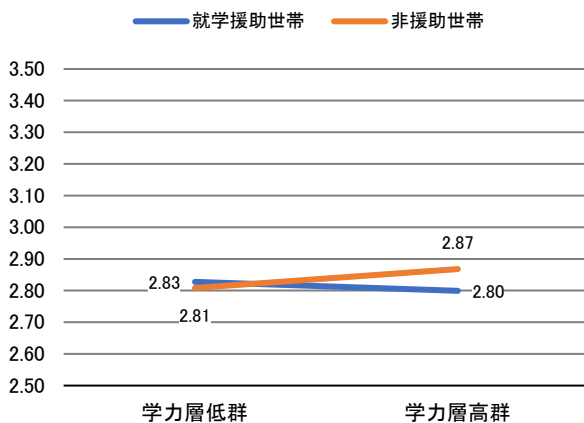
7-9【包みこまれているという感覚①】自分らしさの発揮(自分自身に感じる自分の本当らしさ(自分らしさ)を大切にし、発揮できているという感覚)

		調査対象校			
		小学6年		中学3年	
		就学援助世帯	非援助世帯	就学援助世帯	非援助世帯
自分らしさの発揮	学力層高群	2.96 (N=77)	3.00 (N=525)	2.80 (N=91)	2.87 (N=965)
	学力層低群	2.72 (N=164)	2.96 (N=527)	2.83 (N=277)	2.81 (N=1,041)

■小学6年



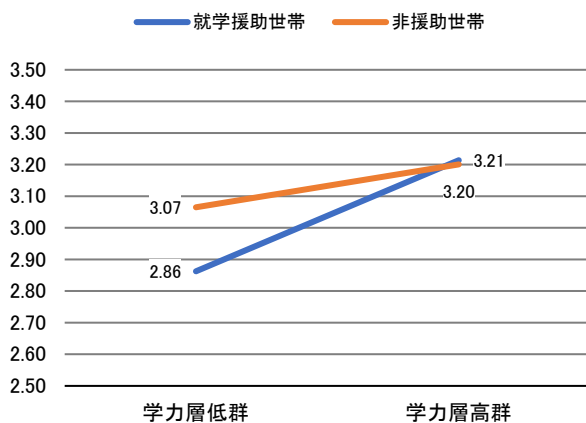
■中学3年



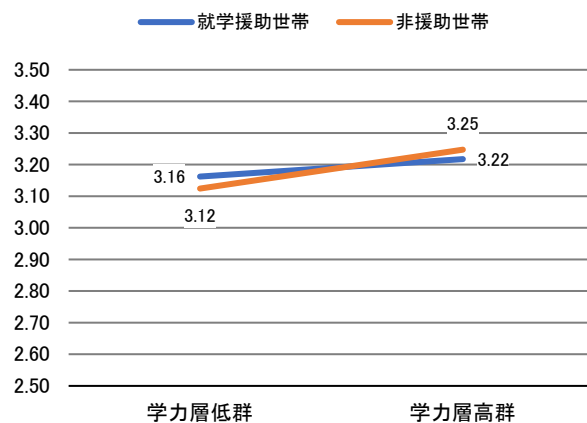
7-10 【包みこまれているという感覚②】心理的安全性(自分の考えや気持ちを安心して表現でき、失敗や意見の違いを受け止め合えらると感じられる状態)

		調査対象校			
		小学6年		中学3年	
		就学援助世帯	非援助世帯	就学援助世帯	非援助世帯
心理的安全性	学力層高群	3.21 (N=76)	3.20 (N=519)	3.22 (N=93)	3.25 (N=970)
	学力層低群	2.86 (N=162)	3.07 (N=531)	3.16 (N=277)	3.12 (N=1,040)

■小学6年



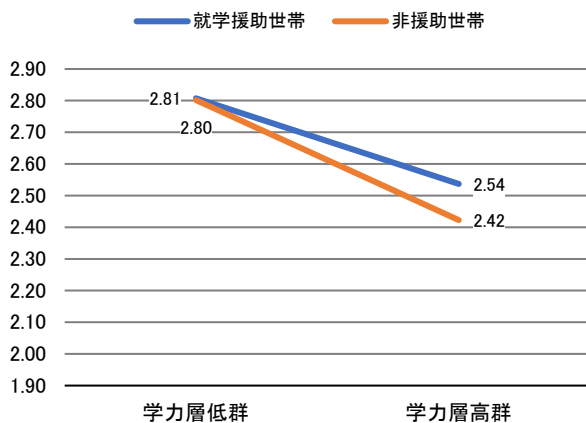
■中学3年



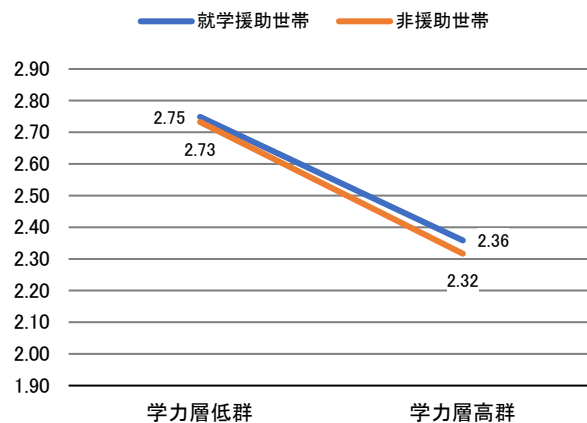
7-11 【学習方法①】表層理解(正解かどうかを重視し、解き方や考え方の深い理解よりも結果を優先する学習の姿勢)

		調査対象校			
		小学6年		中学3年	
		就学援助世帯	非援助世帯	就学援助世帯	非援助世帯
表層理解	学力層高群	2.54 (N=77)	2.42 (N=521)	2.36 (N=93)	2.32 (N=963)
	学力層低群	2.81 (N=161)	2.80 (N=530)	2.75 (N=276)	2.73 (N=1,055)

■小学6年



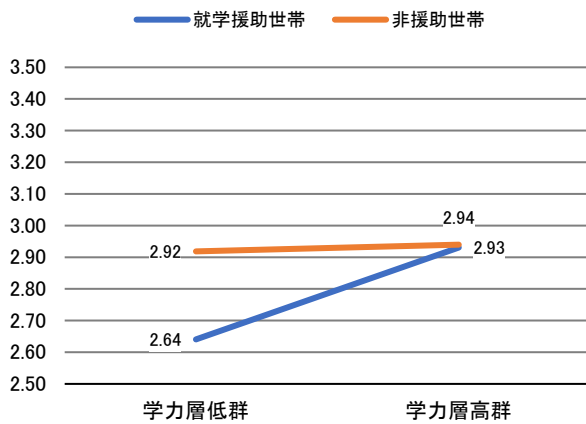
■中学3年



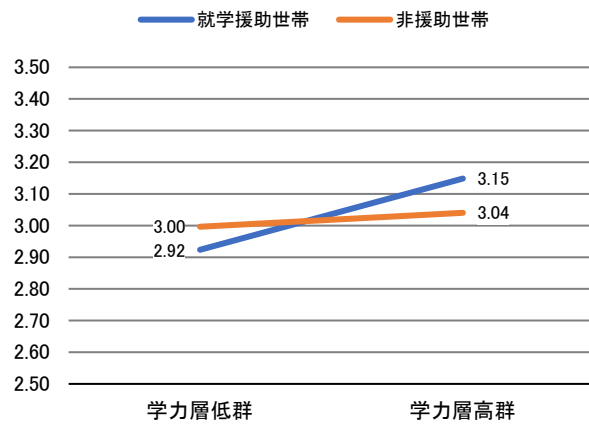
7-12【学習方法②】リハーサル(内容を何度も読んだり書いたりして覚えるなど、反復による記憶を中心に
行う学習方法)

		調査対象校			
		小学6年		中学3年	
		就学援助世帯	非援助世帯	就学援助世帯	非援助世帯
リハーサル	学力層高群	2.93 (N=77)	2.94 (N=532)	3.15 (N=92)	3.04 (N=976)
	学力層低群	2.64 (N=168)	2.92 (N=545)	2.92 (N=279)	3.00 (N=1,067)

■小学6年



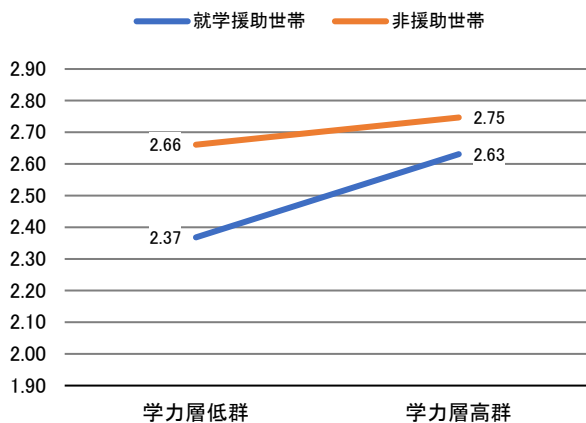
■中学3年



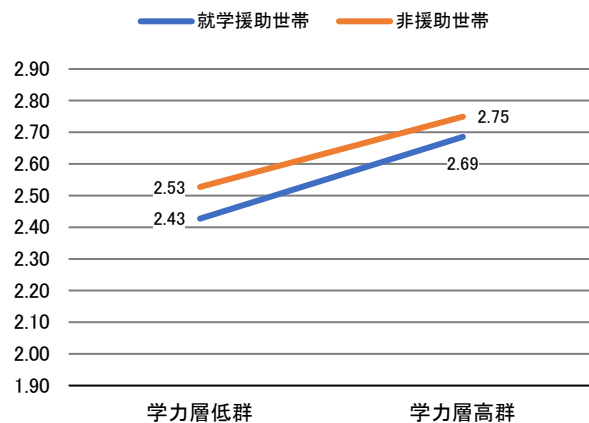
7-13【学習方法③】体制化(学習内容を見直し、重要な点を整理したり、図や表にまとめたりして、自分なりに構造化する学習方法)

		調査対象校			
		小学6年		中学3年	
		就学援助世帯	非援助世帯	就学援助世帯	非援助世帯
体制化	学力層高群	2.63 (N=75)	2.75 (N=529)	2.69 (N=89)	2.75 (N=962)
	学力層低群	2.37 (N=162)	2.66 (N=522)	2.43 (N=270)	2.53 (N=1,051)

■小学6年



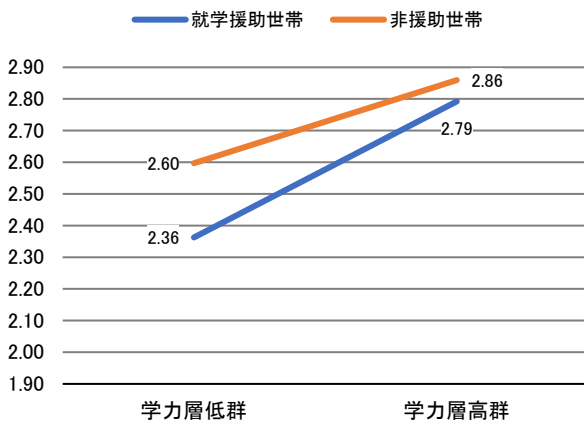
■中学3年



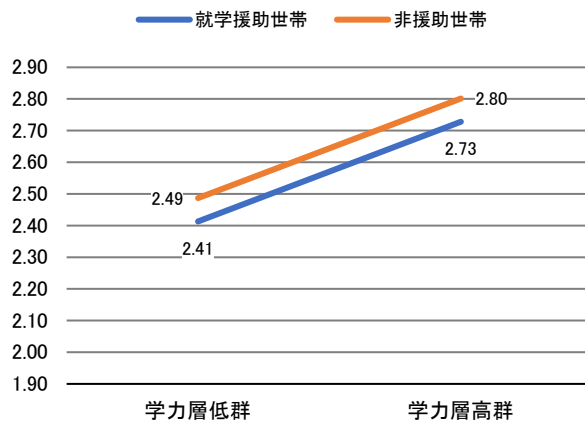
7-14【学習方法④】精緻化(多様な資料を参考にしたり既習内容と関連付けたりしながら、理解を深めるために学習内容を結び付ける方法)

		調査対象校			
		小学6年		中学3年	
		就学援助世帯	非援助世帯	就学援助世帯	非援助世帯
精緻化	学力層高群	2.79 (N=77)	2.86 (N=524)	2.73 (N=92)	2.80 (N=969)
	学力層低群	2.36 (N=158)	2.60 (N=538)	2.41 (N=275)	2.49 (N=1,057)

■小学6年



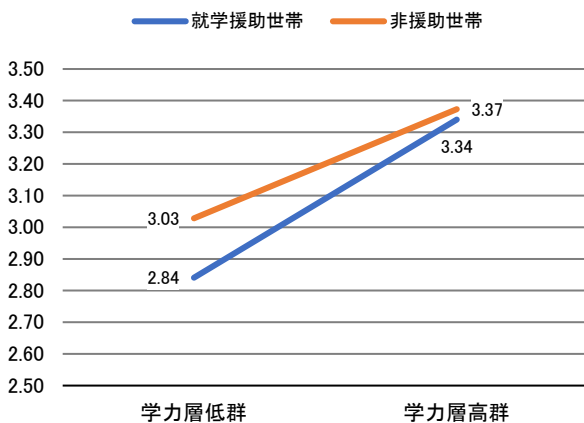
■中学3年



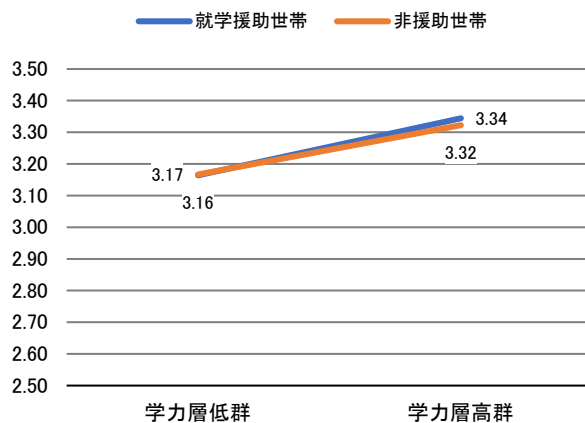
7-15【学習方法⑤】主対深(自分の考えを表現し、友達と対話しながら疑問を調べたり経験を関連付けたりして、学びを主体的に深めていく取り組み方)

		調査対象校			
		小学6年		中学3年	
		就学援助世帯	非援助世帯	就学援助世帯	非援助世帯
主対深	学力層高群	3.34 (N=75)	3.37 (N=502)	3.34 (N=93)	3.32 (N=946)
	学力層低群	2.84 (N=153)	3.03 (N=511)	3.16 (N=267)	3.17 (N=1,011)

■小学6年



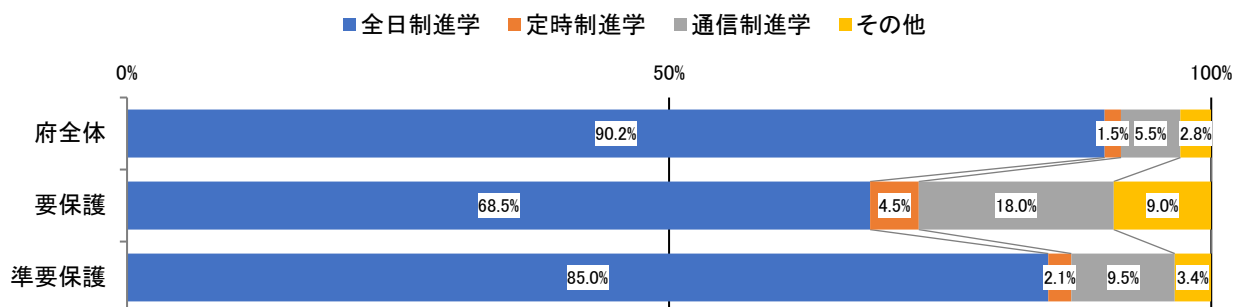
■中学3年



8 進路状況

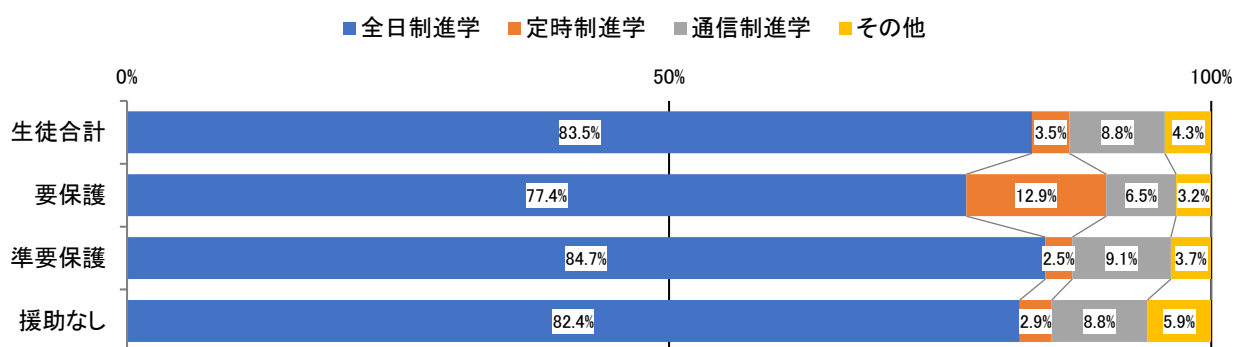
令和6年度中学校3年 進路状況調査(令和7年3月卒業生徒)
府全体(京都市を除く府内公立中学校)

		府全体		要保護		準要保護	
		内訳	(%)	内訳	(%)	内訳	(%)
高等学校等進学者	全日制	8,383	90.2%	61	68.5%	1,239	85.0%
	定時制	140	1.5%	4	4.5%	31	2.1%
	通信制	509	5.5%	16	18.0%	139	9.5%
その他		264	2.8%	8	9.0%	49	3.4%
卒業生総数		9,296		89		1,458	



ひとり親家庭生徒(抽出20校)

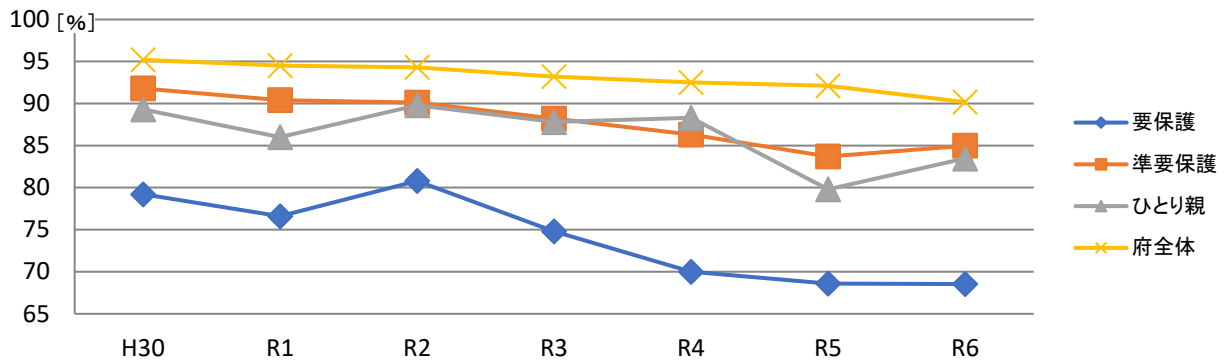
		生徒合計		要保護		準要保護		援助なし	
		内訳	(%)	内訳	(%)	内訳	(%)	内訳	(%)
高等学校等進学者	全日制	313	83.5%	24	77.4%	205	84.7%	84	82.4%
	定時制	13	3.5%	4	12.9%	6	2.5%	3	2.9%
	通信制	33	8.8%	2	6.5%	22	9.1%	9	8.8%
その他		16	4.3%	1	3.2%	9	3.7%	6	5.9%
卒業生総数		375		31		242		102	



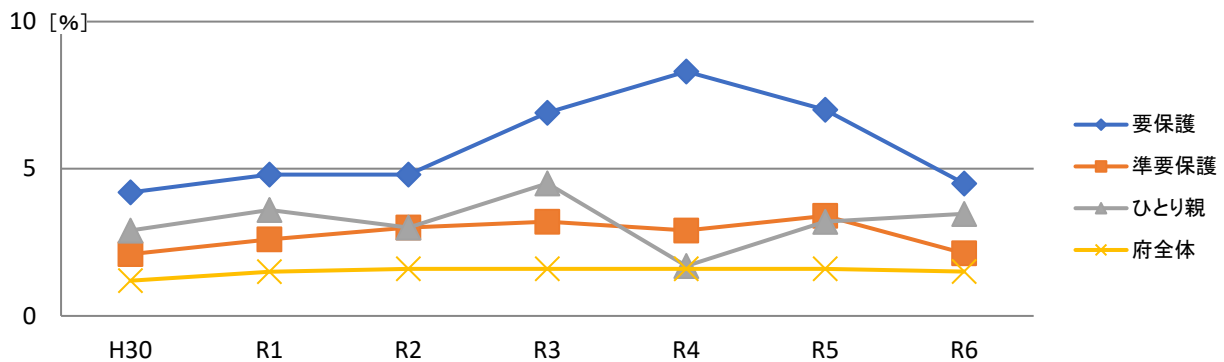
調査概要

中学校卒業生徒の進路状況の経年比較

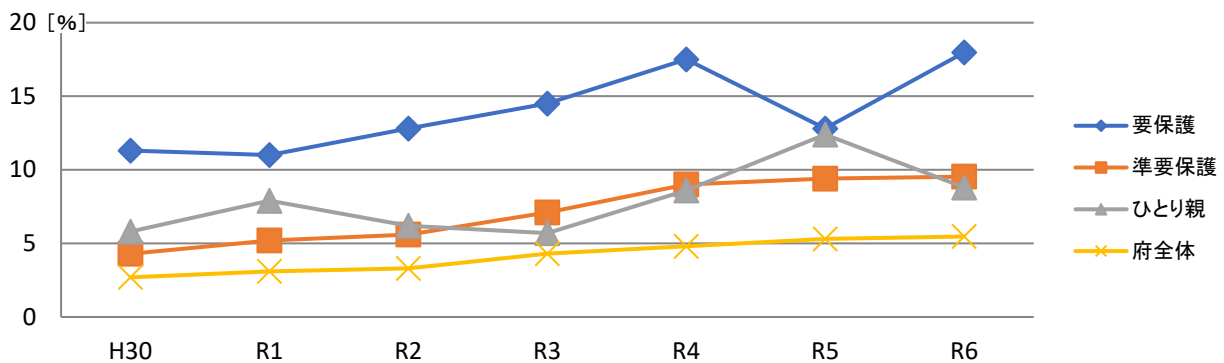
進学率の推移:(課程別)全日制課程(高専、特支含む)



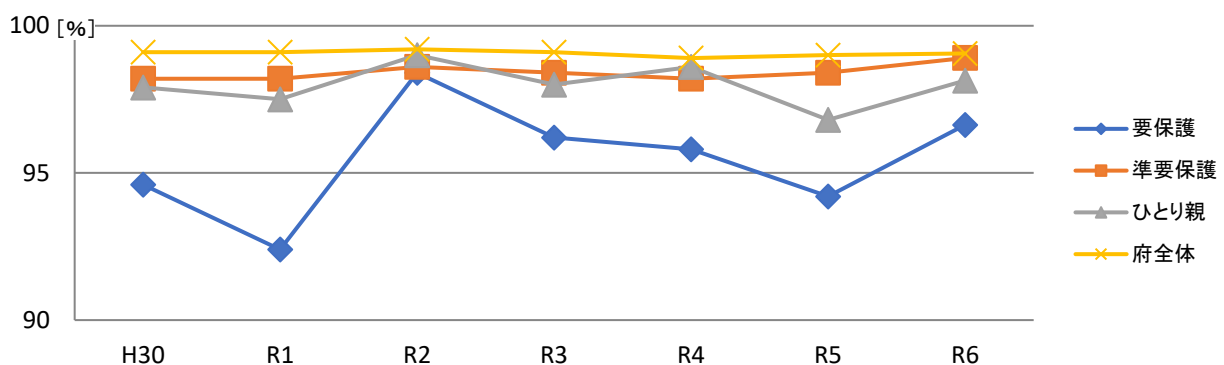
進学率の推移:(課程別)定時制課程



進学率の推移:(課程別)通信制課程



中学卒業生の進学率の推移:(全日制・定時制・通信制すべて、高等専門学校、特別支援学校への進学を含む)



(要約)

本調査からは、第一に改めて就学援助世帯の児童生徒（以下、貧困家庭の子ども）の厳しい実態が浮き彫りになっている。貧困家庭の子どもは家庭・学校生活での学習機会や教育的資源が制限されやすく、それは学習に対する意識や経験、非認知能力等にも反映され、結果として学力の定着も不安定な状況になっている。様々な要素が複合的に重なり、子どもたちの社会的な不利を積み上げていると言える。第二に、貧困家庭の子どものうち、ひとり親家庭の子どもは更に社会的不利が重なる傾向がみられた。子育てや教育には人的な資源が必要だが、それが限られるひとり親世帯の状況はより注視していく必要がある。第三に、貧困家庭の子どもの中にもポジティブな学習経験や非認知能力を伸ばすことで学力が保障されている層もみられる。かれらへの包括的でより積極的な支援が必要であるが、学校・行政でできうる支援を引き続き模索しつつ、より一層の丁寧な支援が求められる。

(各調査結果から)

以下では、各項目から見出された傾向について、その特徴を改めて整理していく。

1. 基礎情報

まず就学援助にかかる基礎情報から、要保護家庭（小1.9%、中1.1%）と準要保護家庭（小17.5%、16.0%）と、約2割弱の子どもが就学援助を受けている貧困家庭となっている。注目すべきは、ひとり親家庭の場合、小学校で78.3%、中学校73.9%が就学援助世帯となっている。日本全体でみると、ひとり親家庭の約5割が相対的貧困という推計が一般的だが、今回の調査対象では、ひとり親家庭がより貧困に陥りやすい状況になっていることがわかる。どのような家庭が貧困に陥りやすいかについては今後も注視すべきだろう。

2. 健康

健康については、まず男子の場合、貧困家庭の子どもは学校段階に関わらず肥満傾向になりやすく、一方、女子の場合はそうした明確な傾向はみられなかった。また、う歯の処置状況は、貧困家庭の子どもの場合、より「無し」の割合が少なく「未処置」「無回答」の割合が高まる傾向にある。家庭の食生活や通院の習慣の違いが表れているといえる。

3. 学力

次に「学力」については、貧困家庭の子どもはより学力スコアが低くなりやすい傾向にある。例えば、「援助かつひとり親世帯」の国語の低学力層の割合は、小学校の場合48.1%、中学校の場合43.2%となっており、「非援助世帯」の児童生徒と約15~20%の差

がある。この傾向は数学、英語でも同様だが、今回の結果では国語の結果でその差が顕著にみられた。学力スコアと子どもの経済的背景の関連については、他の調査でも同様に指摘されているところだが、京都府の状況が浮き彫りとなっている。

4. 家庭生活

家庭生活については、いくつか傾向がみられる。まず貧困家庭の子どもの場合、家庭学習が未定着になりやすく、それは宿題の実施だけでなく、予習復習にもおよぶ。それは家庭での学習時間の差に反映されている。貧困家庭の子どもの場合、平日の家庭の学習時間が「30分以下」は小学校で約4割、中学校でも同様の割合で、その他の家庭の子どもと大きく差がみられる。さらに大きな差がみられたのが通塾で、小学校で貧困家庭の子どもたちとそれ以外の子どもたちで差がみられるが、中学校段階になるとその差はより大きくなる。通塾は家庭の経済状況が直接的に反映されやすいが、小6、中3時点での通塾環境の違いが示されている。読書習慣については、小学校と中学校で傾向が異なる。小学校の場合、「読書が好き」や読書時間に統計的な差はみられない。しかし中学校になると差が明確となっており、貧困家庭の場合、読書好きの割合や読書時間が限定的になっている。

また、生活習慣にかかわる項目である朝食については明確な差がみられる。例えば、「援助かつひとり親世帯」の場合、朝食を「毎日食べる」のは小6で59.6%（「非援助世帯」は82.3%）、中3で52.1%（「非援助世帯」は79.2%）とかなり明確に差がみられている。またスマホの利用については、これも小6では貧困家庭の子どものほうがスマホ所持率は高い。しかし、中3になるとその差はない、あるいは統計的な差はないものの、貧困家庭の子どもの方が所持率はやや低くなっている。家庭の経済的環境と消費文化との近さ、これらの関連が想起されるが、実際にテレビ・ゲームも含めた娯楽活動の時間は、明確に貧困家庭の子どものほうが多くなっている。起床・就寝時間や将来展望など明確な差はみられない項目もあったが、総じて、貧困家庭の子どもの置かれている生活環境の違いが浮き彫りとなっている。

5. 学校生活

項目に限られるが、こちらもいくつか特徴が明らかになっている。まずウェルビーイングに関わる「学校に行くのは楽しい」「安心して学習できている」といった項目は統計的な差はなく、貧困家庭の子どもも一定ポジティブな回答をしている。ただ数値だけでみると貧困家庭の子どもの方がネガティブな回答傾向も伺えるため、今後も注視する必要があるだろう。教科への意識については、小6の段階では国語・算数・外国語活動ともに、その教科の学習を「好き」と回答する割合は、そこまで差はみられない。しかし中3になると、明らかに差がみられ、貧困家庭の子どもは教科にかかわらず学習を「苦手」とする割合が多くなってしまっている。中学校段階では学習進度も早くなるため、より授業形態や学習への支援の工夫が求められる。

ICT 端末の利用については注目したい傾向がある。「ICT 端末を使うと学習内容が理解しやすくなる」「楽しく学習できる」「意見を共有しやすい」という項目は、貧困家庭の子どものほうが、肯定的回答が少なくなっている（中学校）。こうした ICT 端末は、個人に合わせた学習機会を提供する一つのツールでもあるが、実際の利用では貧困家庭の子どものように学習に苦手意識がある子どもに対して有効な用いられ方がされているか、今一度検討する必要があるだろう。

6. 非認知能力・学習方法

ここでは非認知能力として「主体的に学び考える力」（自己調整、学びに対する積極性、好奇心）、「多様な人とつながる力」（他者と進んで関わろうとする態度、思考の柔軟性）、「新たな価値を生み出す力」（目標に向けて取り組む姿勢、計画性、チャレンジ精神）、「包みこまれているという感覚」（自分らしさの発揮、心理的安全性）、学習方法として5つの観点（表層理解、リハーサル、体制化、精緻化、主体的対話的で深い学び）のスコアの差を吟味している。傾向をみると貧困家庭の子どもは基本的に非認知能力や学習方法が低く出ているが、特に学習に関わる非認知能力（自己調整、学びの積極性、好奇心）や学習方法（表層理解、精緻化、体制化）がより低く出ている。子どもたちが学習に向かえるようにスモールステップで課題を設定したり、学習意欲を喚起するような導入や活動を行ったり、学習の方法自体のスキルを身につけるように丁寧に支援することが必要である。

7. 就学援助世帯のうち高学力層の児童生徒の特徴

就学援助家庭のなかでも高学力層（平均よりも高い学力スコア）の子どもたちが一定数みられる。高学力層の子どもたちにはどのような特徴があるのか、就学援助家庭の低学力層の子どもと非認知能力や学習方法を比較したところ、高学力層の子どもたちは、低学力層の子どもたちよりも自己調整や学びに対する積極性、好奇心、思考の柔軟性など各非認知能力や学習方法がよりポジティブな結果となっていた。学校内外でこうした非認知能力を育み、学習方法を身につけることは、かれらの基本的な学力を保障するキーとなりうることが示唆される。

8. 進路状況

ここでは府全体の傾向を整理すると、該当年度の結果ではまず要保護家庭の「全日制進学」の割合が7割を下回っている点が注目される。要保護家庭では、その分通信制進学が多くなっており、こうした傾向はこの数年続いている。進路は生徒・保護者の選択による場所も大きいですが、学力面での不利や学校生活面での制限によって進路選択の幅が狭められていないか、今後も注視すべき点である。

(提言)

以下では、本調査から考えられる学校・教育制度へ提言を4点に分けて行う。

第一に、学校・教育委員会における貧困の子どもの学習・生活実態の共有である。本報告で示されているデータは貧困家庭の子どもの置かれている厳しい現状を表しており、学校関係者はこうした実態を基本的前提としつつ支援策を講じる必要がある。本報告を基礎資料として、各自治体や学校では、自身の自治体や学校の現状を改めて振り返り、各地域の現状と課題について検討することが求められる。

第二に、各学校における、子どもの家庭状況の積極的な把握と共有の重要性である。上記と関連するが、貧困家庭の子どものどの学級に在籍するか、家庭の状況や子どもの実態はどうか、積極的に把握することが個別の支援を進めていく第一歩となる。どの子どもの家庭生活が苦しく学習機会や資源が制限されやすいのか、学年や学校種を問わず切れ目なく情報を共有することが必要だろう。その際、福祉専門職との連携は不可欠であることから「まなび・生活アドバイザーの配置」を拡充しつつ、「福祉の専門家」を各校に配置することが行政的支援として重要である。

第三に、貧困家庭の子どもの学びや育ちを保障するための積極的な学習支援を進めていくことが必要である。貧困という経済的な要素によって、かれらの学びや育ちが制約されている現状を改善するにはより積極的な支援が必要となる。現状の施策を整理すると「小学生個別補充学習、中学生個別補充学習」(補償教育)、「京都式少人数教育」(少人数指導)、「地域未来塾」(学習機会の提供)となるが、残念ながら十分とは言えない現状がデータからは見てとれる。懸念されるのは、こうした施策や支援に貧困家庭の子どものつながらているのか、という点である。実際の学習支援を受けられるような状況をつくるためには、先に述べた「貧困家庭の子どもの積極的把握」は不可欠で、特に教員が意識的につなぐ支援を行っていくことが求められる。

第四に、上記のような施策も重要だが、学校・学級での日常的な支援がもっとも不可欠な要素となる。学校の授業では、ときに低学力層の子どもの授業に参加できずに、こぼれ落ちる状況になることが少なくない。学校のなかで日常的に学習状況や生活状況をモニタリングし、必要な支援を継続的に行っていくためには、教員の授業づくりや学級経営のなかに人権教育を基本とした視点を入れて、学力保障の実践を積み重ねることが求められる。かれらが学習に参加できるような授業や、学力保障の取り組みを学校全体で取り組むことが必要である。

本報告で示されているように、学校での学習や生活の状況によって、貧困家庭の子どもの学びや育ちの保障は大きく変わってくる。もちろん学校では難しいところは教育行政や福祉機関と連携をしつつ、学校にできる積極的な支援を期待したい

令和7年度子どもの貧困対策に係る実態調査

報告に対するコメント

五石敬路（大阪公立大）

【調査結果に関するコメント】

- ① 本調査は、子どもの生活・健康・学力を多面的に把握した貴重な資料であり、政策検討に資する重要な基礎データです。
- ② 例年と同様、「就学援助世帯」の子どもに肥満が多い傾向が見られます。今回は特に男子に多いようです。またう歯についても、例年と同様、「就学援助世帯」の子どもに未処置の割合が高い傾向が見られます。日常生活や健康面での配慮が引き続き求められます。
- ③ 「4家庭生活」では、就学援助を受けている世帯の子どもは、家で学校の宿題をあまりせず、朝食を食べない等の不規則な生活を送っている一方、スマホにより依存した傾向が見て取れます。家での学習、生活リズム、スマホ等への依存が相互に関係しあっているものと考えられます。家庭で勉強や宿題をせず、スマホばかりしているために成績が悪いのか（つまり本人の意志や姿勢の問題と捉えるのか）、家庭の生活環境に課題があるために勉強や宿題ができないのか、子どもや子どもをとりまく状況の理解の仕方によって、対応が異なるでしょう。これまでの本調査の分析結果によれば、家庭で勉強や宿題をしないことよりも、家庭での生活が不規則になっていることが、成績が悪い要因としてより説明力があることが示されてきました。その場合、宿題を増やすことはより心理的なストレスを増すだけかもしれません。より根本的には、テストの点数の結果ではなく、より広い目で子どもの成長をはかる指標の開発が必要ではないでしょうか。
- ④ 「7 就学援助世帯のうち高学力層の児童生徒の特徴」の結果のうち、7-1と7-2は、小学6年生、中学生3年生に一貫した傾向が見られ、「就学援助世帯」の子どもは全体的に「主体的に学び考える力」が低いです。しかし「就学援助世帯」であれば必ずそうであるとは限りません。たとえば、「就学援助世帯」のうちの高学力層の子どもは、「就学援助を受けていない世帯」のうちの学力が低い子どもと比べ、「主体的に学び考える力」(7.1)の平均値は高くなっています。世帯の経済状況によりすべてが決まってしまうわけではないことが示唆されます。つまり、世帯の経済状況は変わらなくとも、子どもは変わり得る可能性があるということです。
- ⑤ 今後も継続的な調査と分析を通じて、子どもの貧困対策の実効性の検証が期待されます。